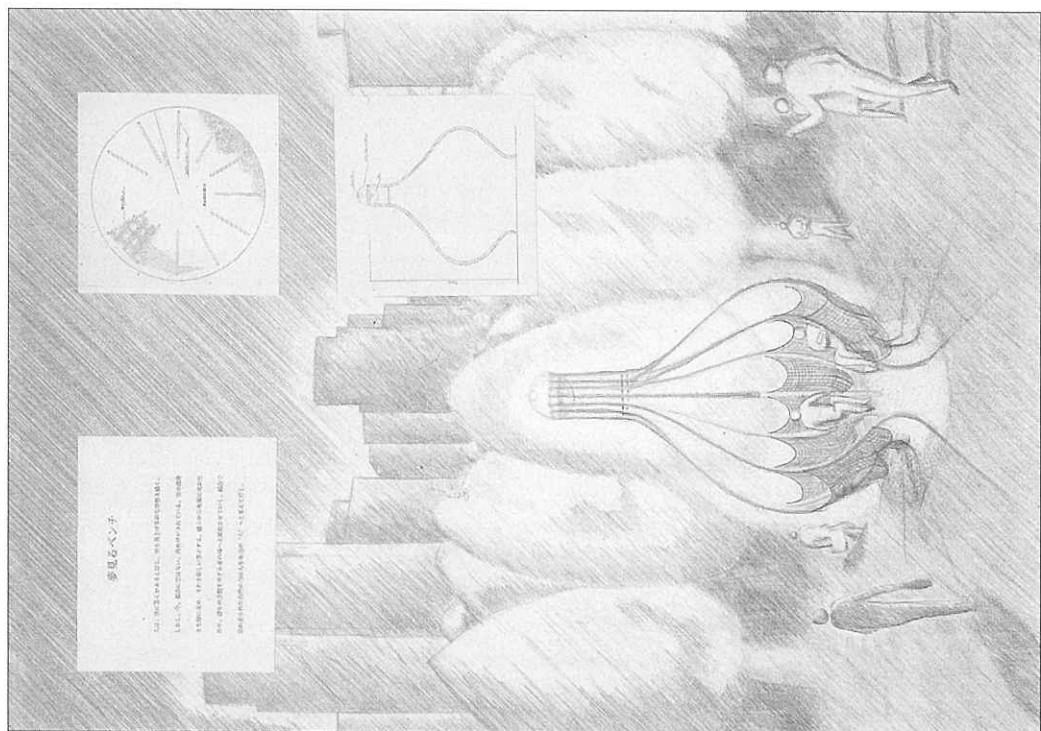
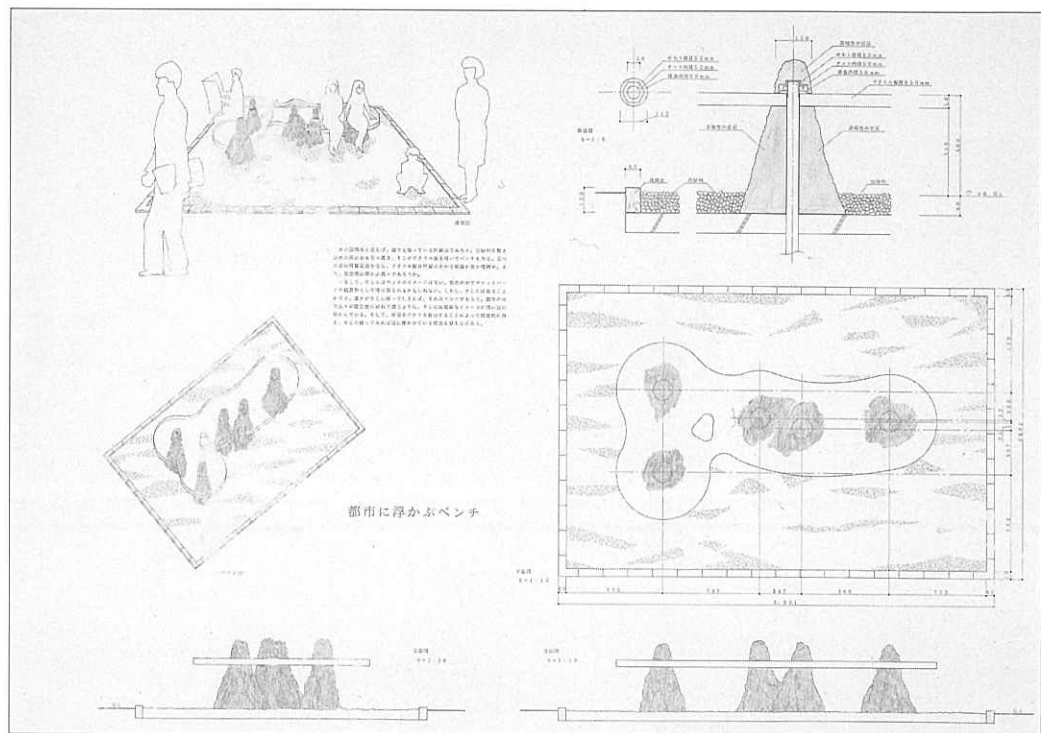
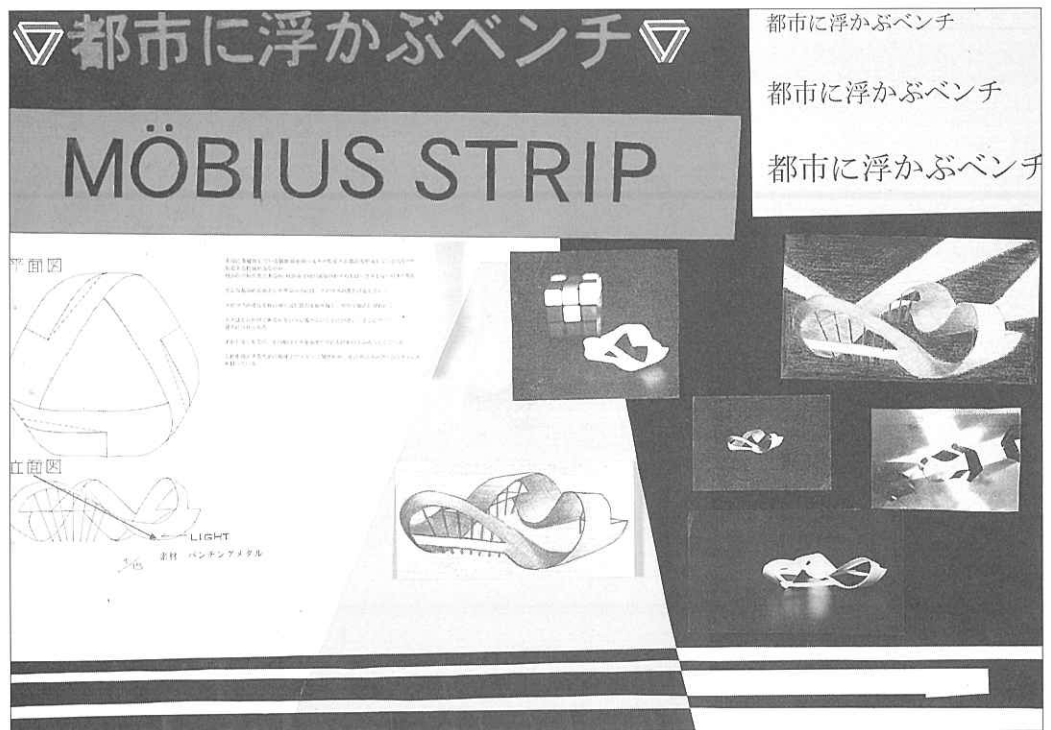
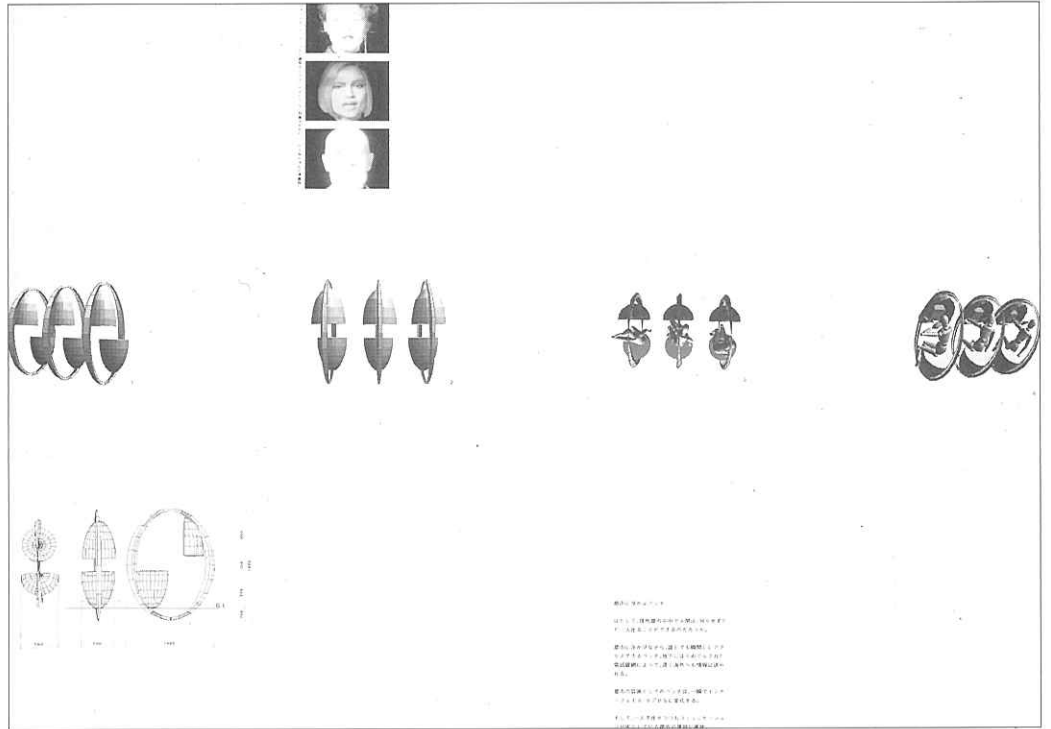
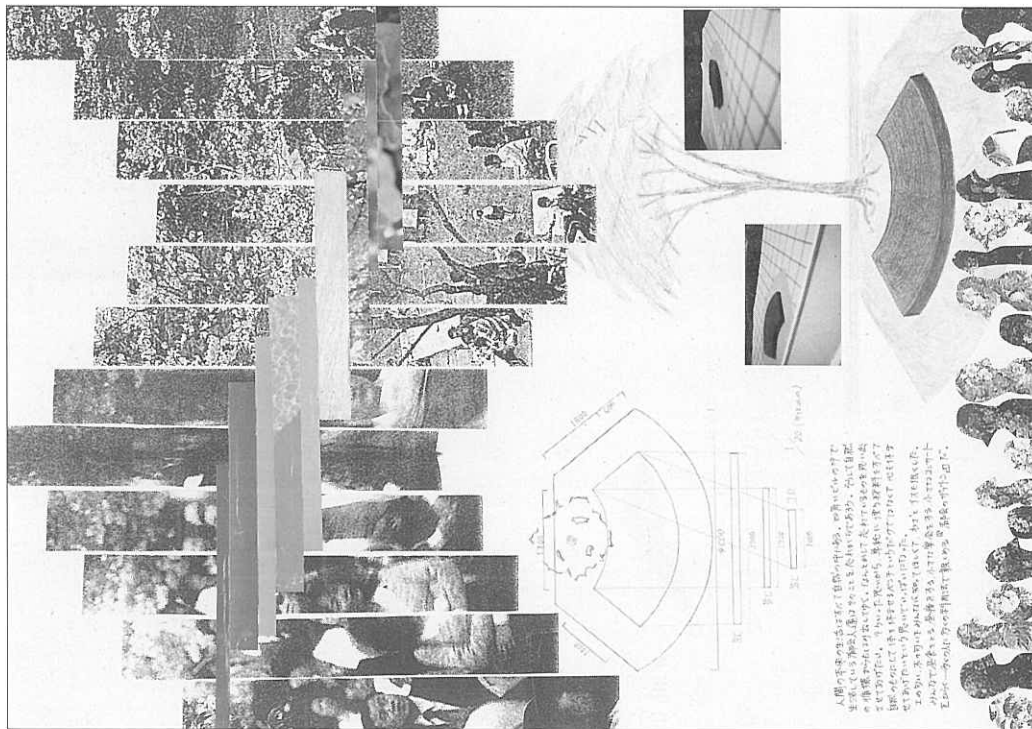
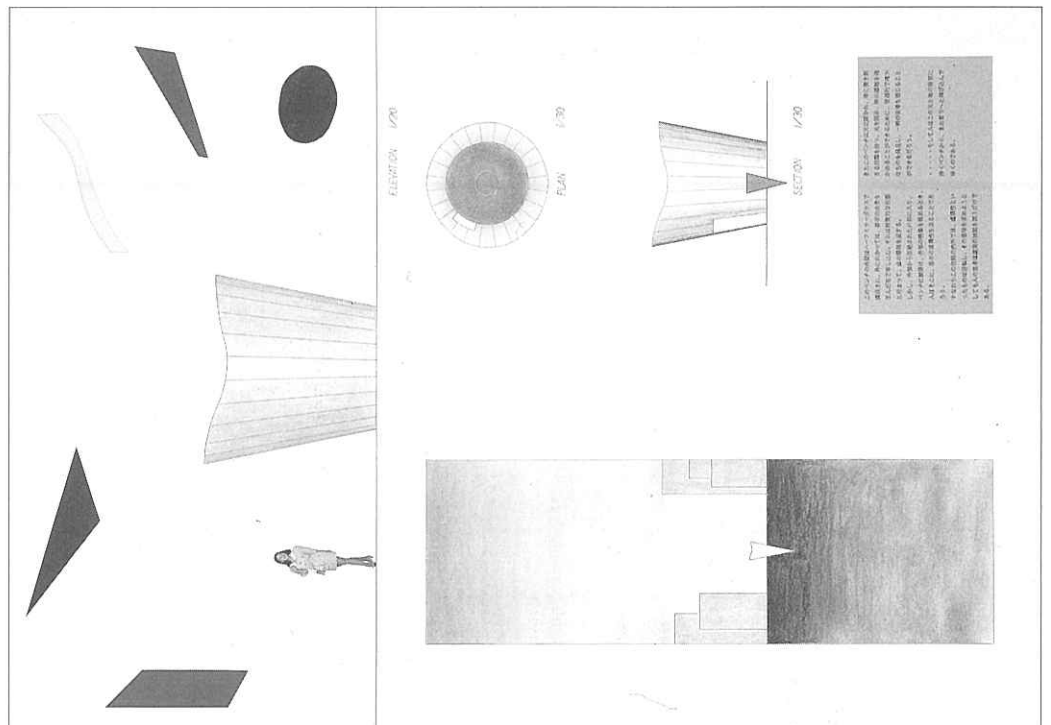
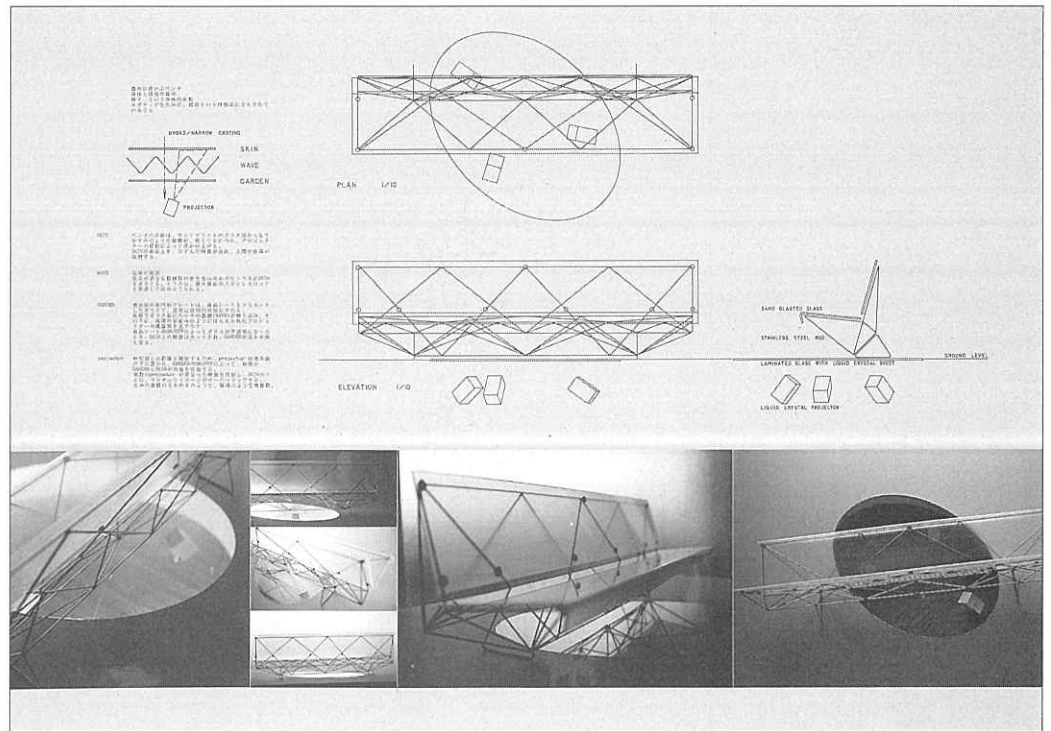


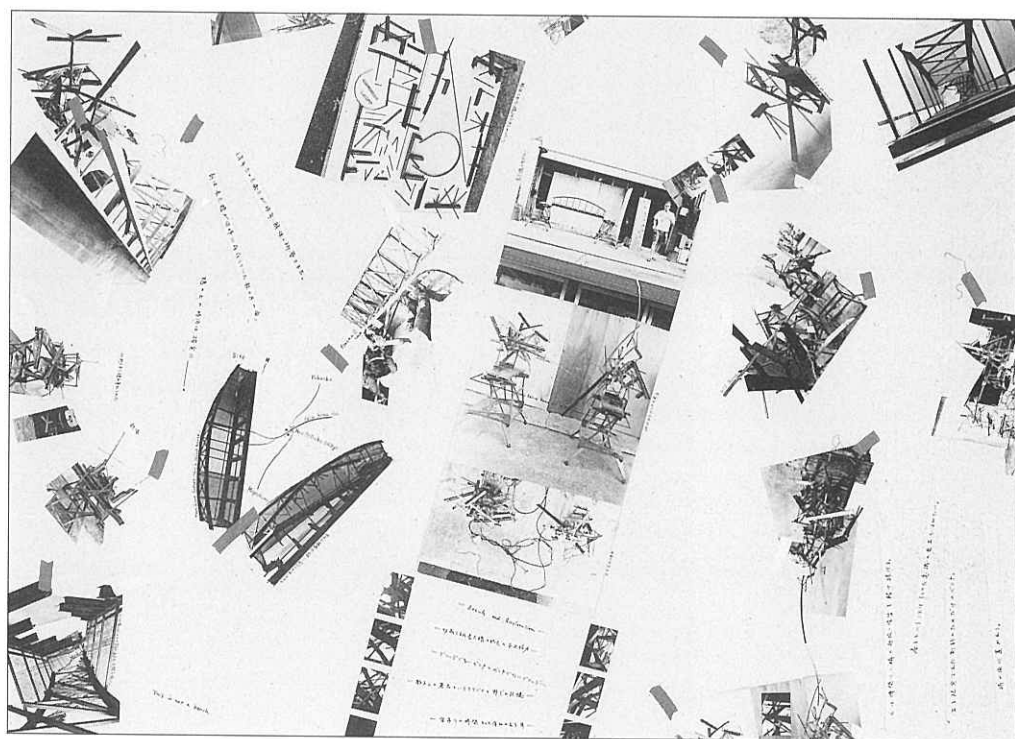
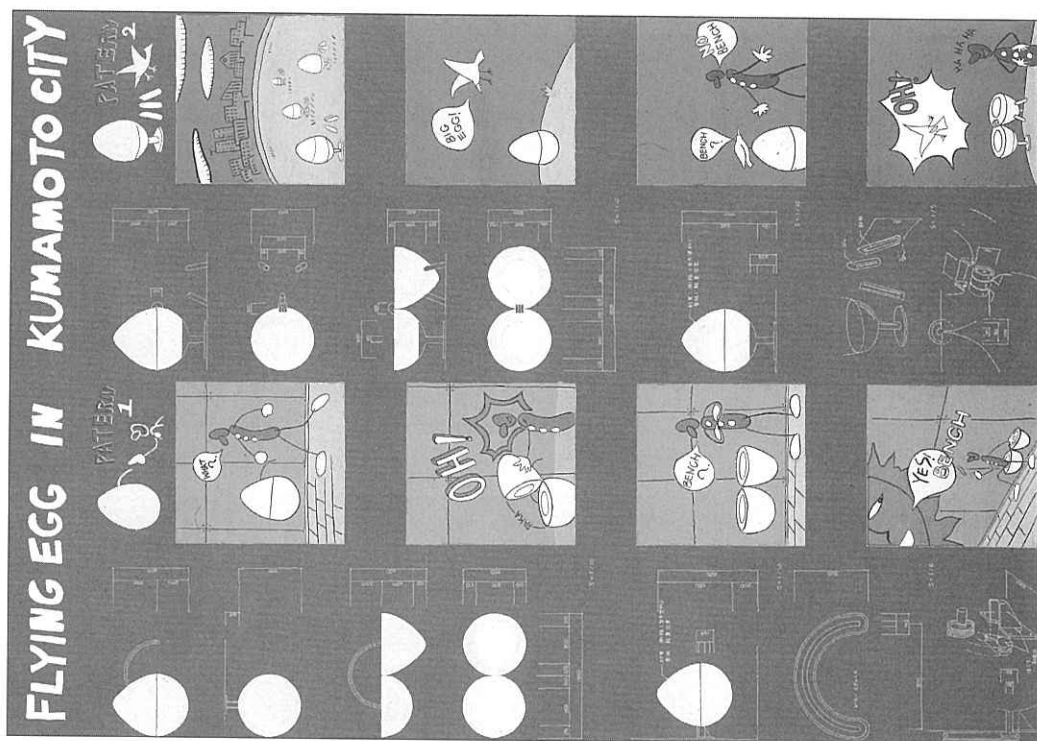


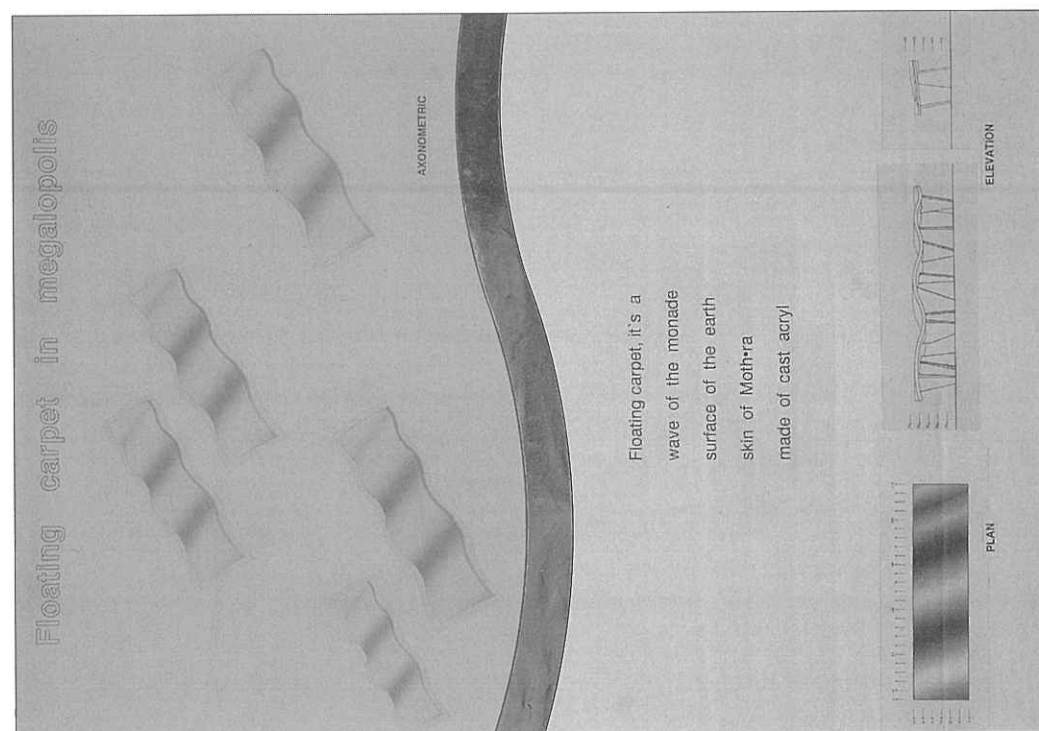
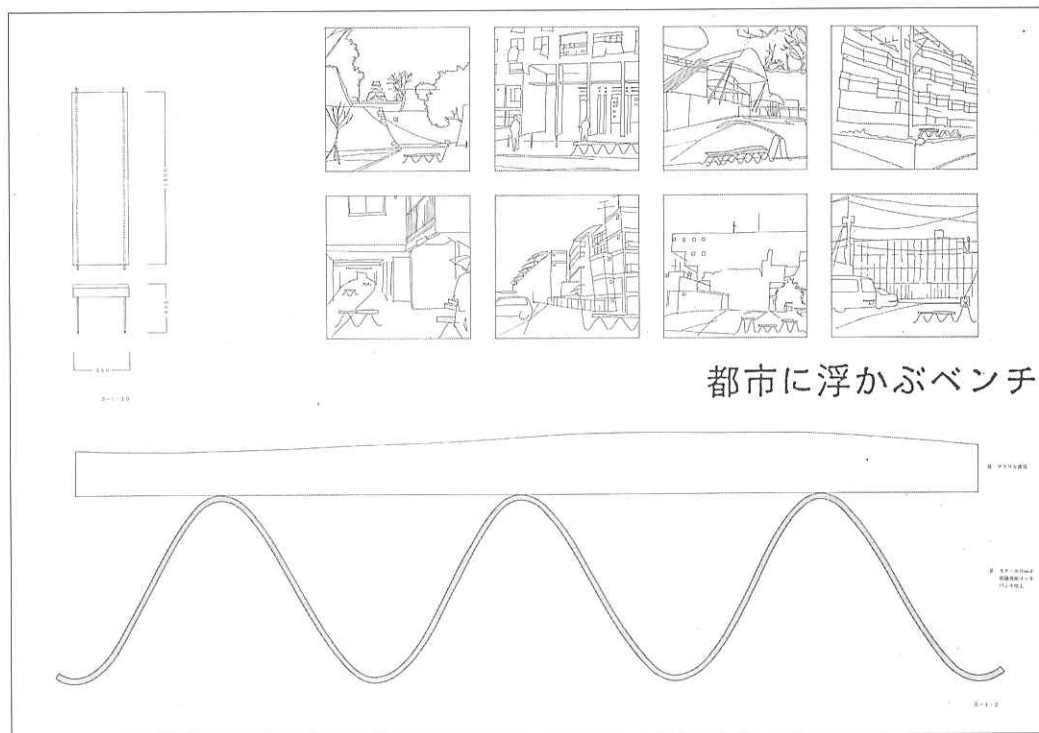


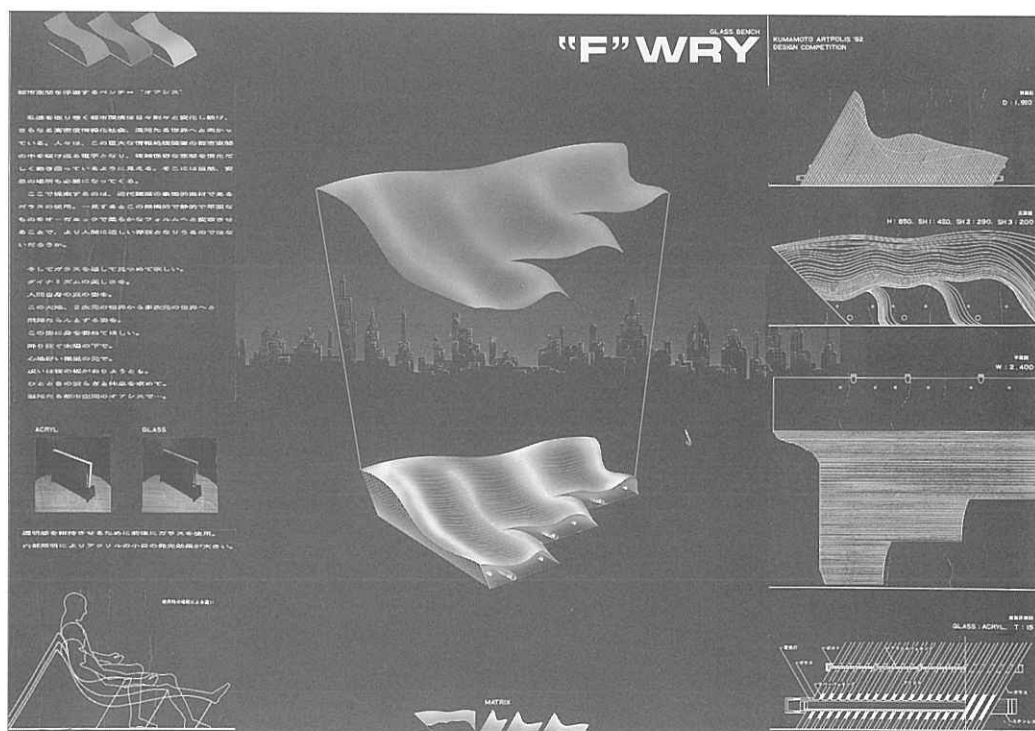
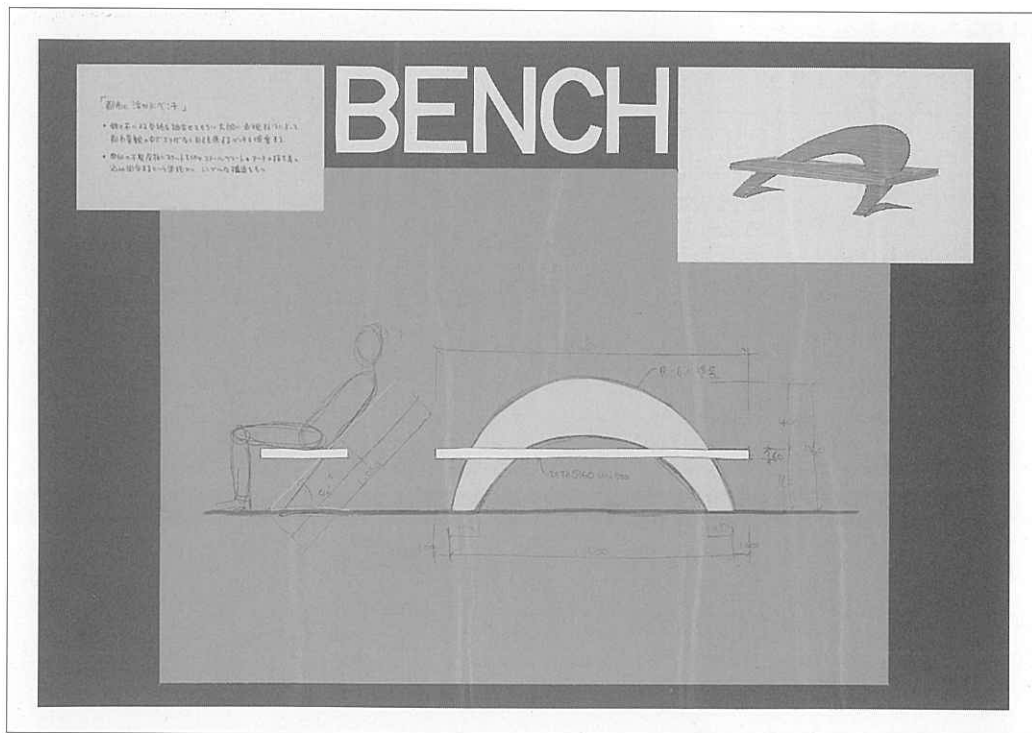




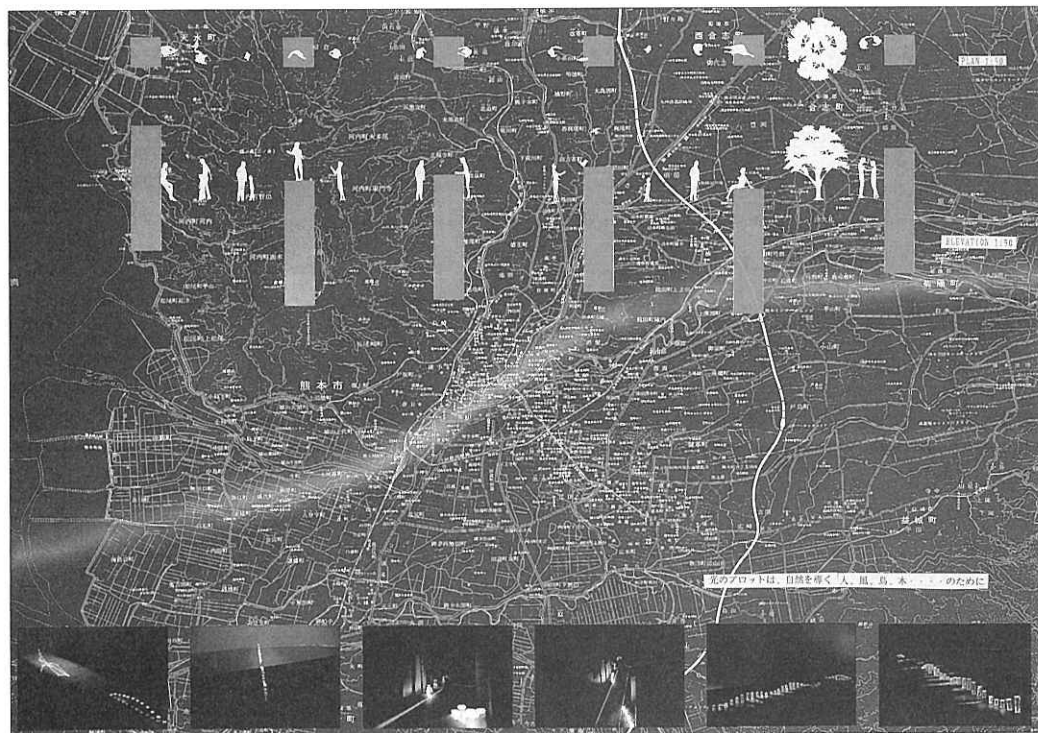
縦



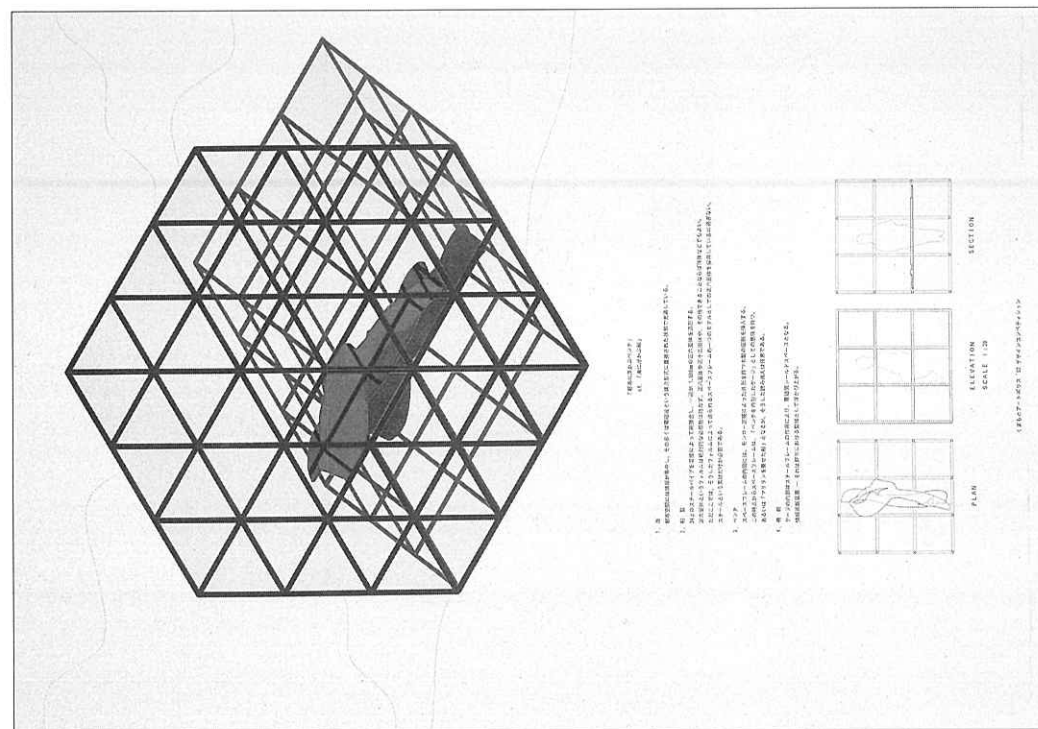




169 三浦加奈代
林 義史
上田 智子



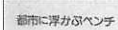
170 森田 昌宏



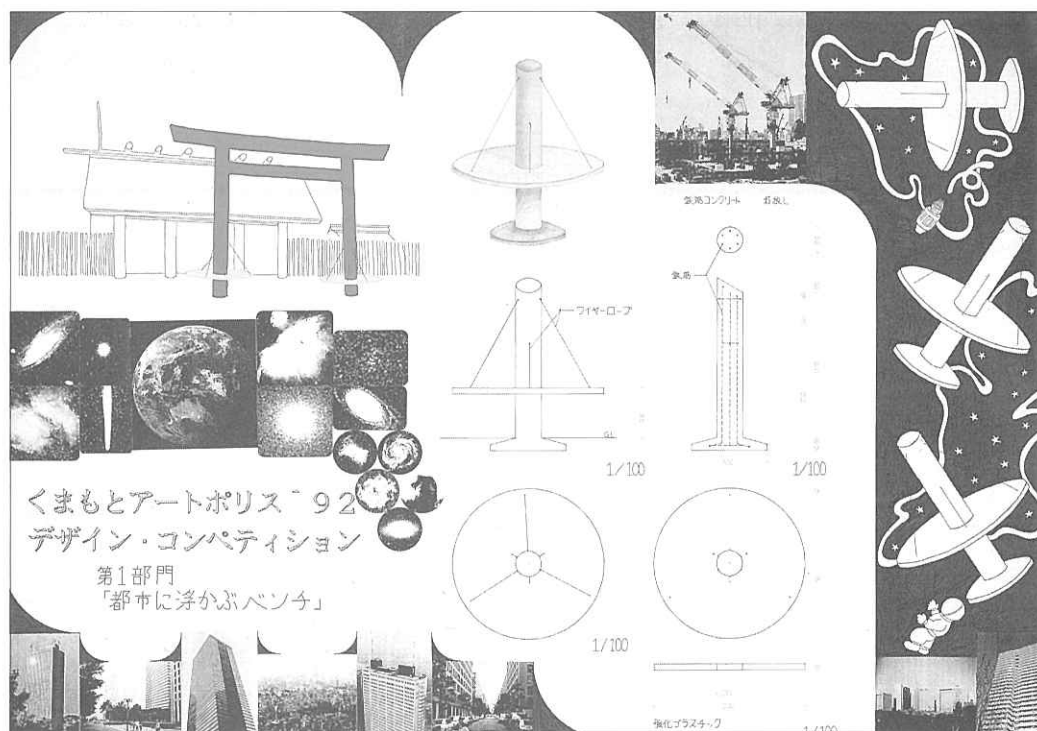
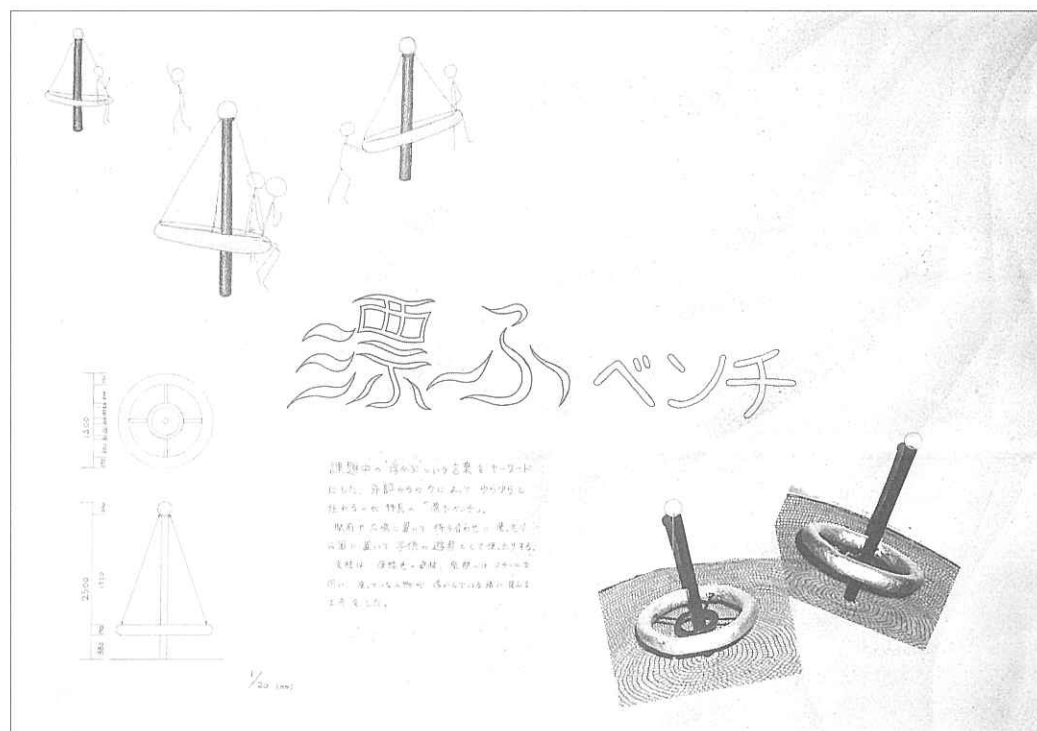
縦

1

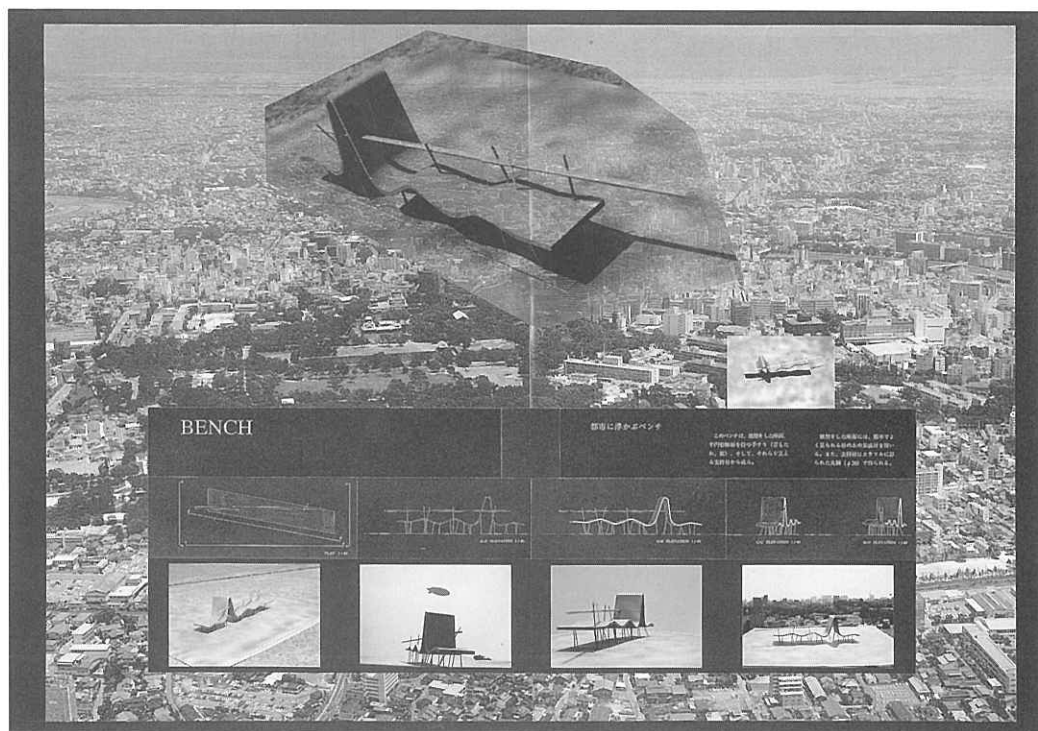
縦



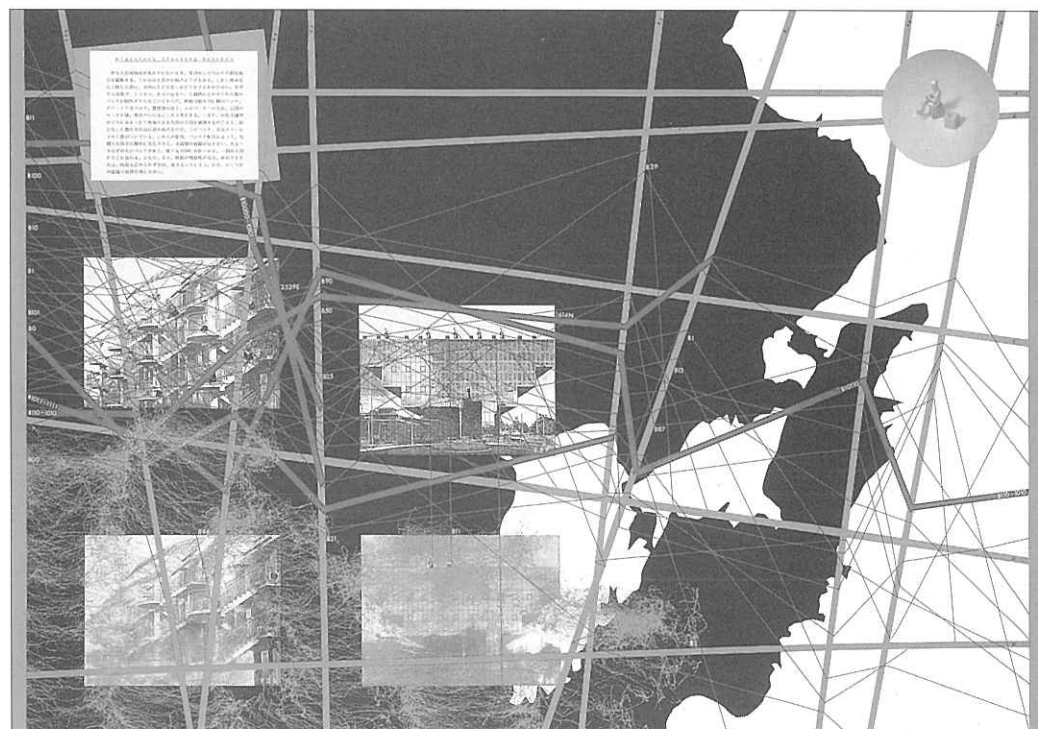
1

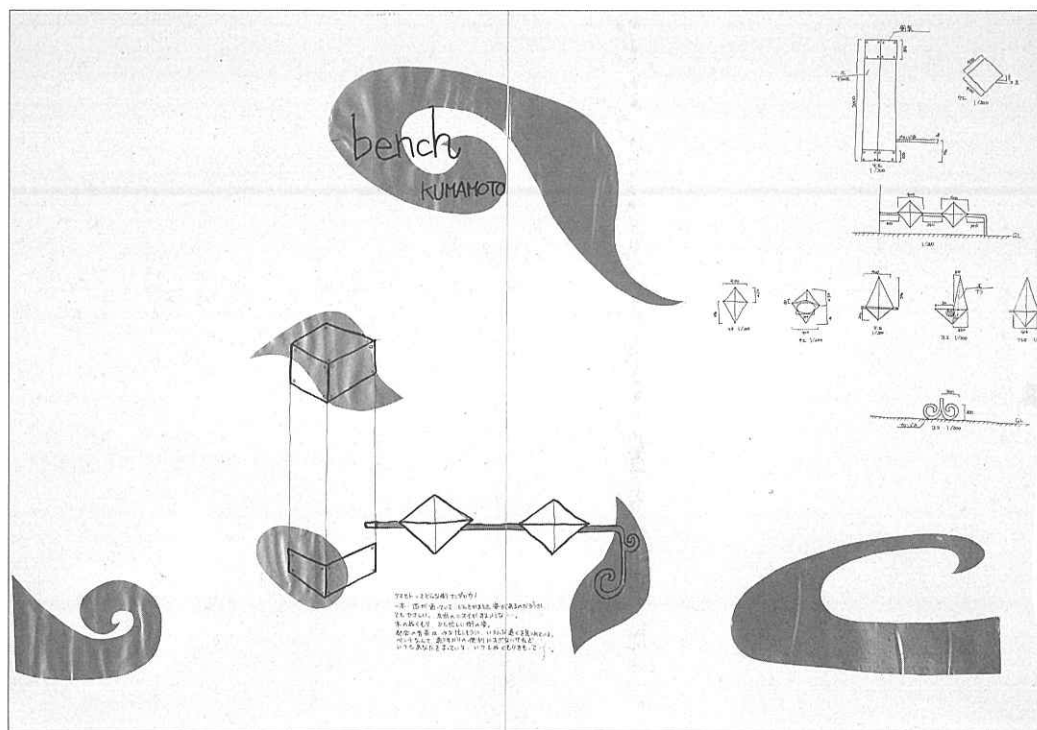
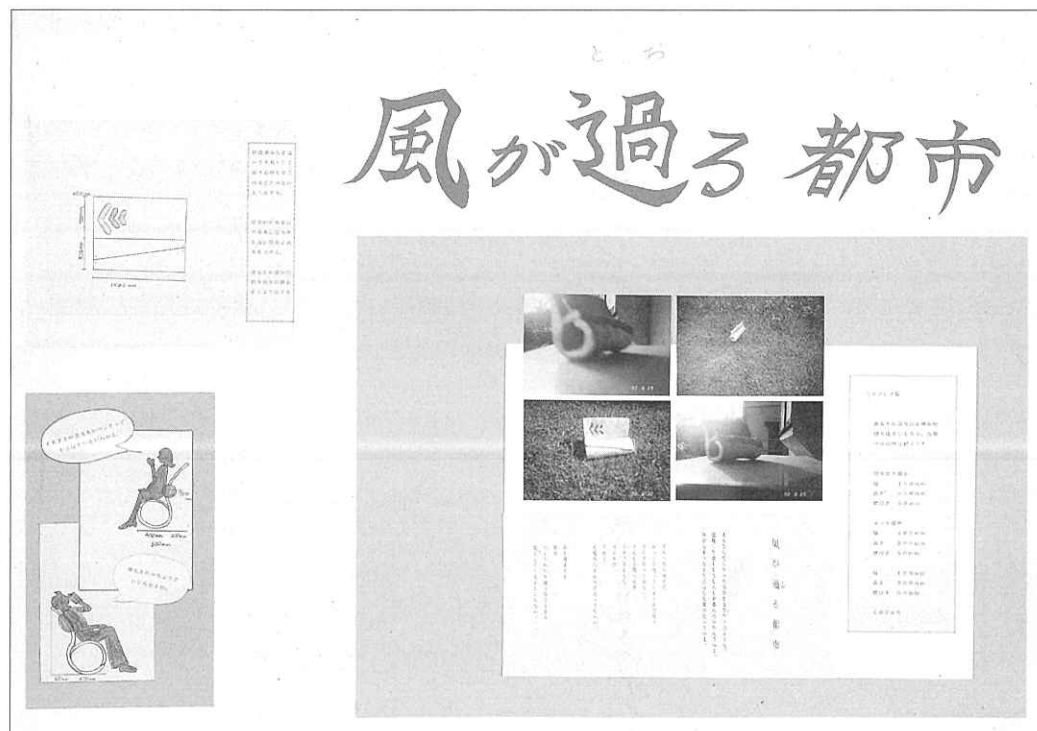


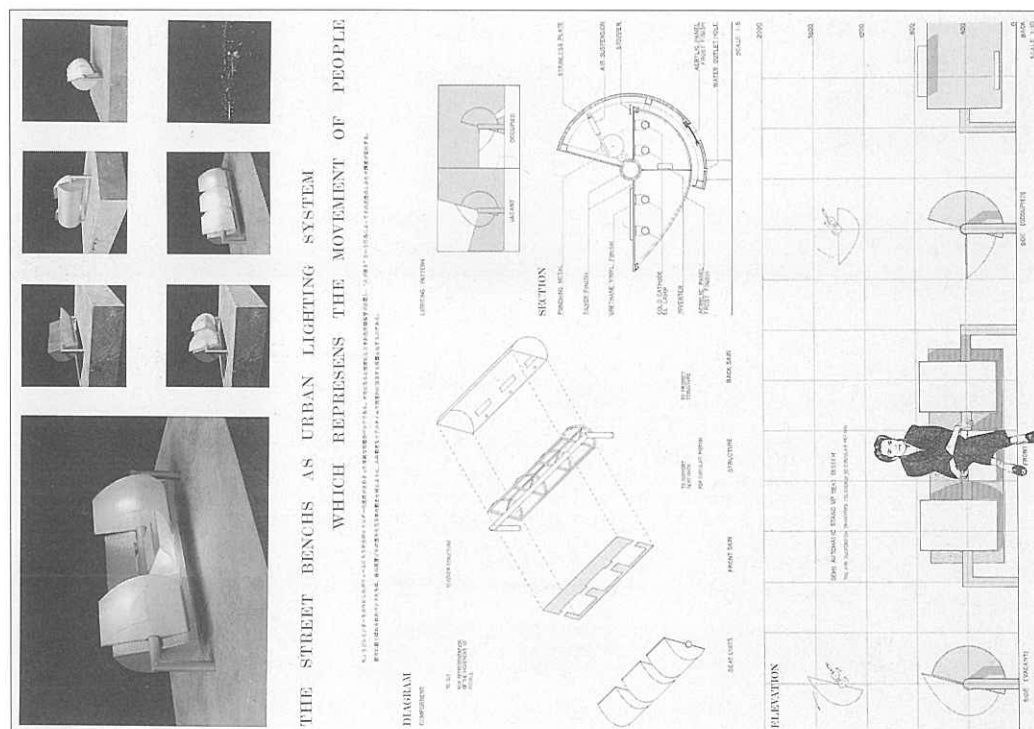
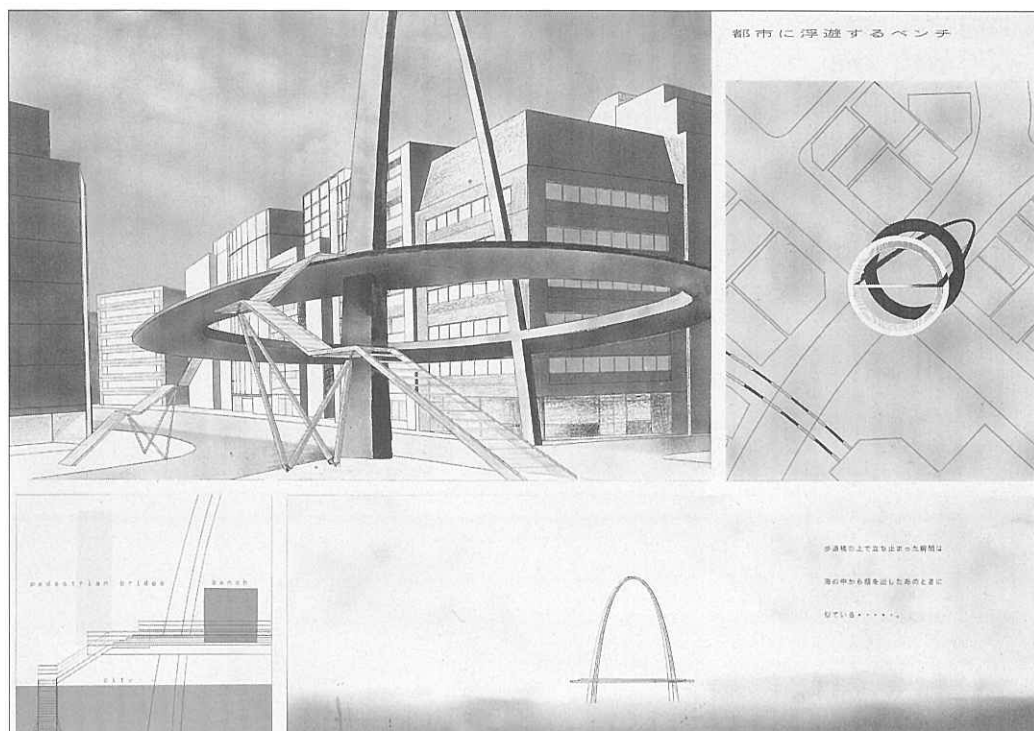
175 榎本 恒平
吉満 聡



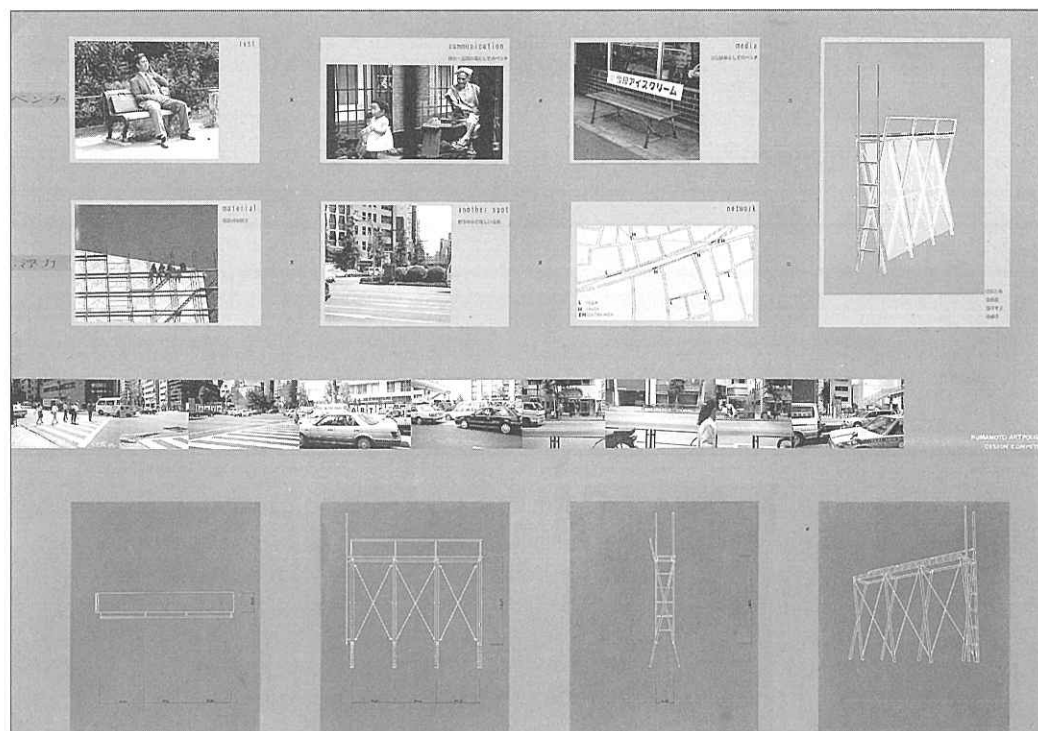
177 五十嵐太郎
大川 信行



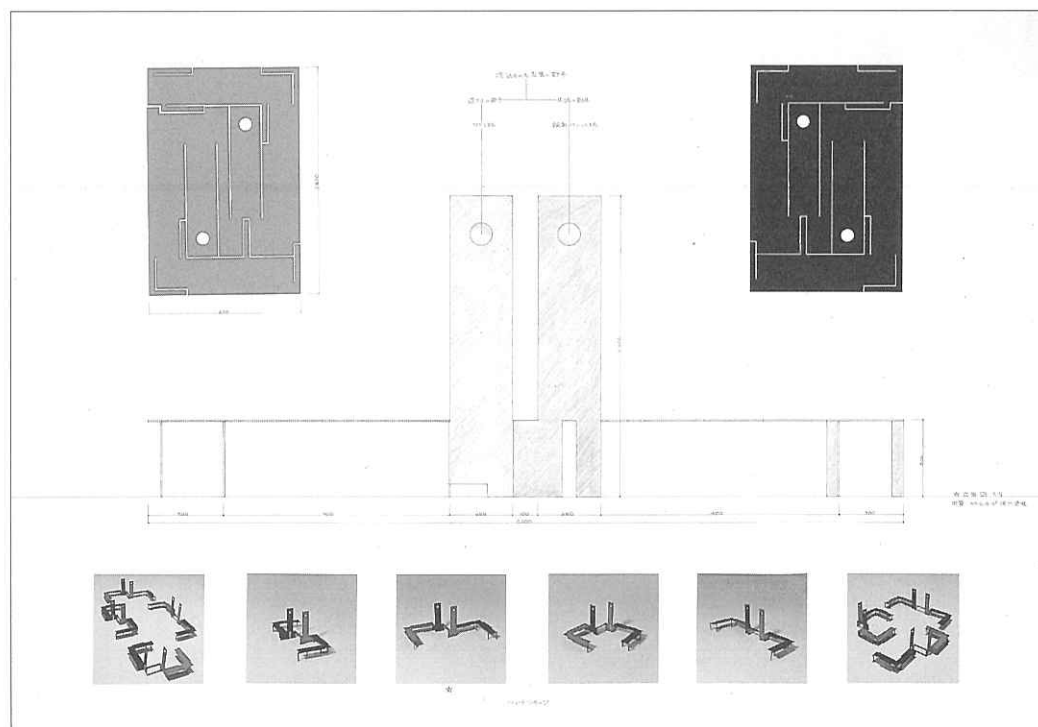




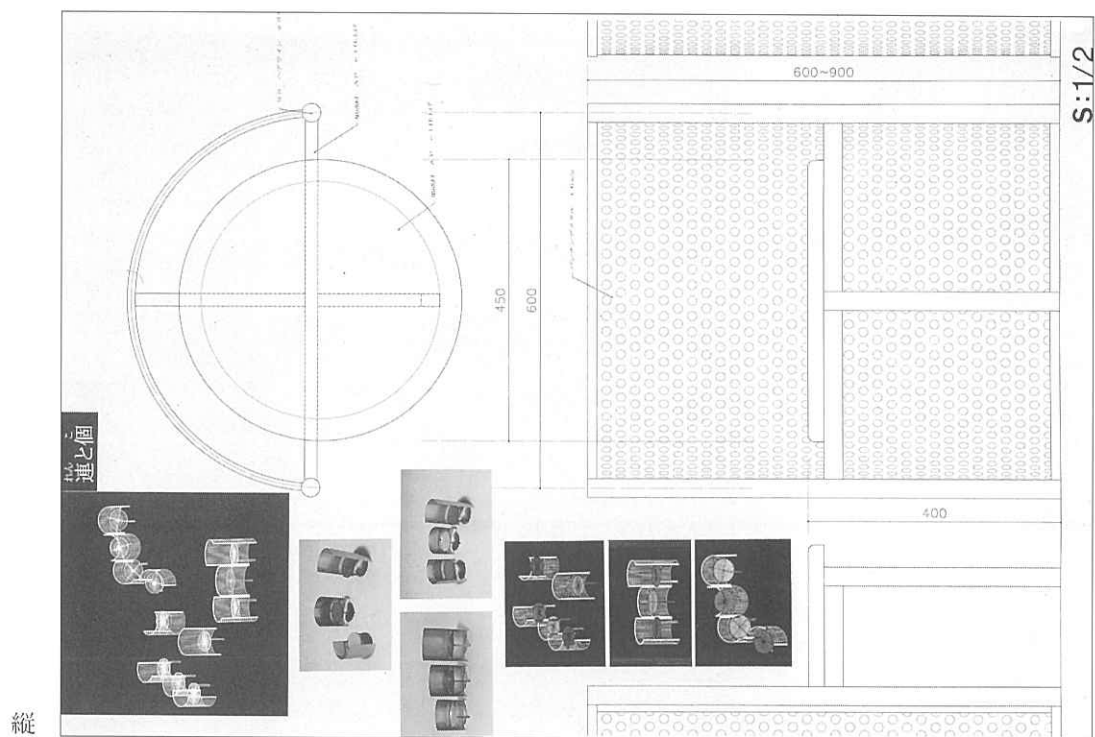
182 鈴木 秀雄
守屋 弓男



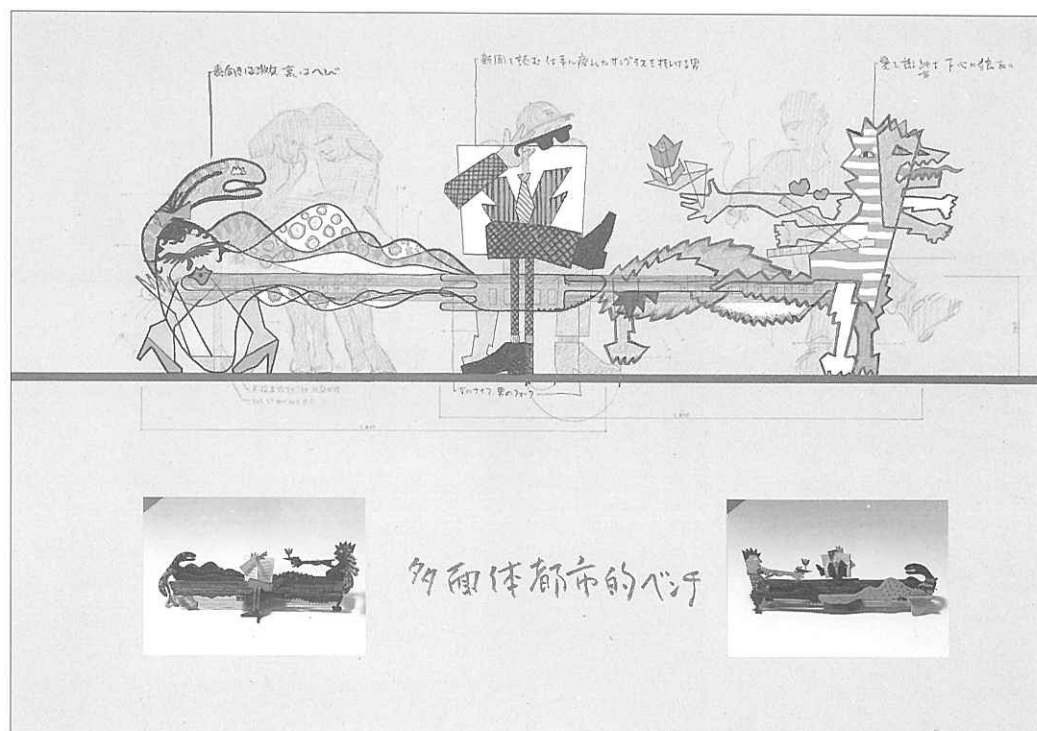
183 瀧谷 正弘
松井 信也
山岸三千代
平栗美華栄

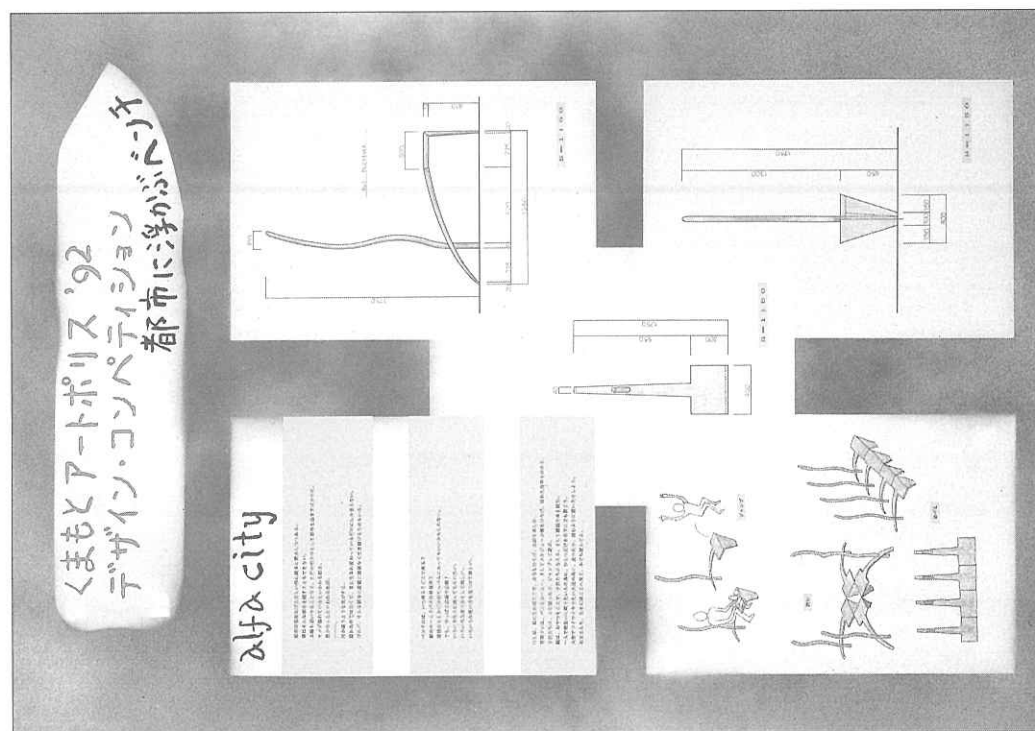
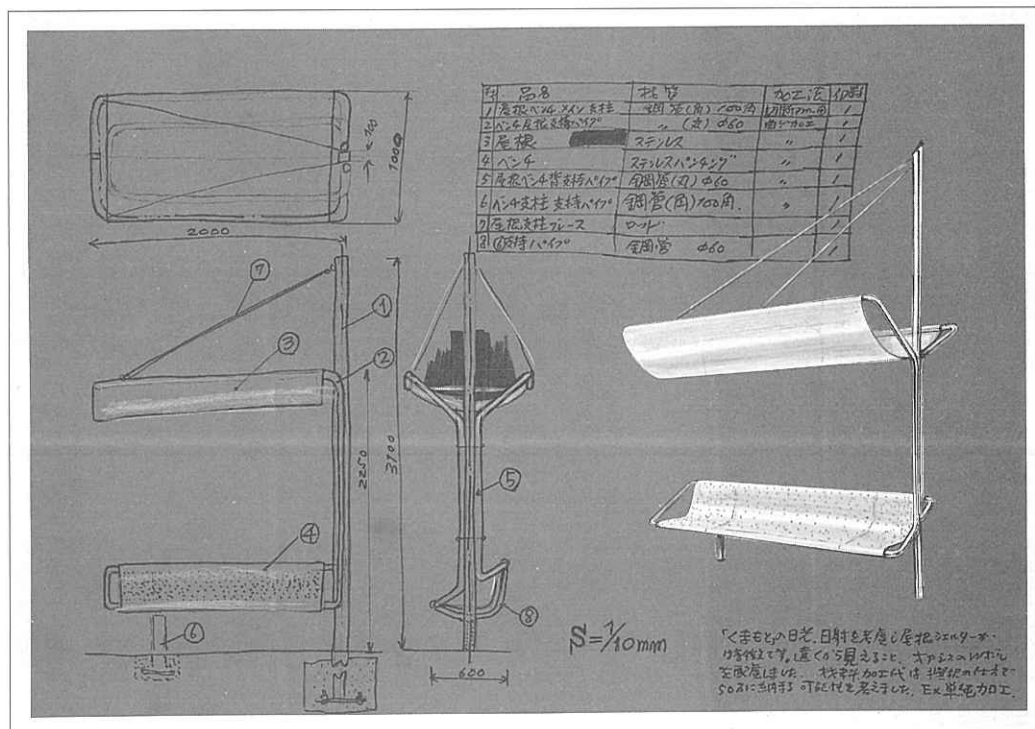


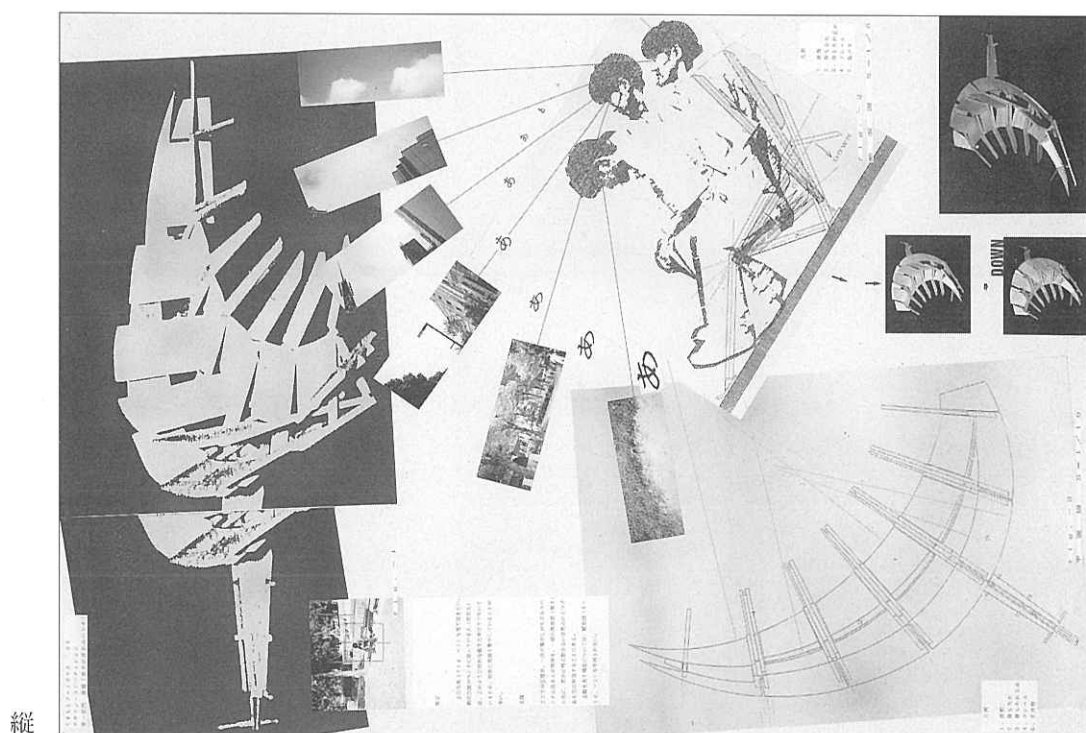
184 平栗美華栄
山岸三千代
澁谷 正弘

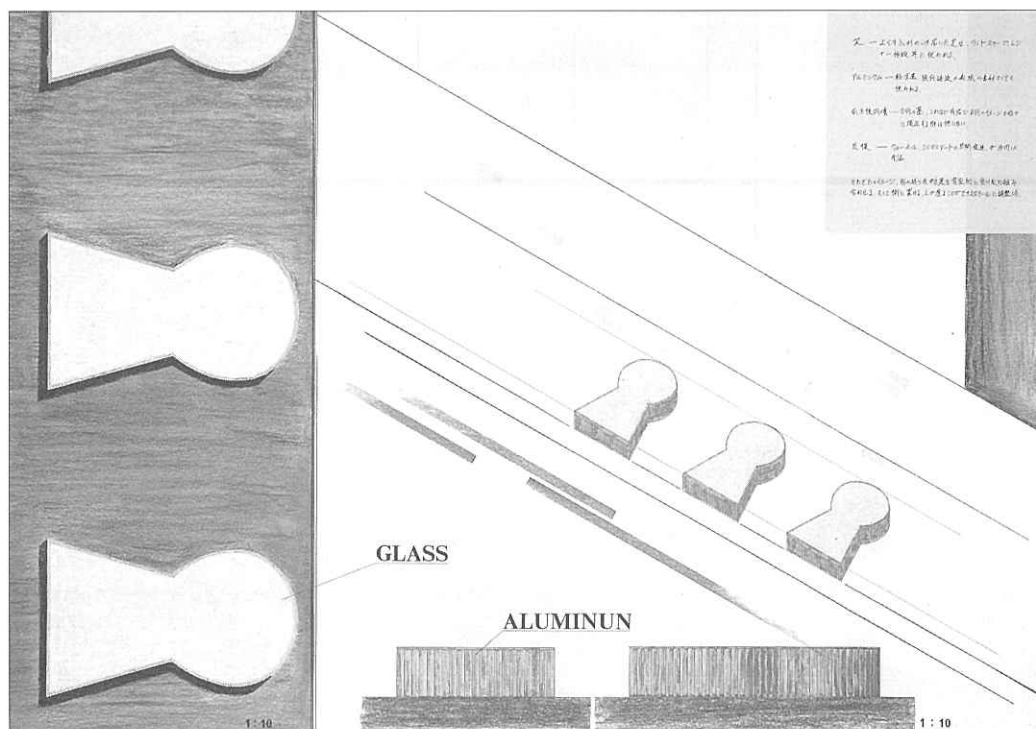
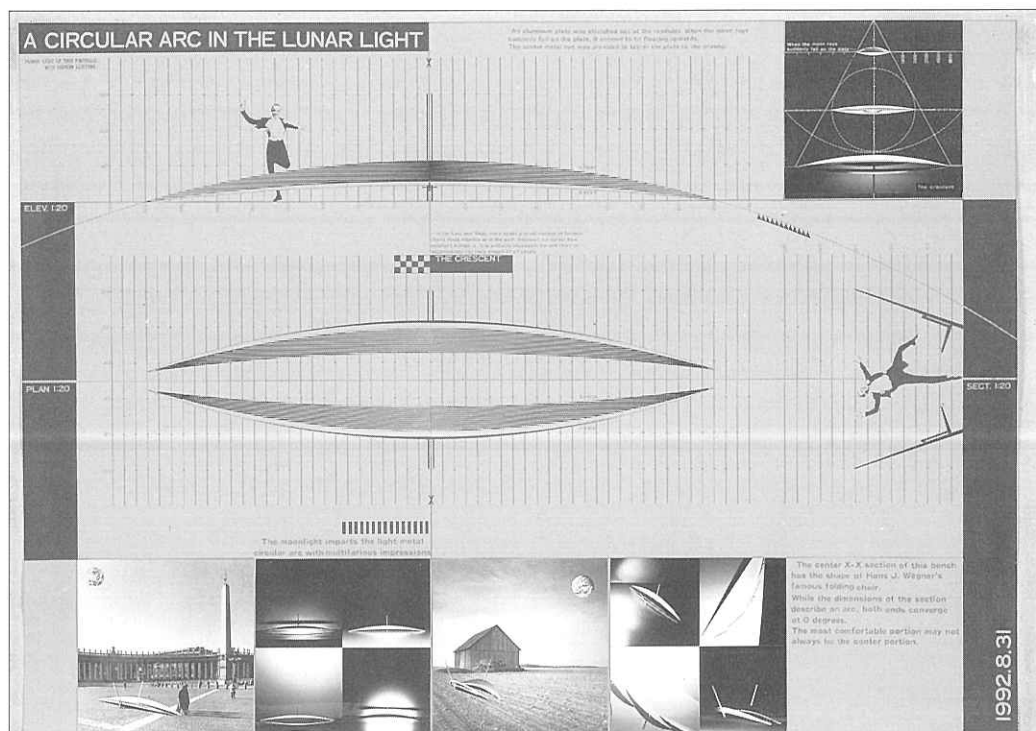


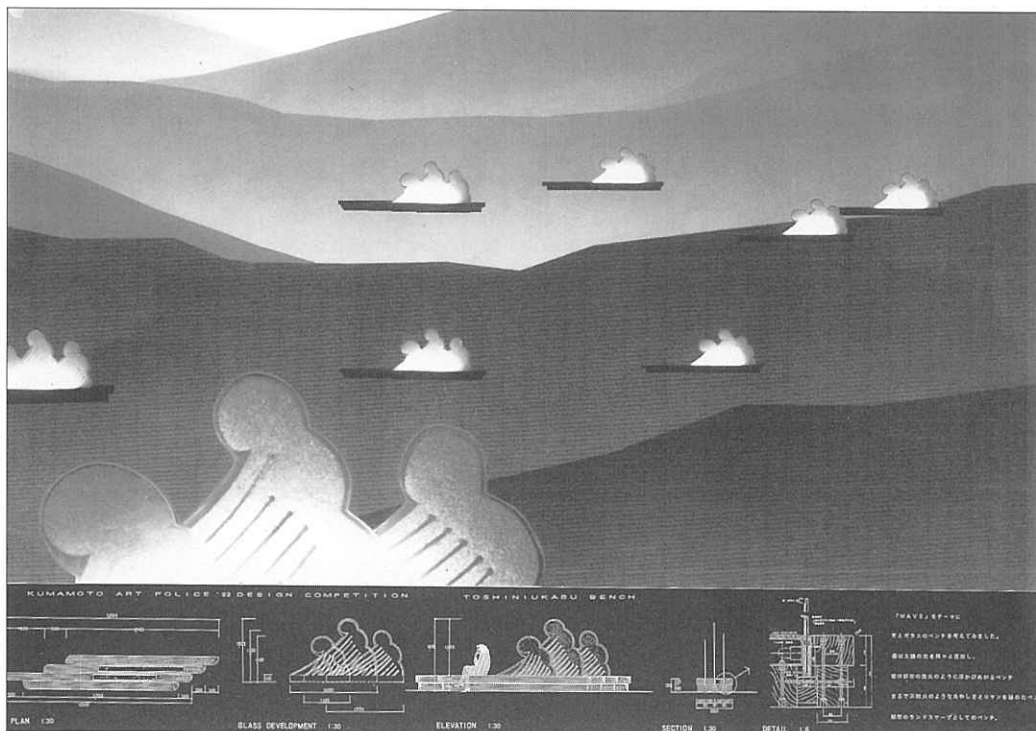
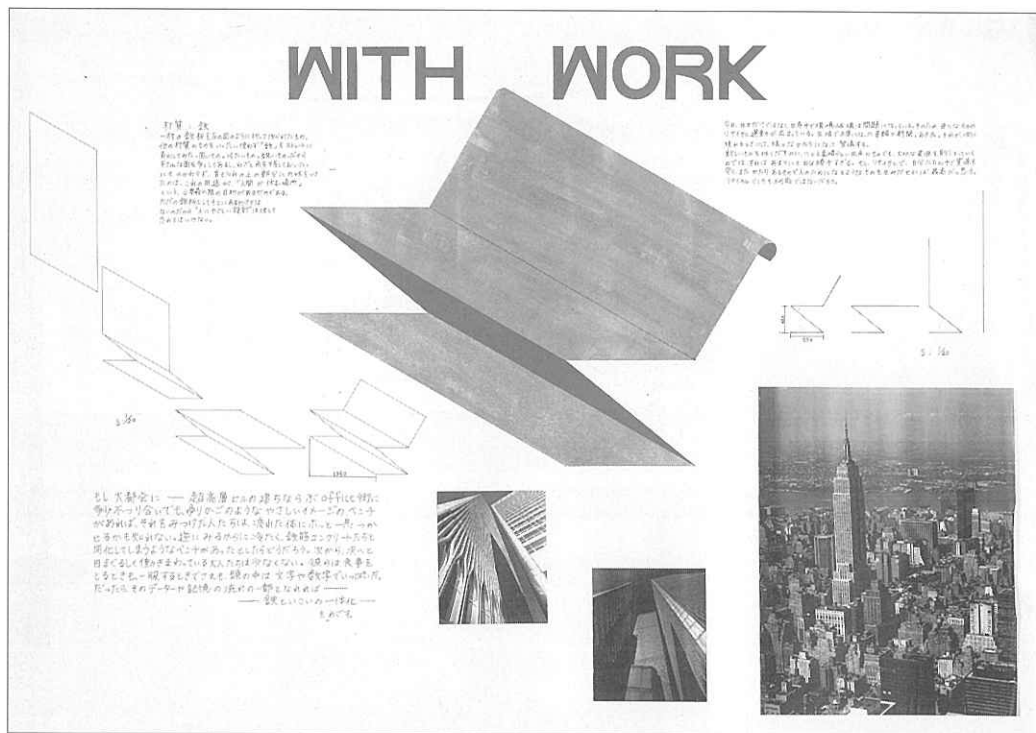
185 松井 信也
澁谷 正弘
山岸三千代
平栗美華栄

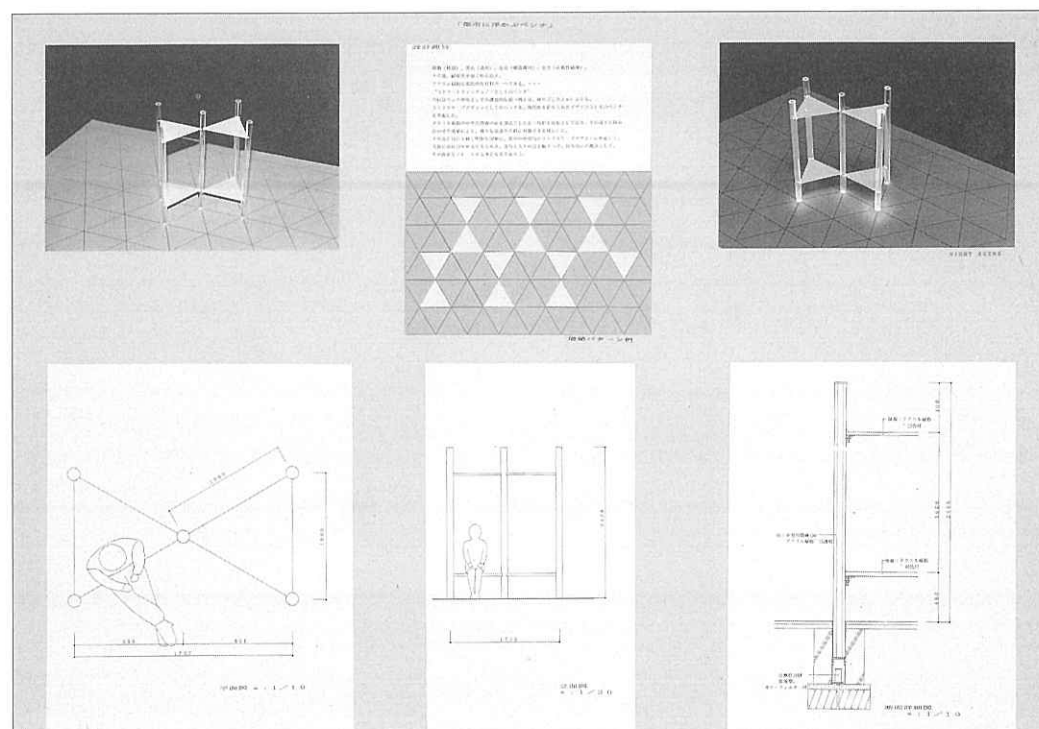
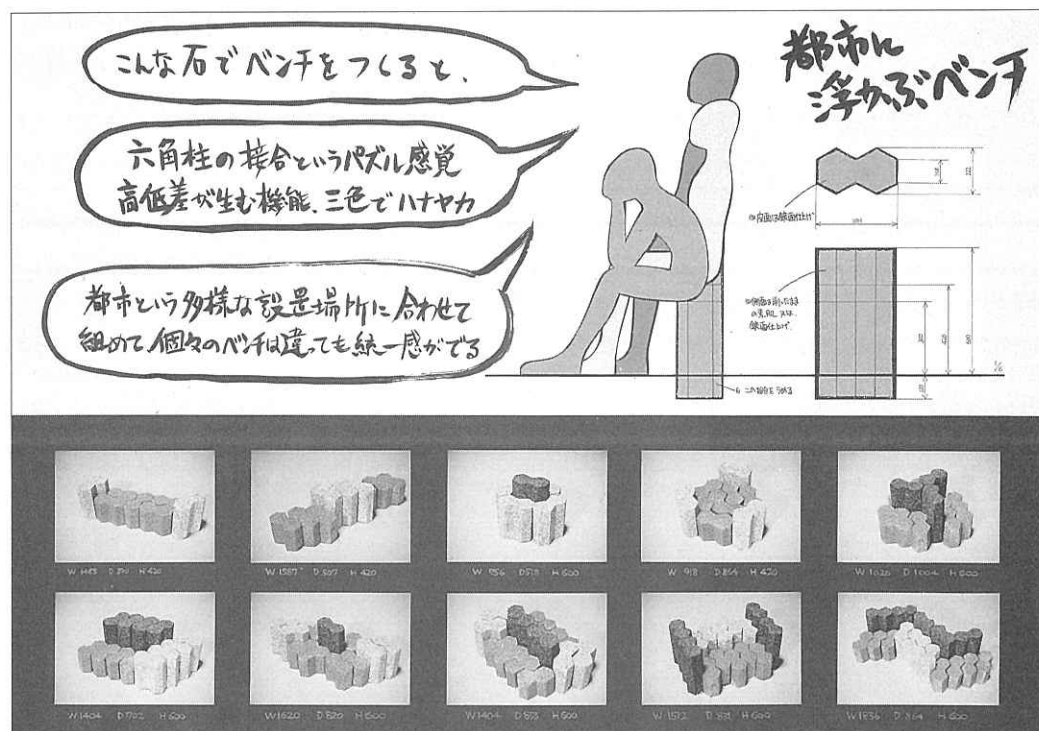


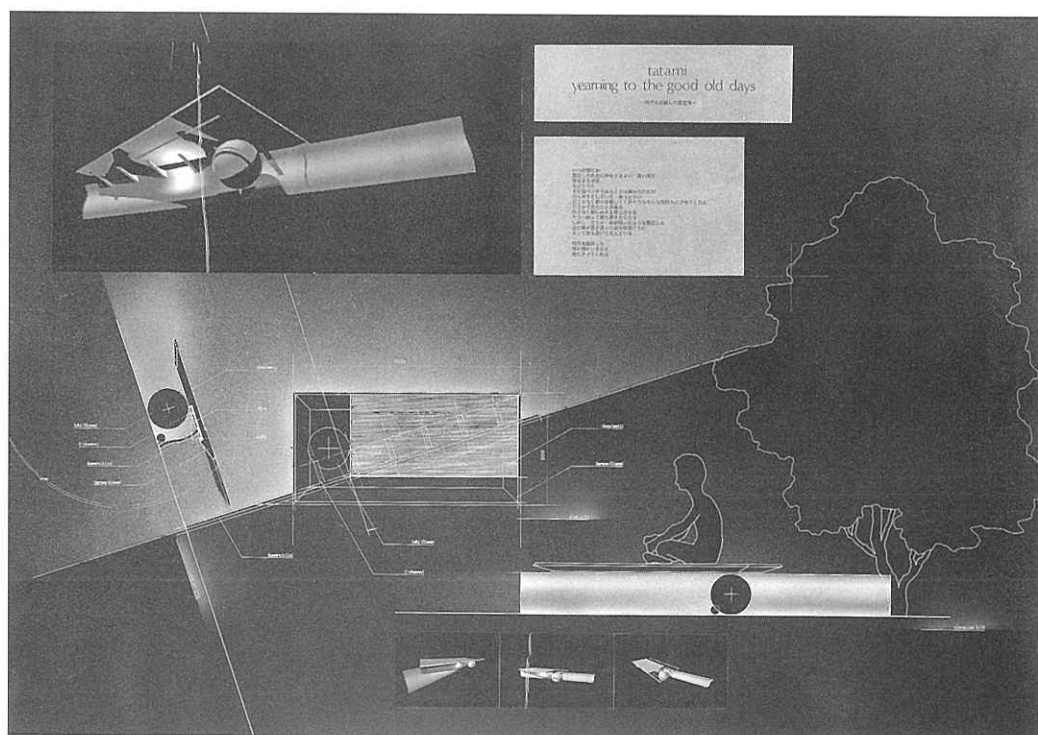
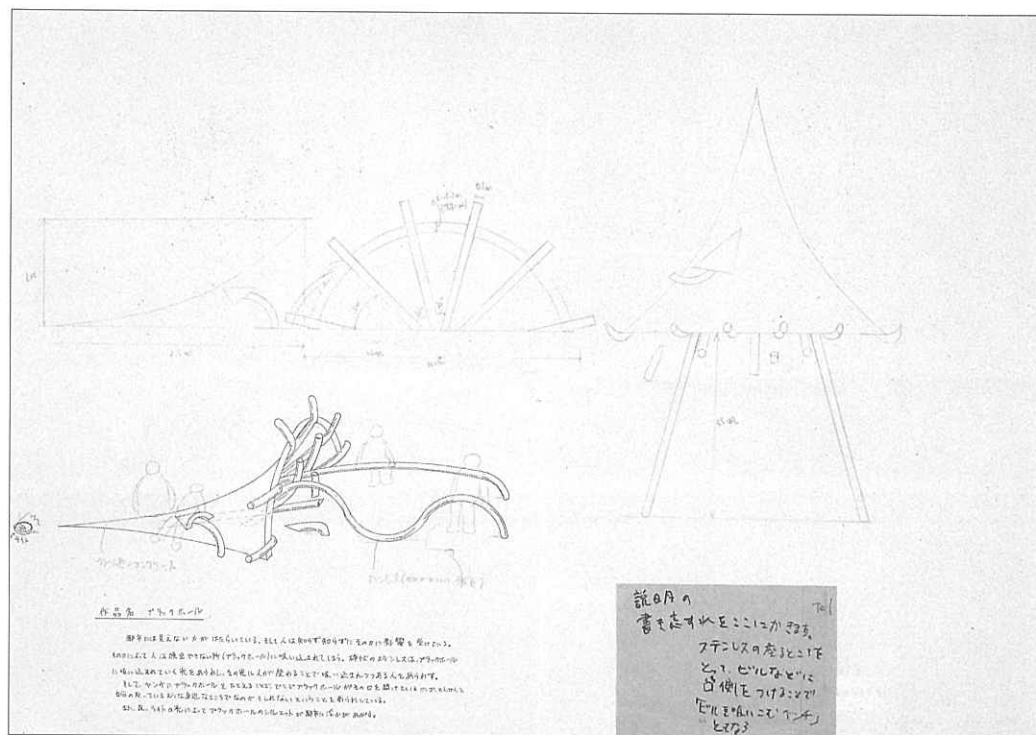


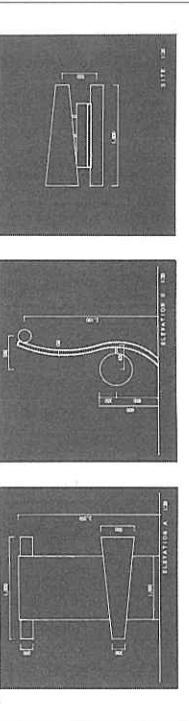
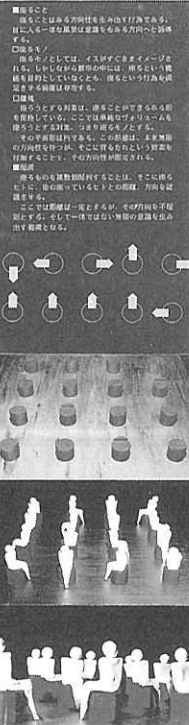




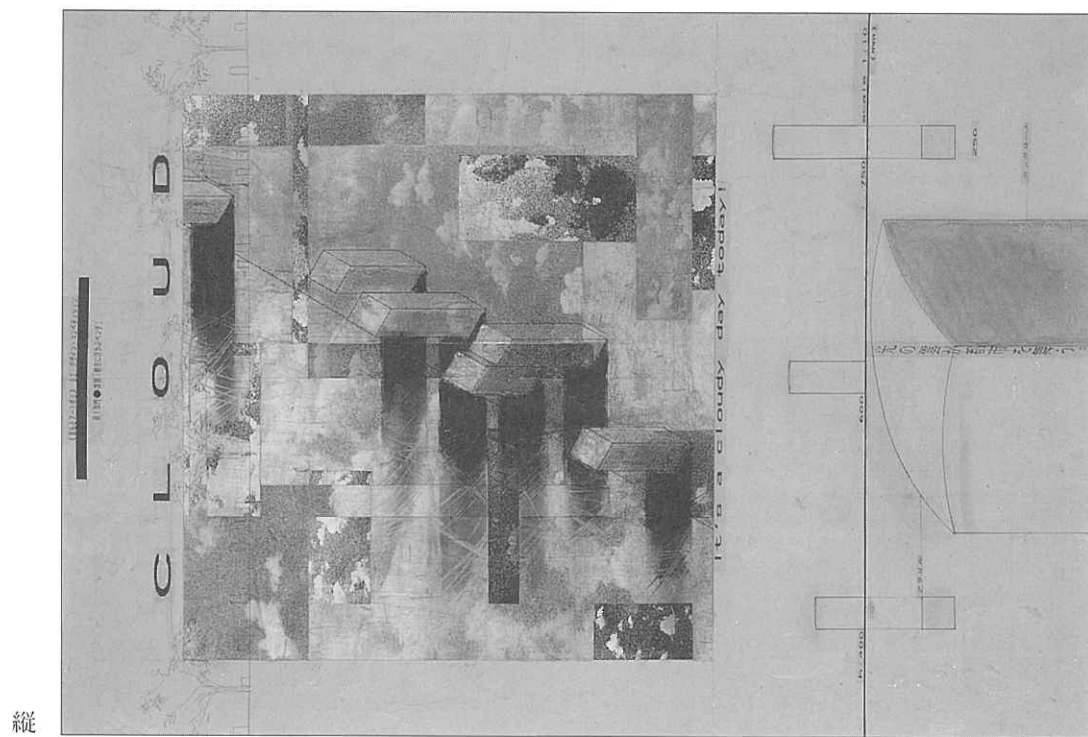




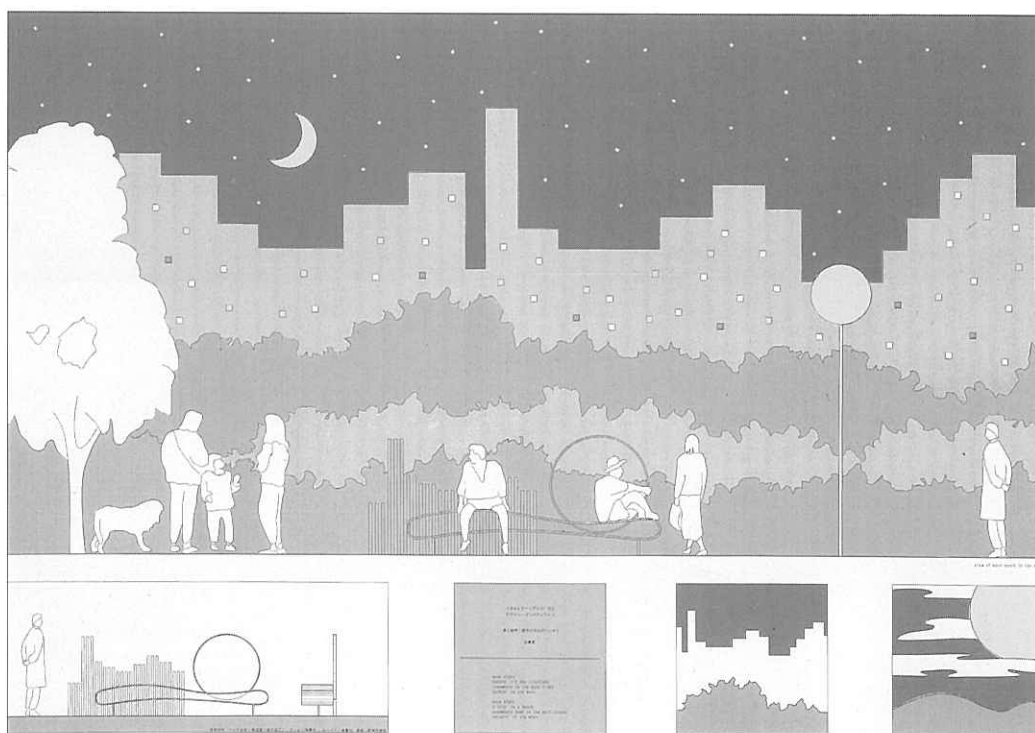


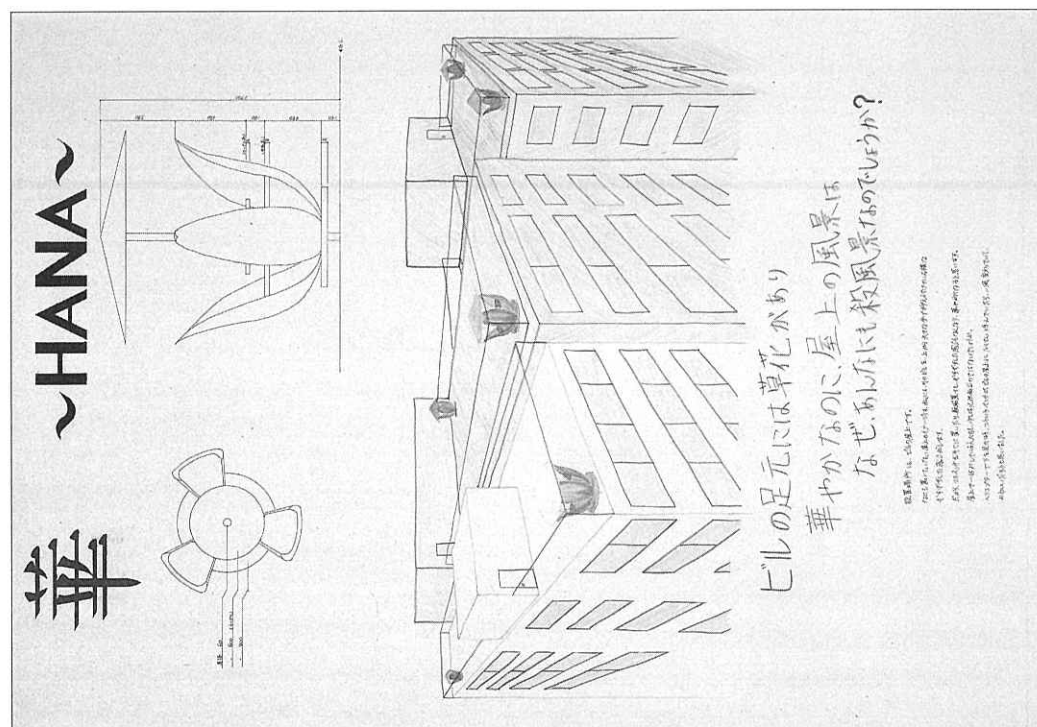
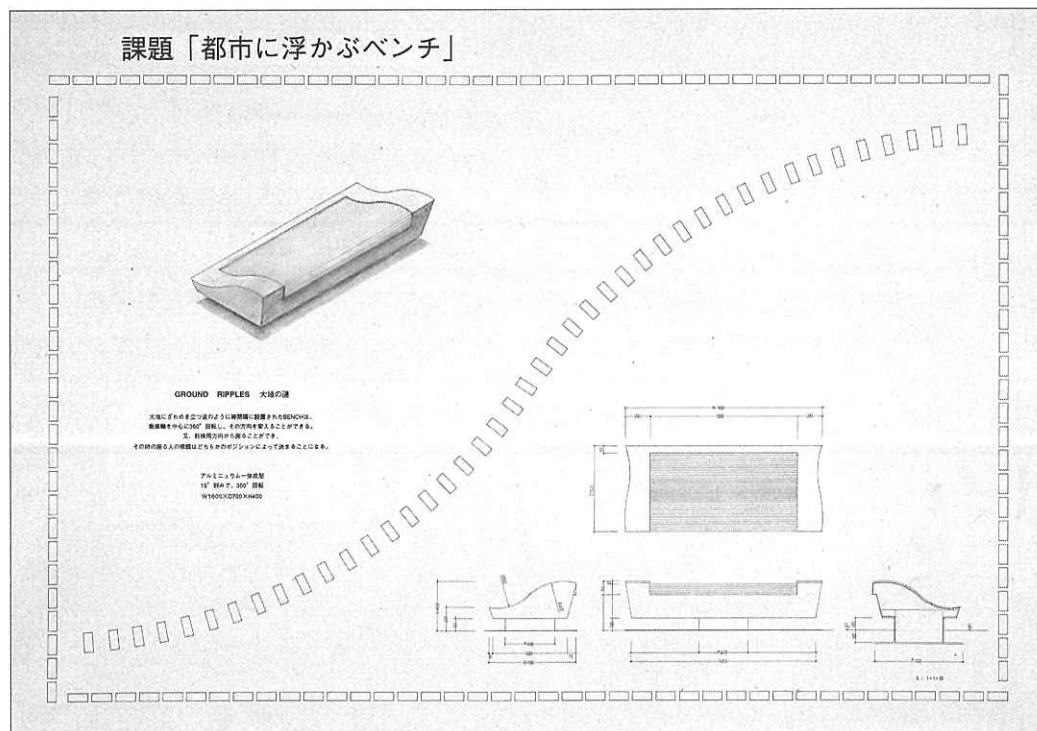


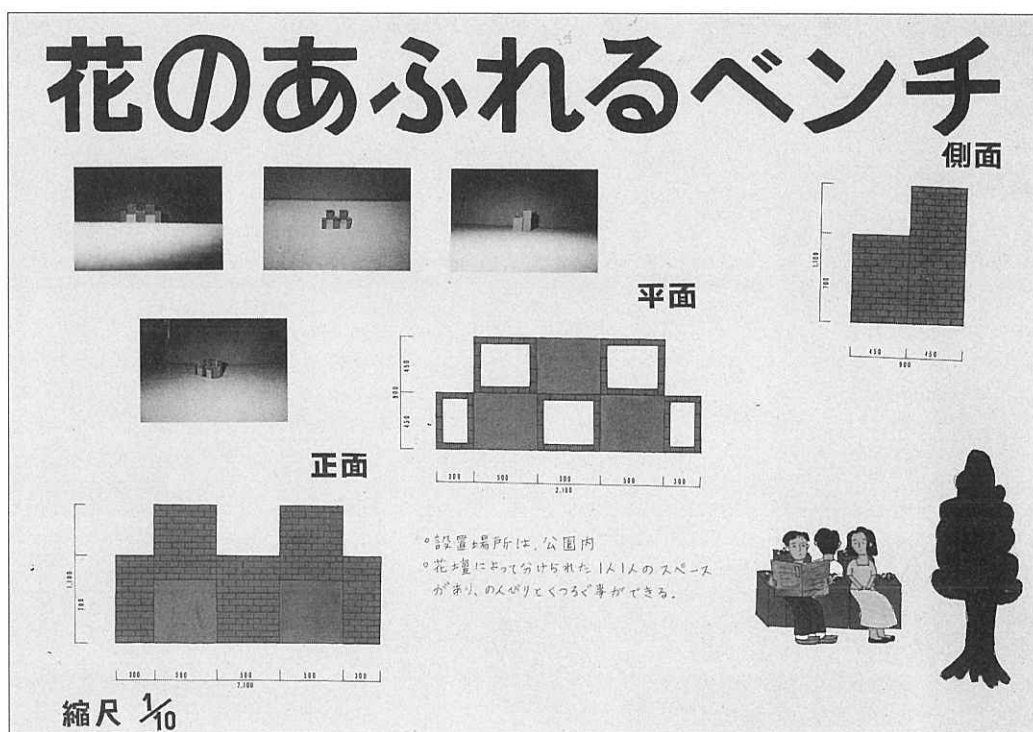
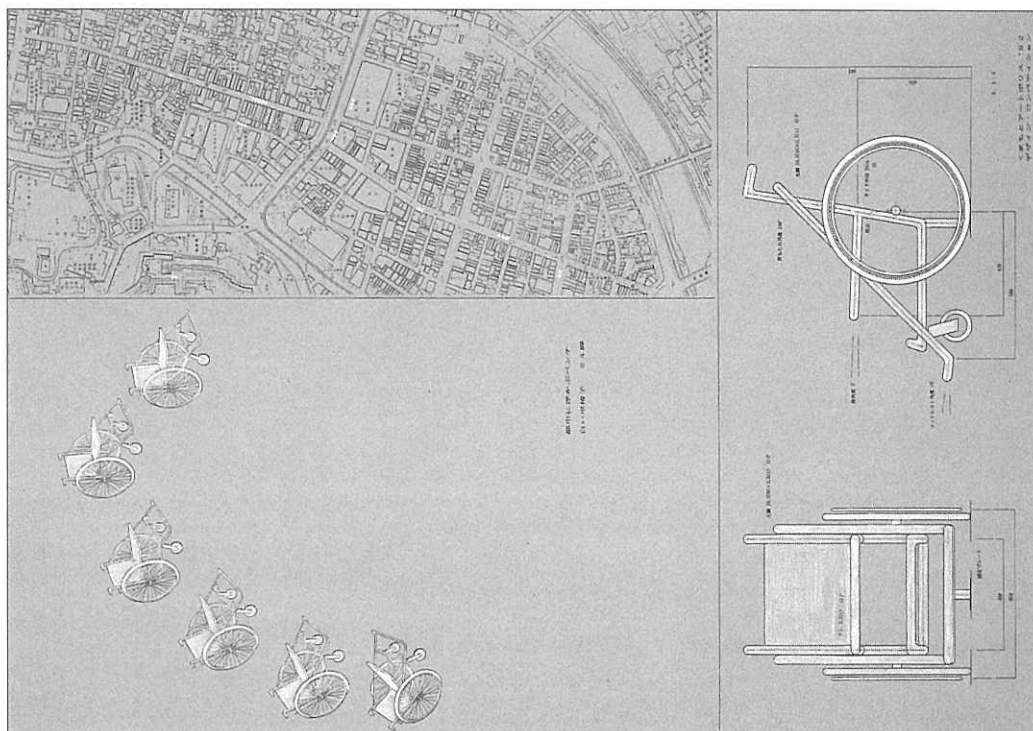
200 吉田 幸代



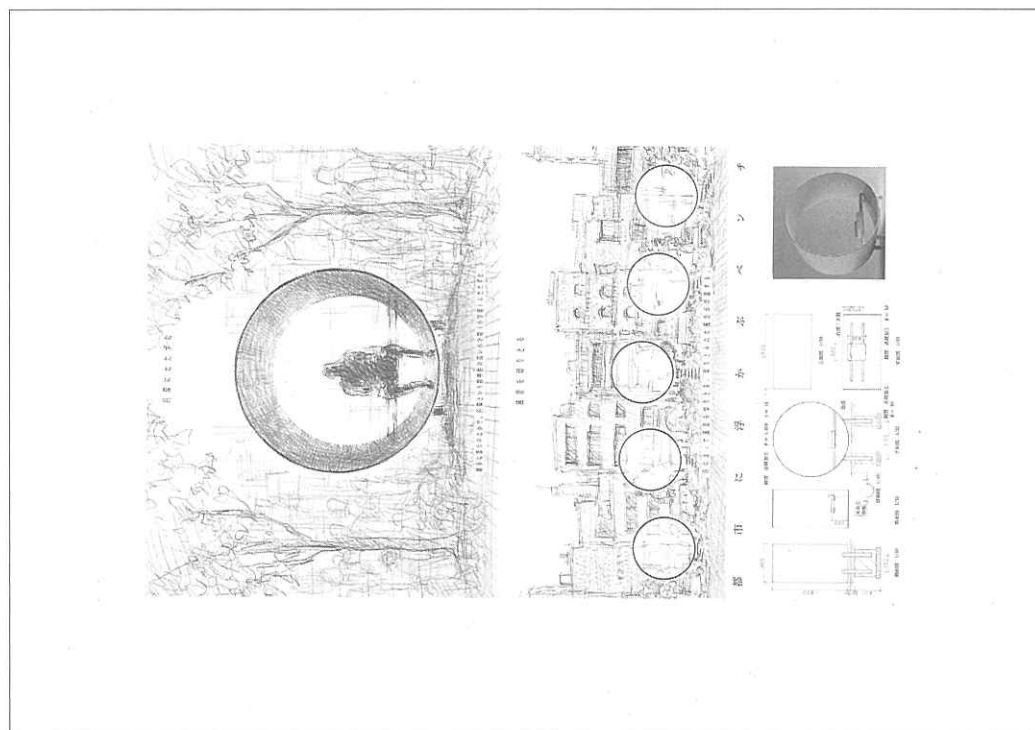
201 道塚 勉



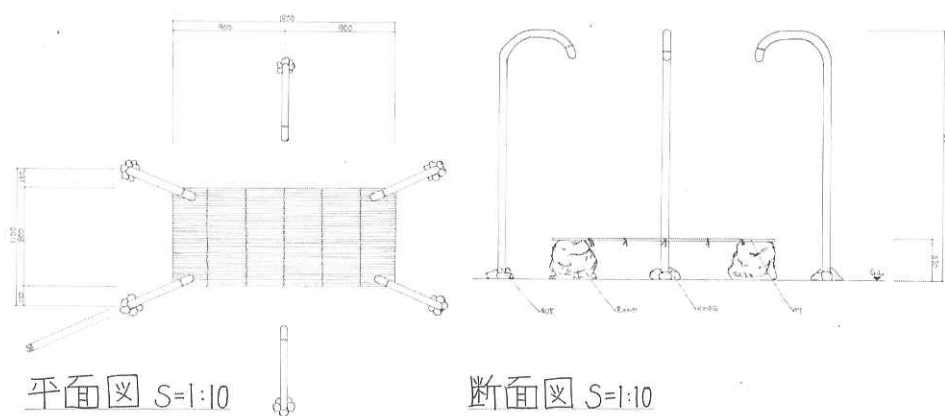




縦

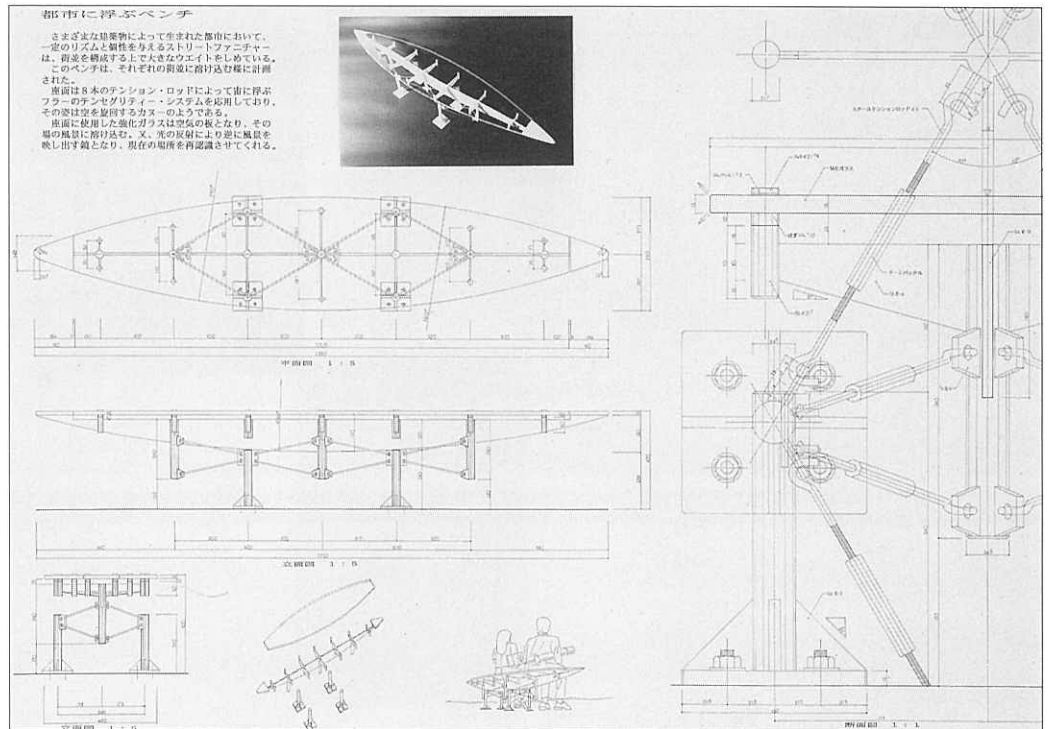


Squear ベンチ

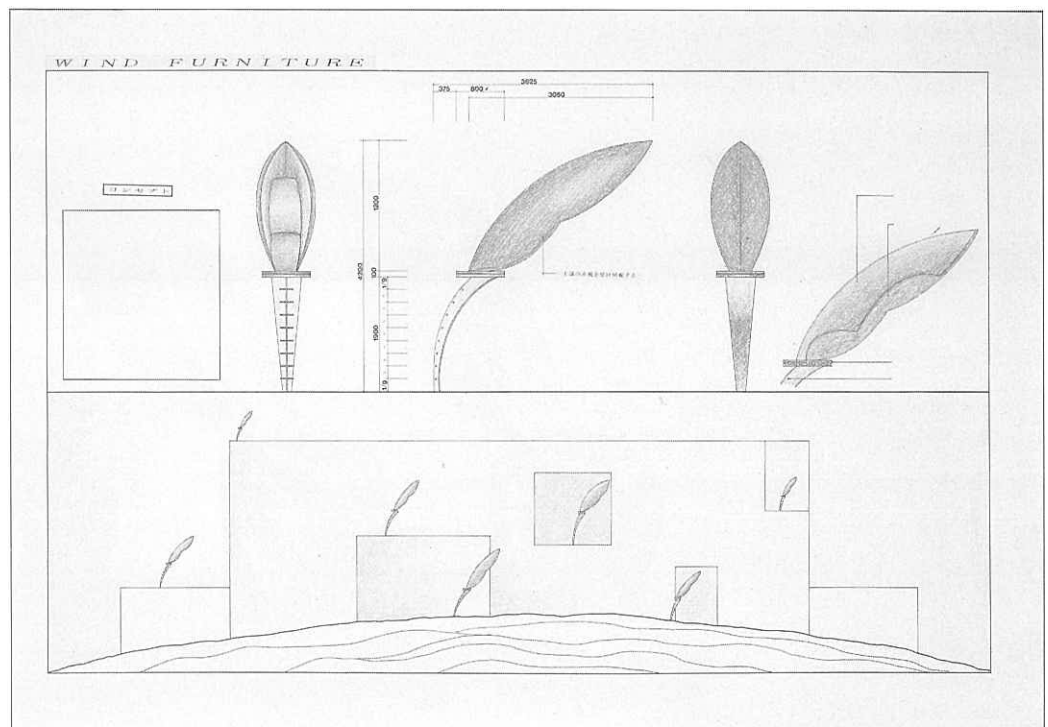


都市の中に、雑踏の中にと、ふっと解放されたい。
 Squear^{広場}に人々が集う。ベンチで人々が憩う。
 そこは夜も明るい。まるで舞台のようだ。

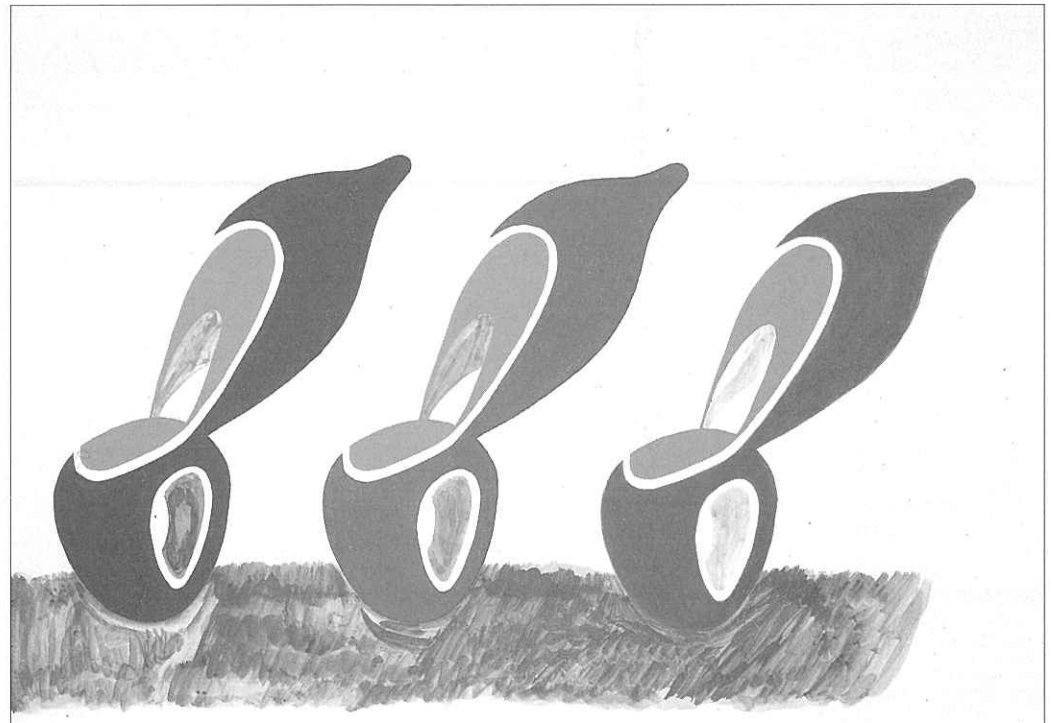
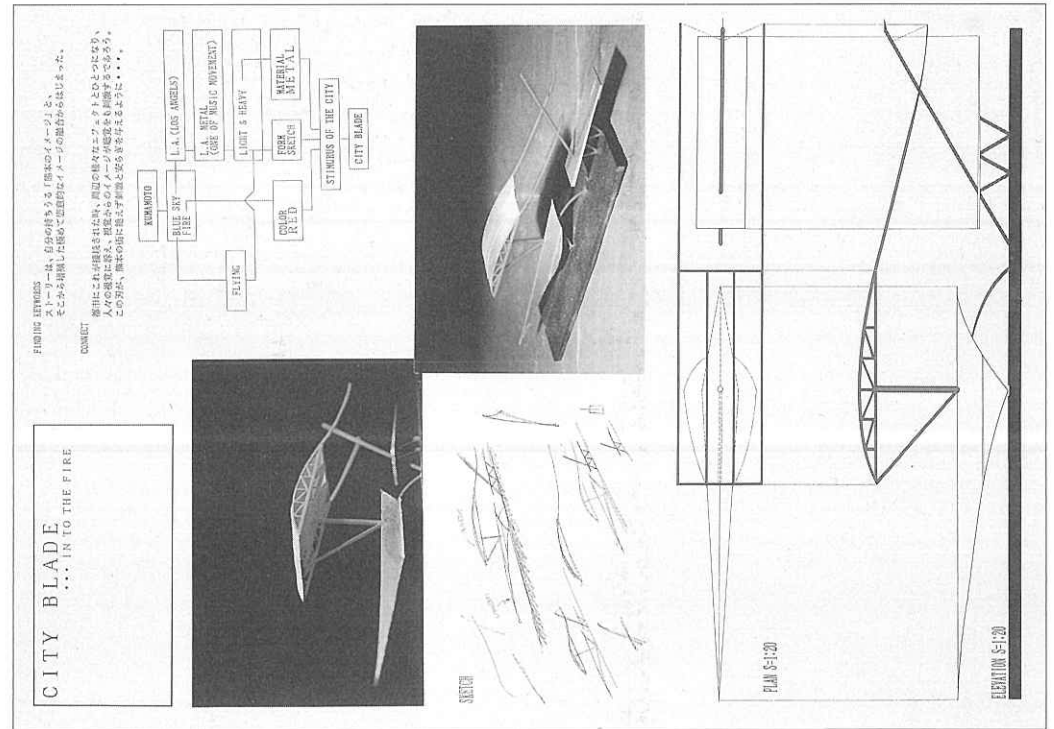
208 星野 直喜

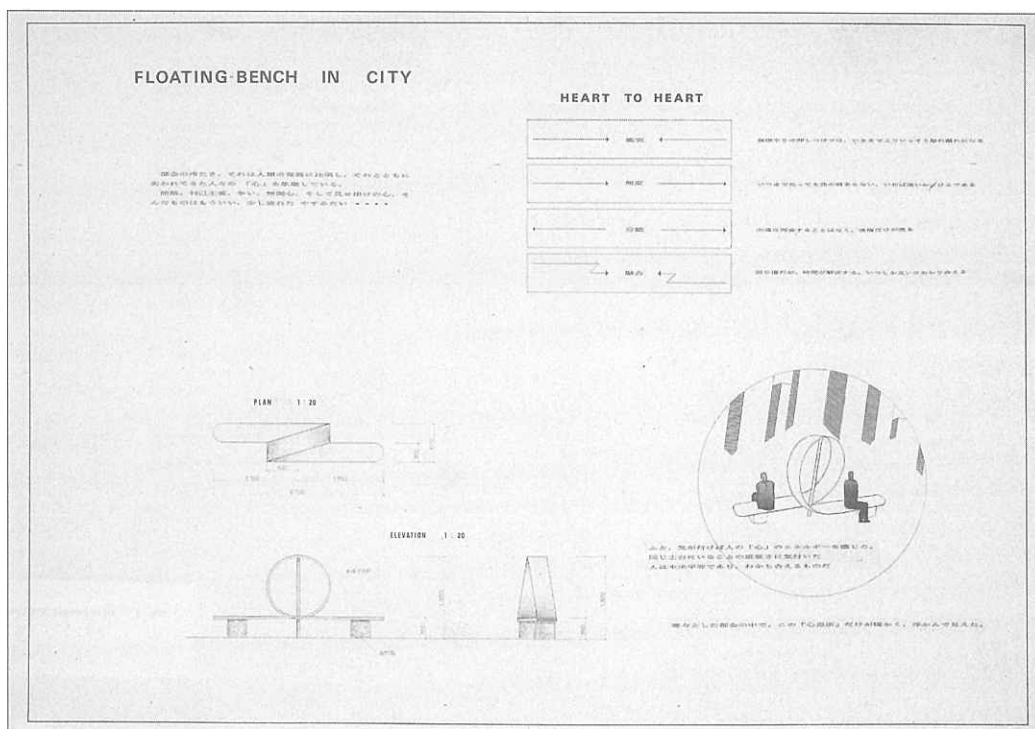
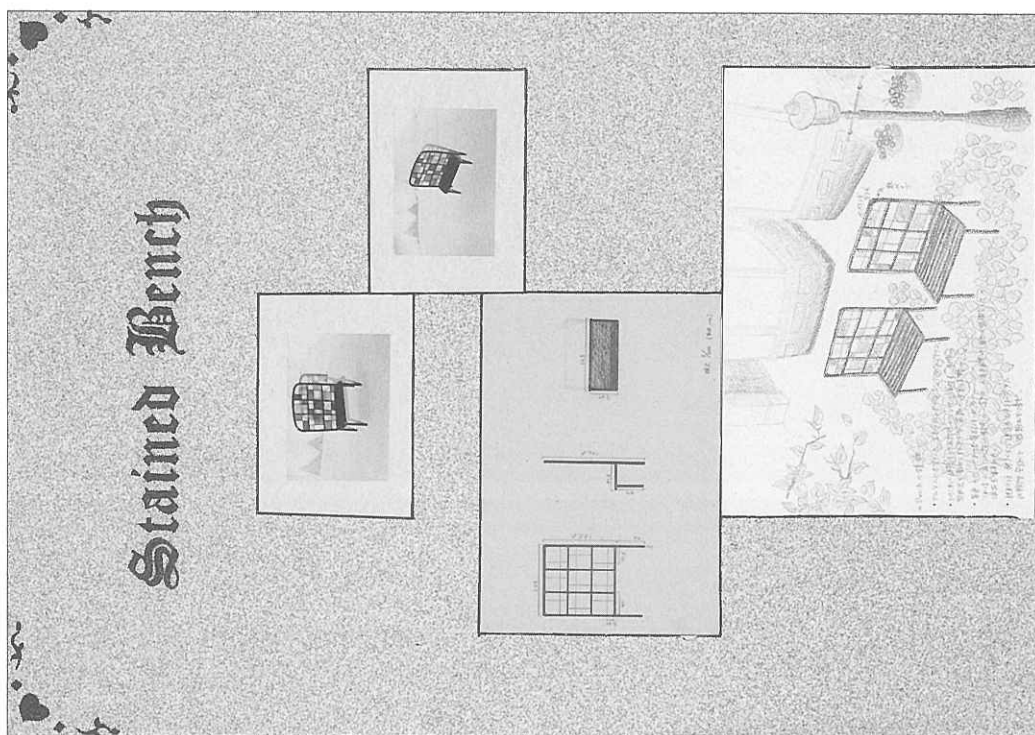


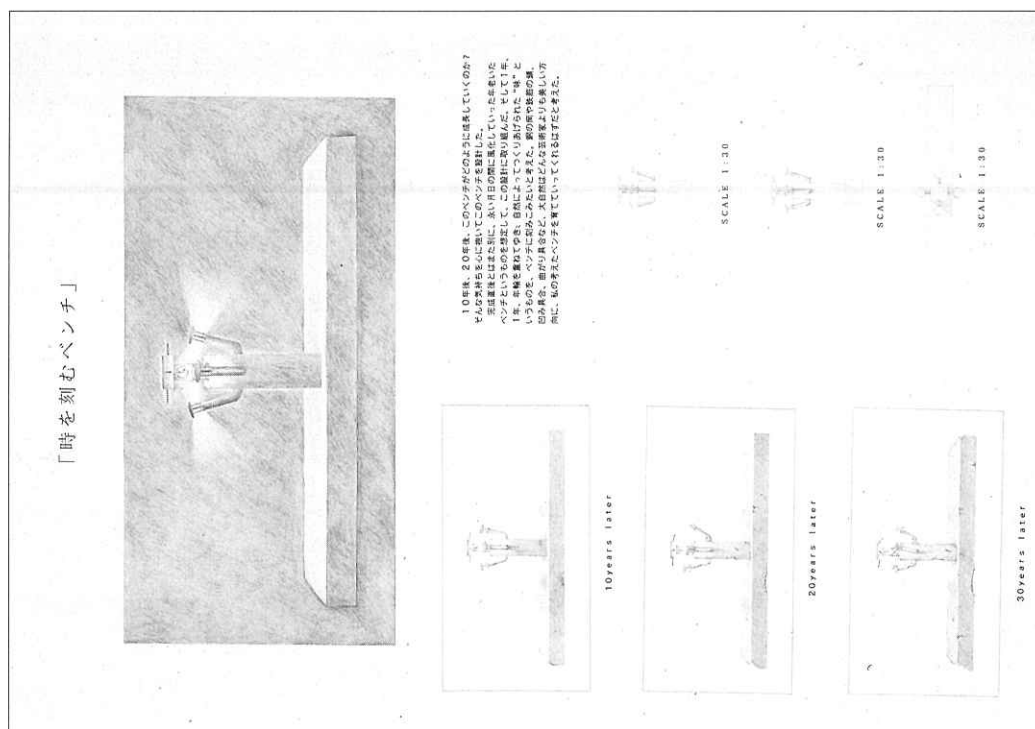
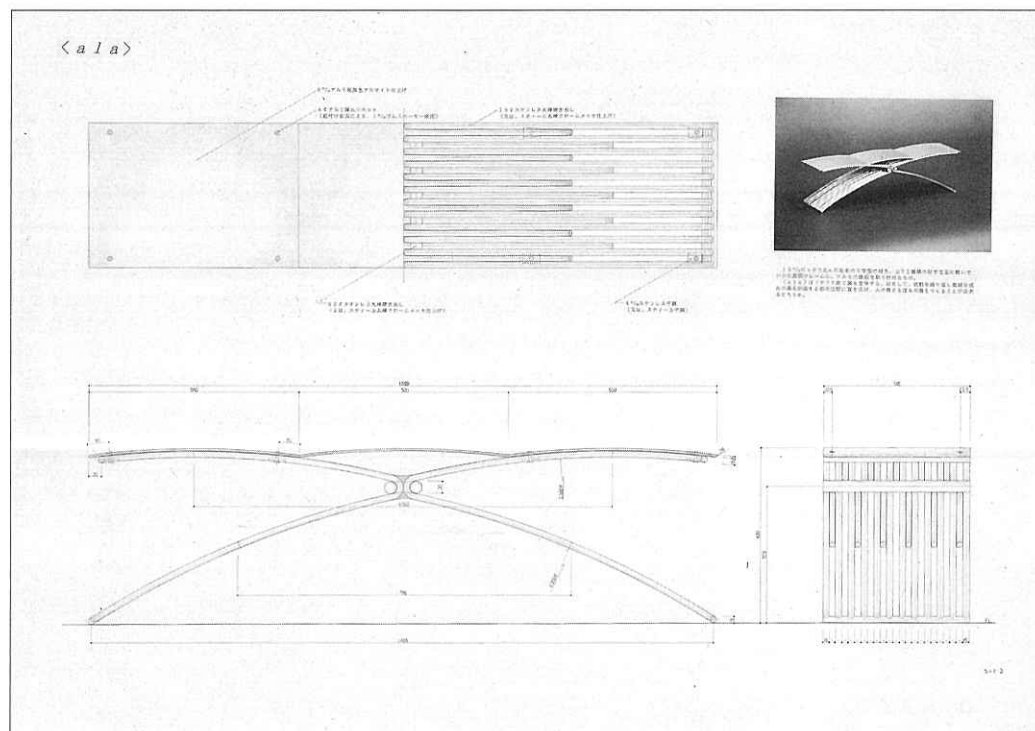
209 大道 公二

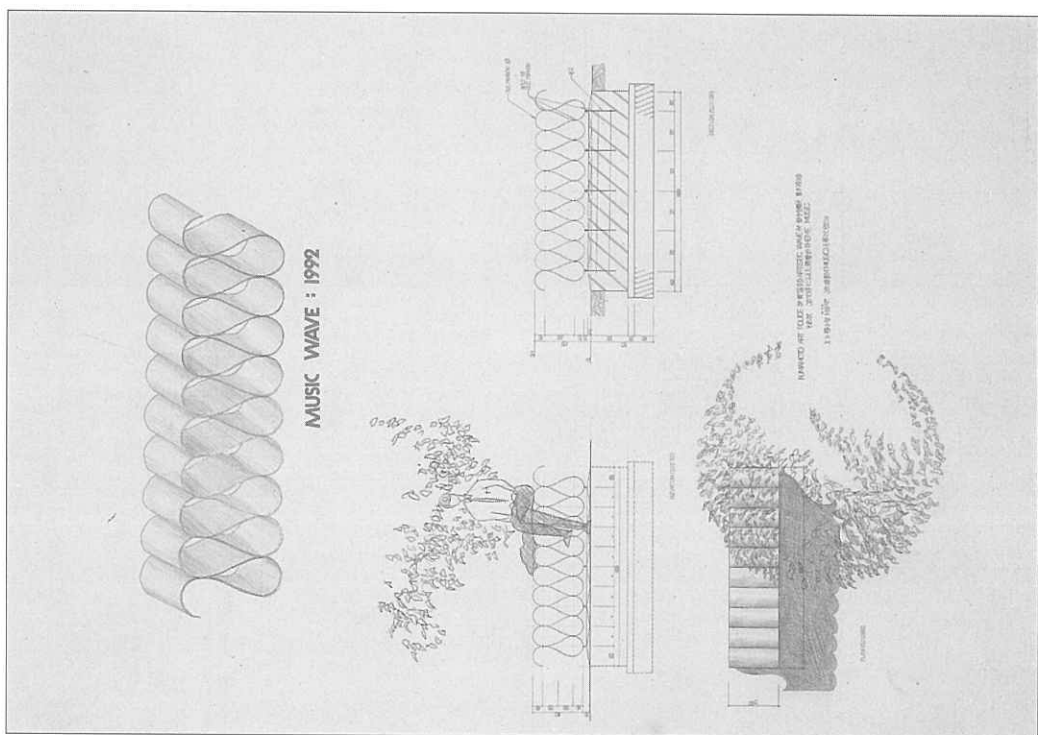
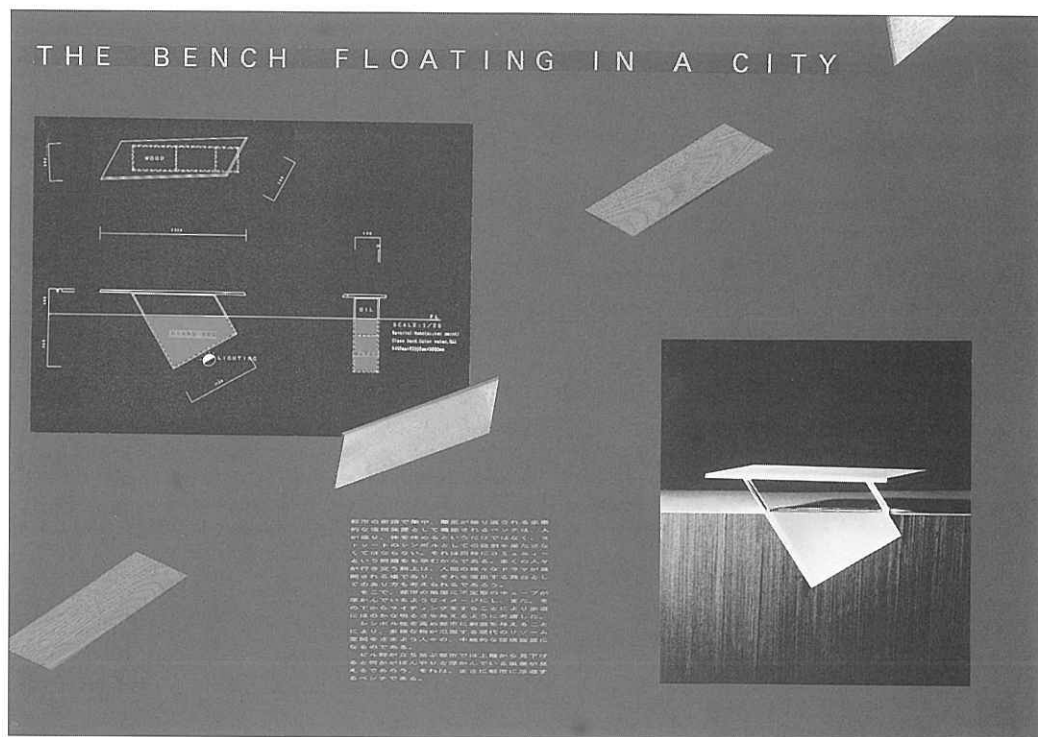


縦









220 (故)木島 安史

広瀬 正人

鶴崎 直樹

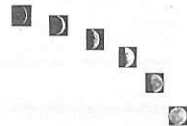
寺山 彰訓

ゆったりと、自然な時間の流れを刻む くつろぎのスペース。

都市に浮かぶベンチ



静えず活かし、活気にあふれている都市。自然、そのデザインを導き、人々の生活。ここをあたためたいものを感じています。そんな都市のスピードと対照的に、自然の静けさ。月が照らす人々の生活のリズムを感じてほしい。今般で提案するベンチは、あたためたい都市のなかにあってゆとりと休息を感じることのできるスペースとして、この静けさでゆったりとした時の流れを刻む「月」をデザインのテーマに技術、芸術、建築の3領域にある「向月台」をモチーフに、サウンドスケープ機能も持ち合わせた「目で耳で月を感じるベンチ」を考案してみました。



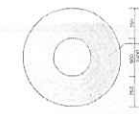
向月台

「向月台」は、静けさ、癒しの空間を演出するためのデザインです。月が照らす人々の生活のリズムを感じてほしい。今般で提案するベンチは、あたためたい都市のなかにあってゆとりと休息を感じることのできるスペースとして、この静けさでゆったりとした時の流れを刻む「月」をデザインのテーマに技術、芸術、建築の3領域にある「向月台」をモチーフに、サウンドスケープ機能も持ち合わせた「目で耳で月を感じるベンチ」を考案してみました。



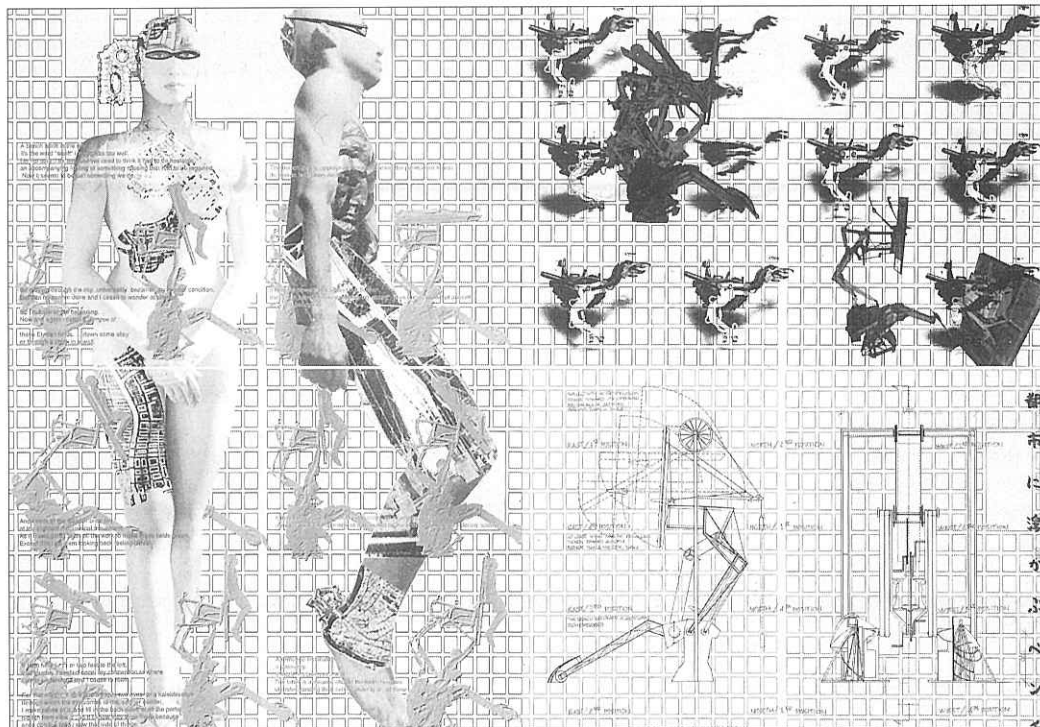
サウンドスケープ

自然の音に耳を傾け、心地よい空間を演出するためのデザインです。月が照らす人々の生活のリズムを感じてほしい。今般で提案するベンチは、あたためたい都市のなかにあってゆとりと休息を感じることのできるスペースとして、この静けさでゆったりとした時の流れを刻む「月」をデザインのテーマに技術、芸術、建築の3領域にある「向月台」をモチーフに、サウンドスケープ機能も持ち合わせた「目で耳で月を感じるベンチ」を考案してみました。

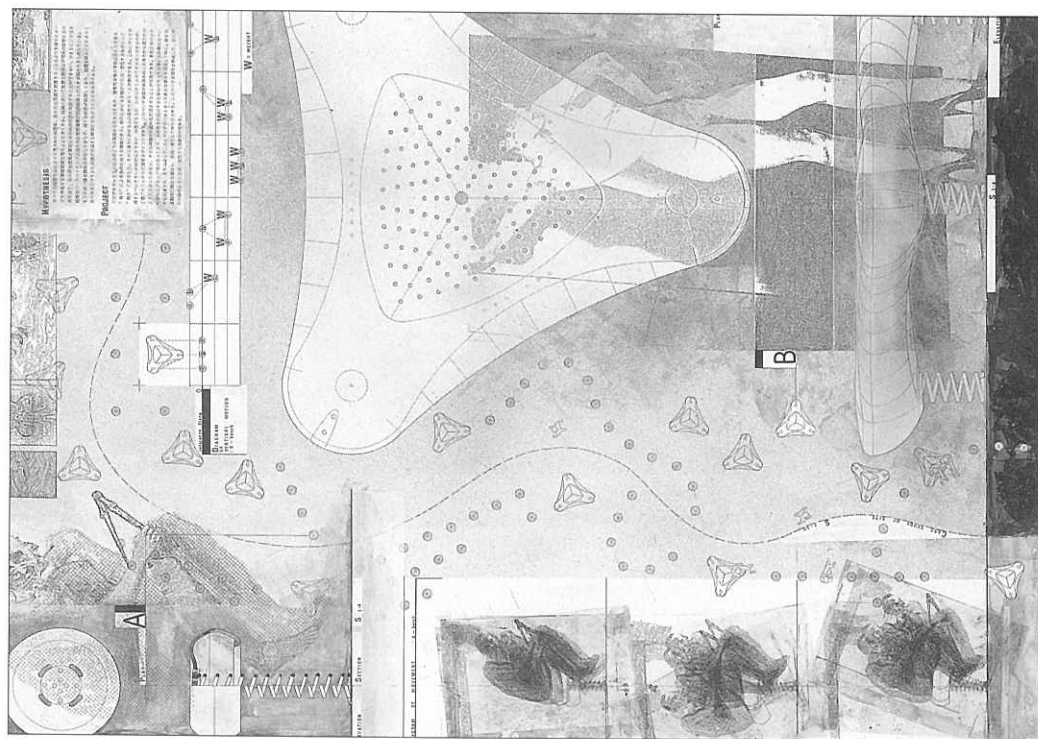


221 ドーベン・バーンズ

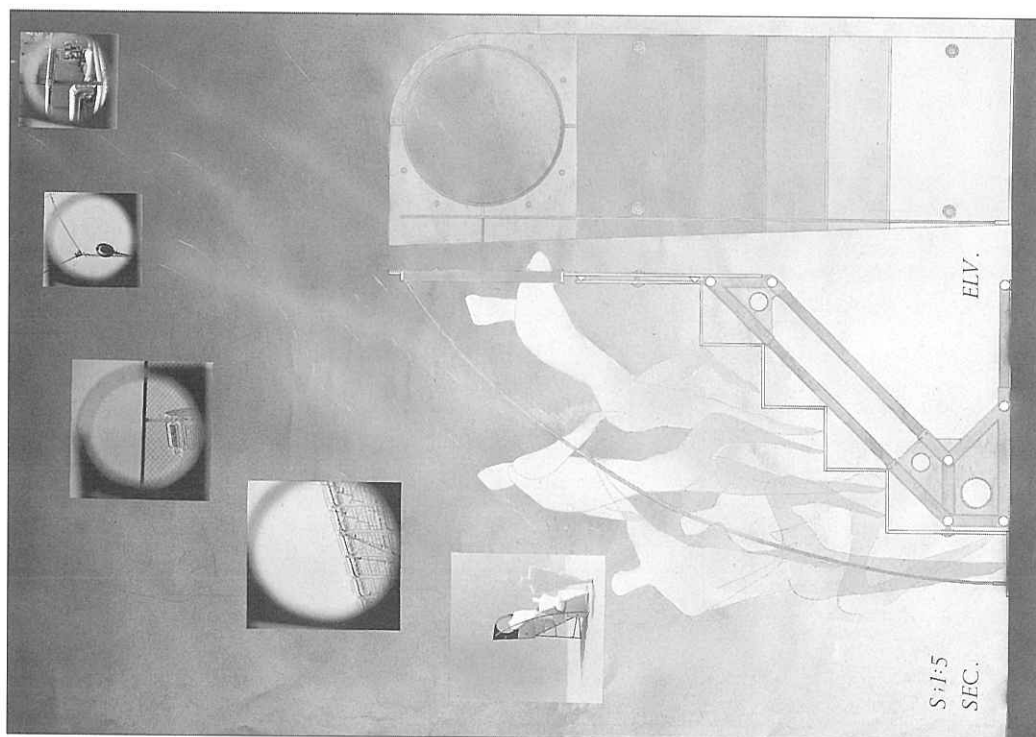
+ マルフジ建築研究所

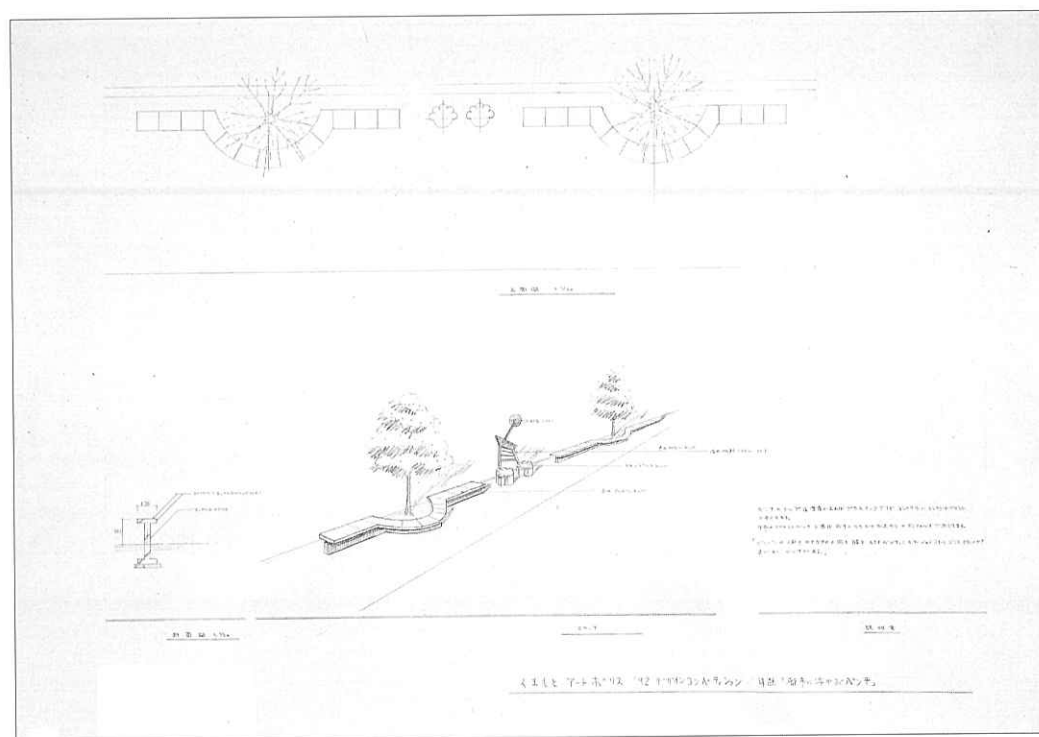
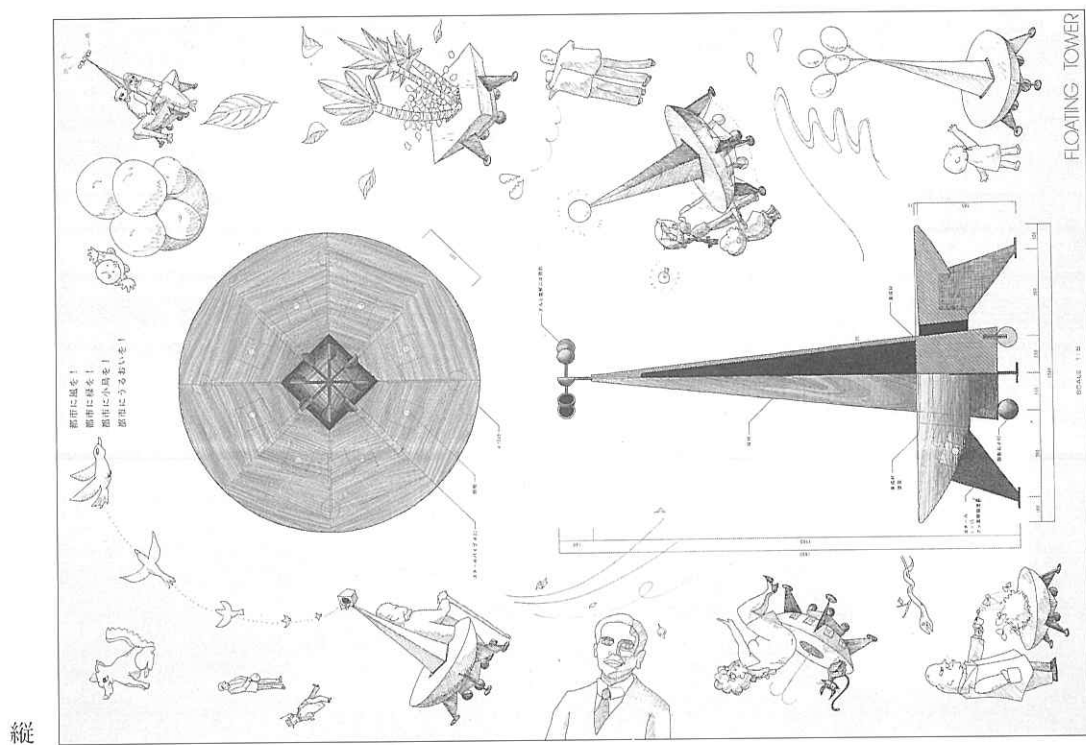


縦



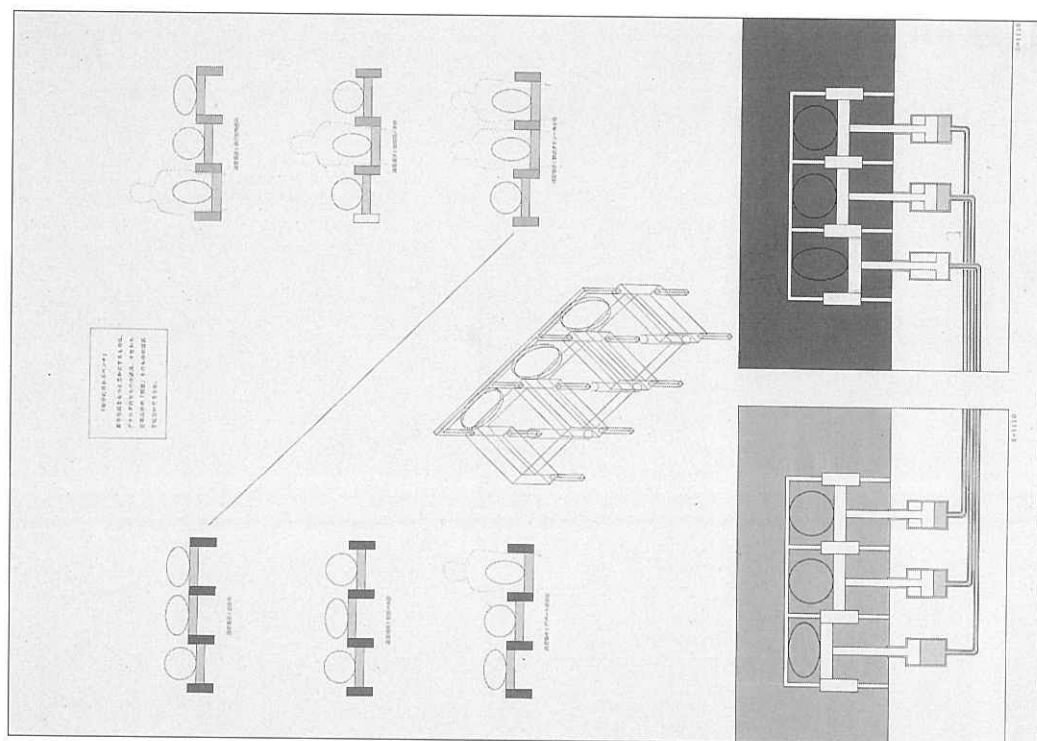
縦





227 登内 徹夫

縦

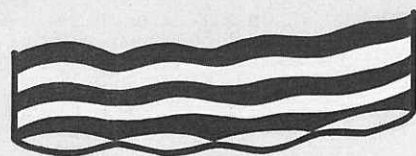


228 星崎 博子

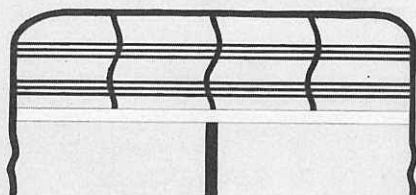
都市に浮かぶベンチ

〈説明文〉

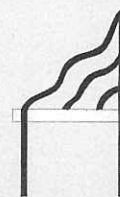
都市的といふ概念的にイメージではなく、21世紀を控へ現代にふさわしく、どんな世代にも親しめやすく、変着を付けたベンチをイメージした。色は黒と白の二色、座の裏をイメージし、やわらかいデザインを統一した。



〈上面図〉

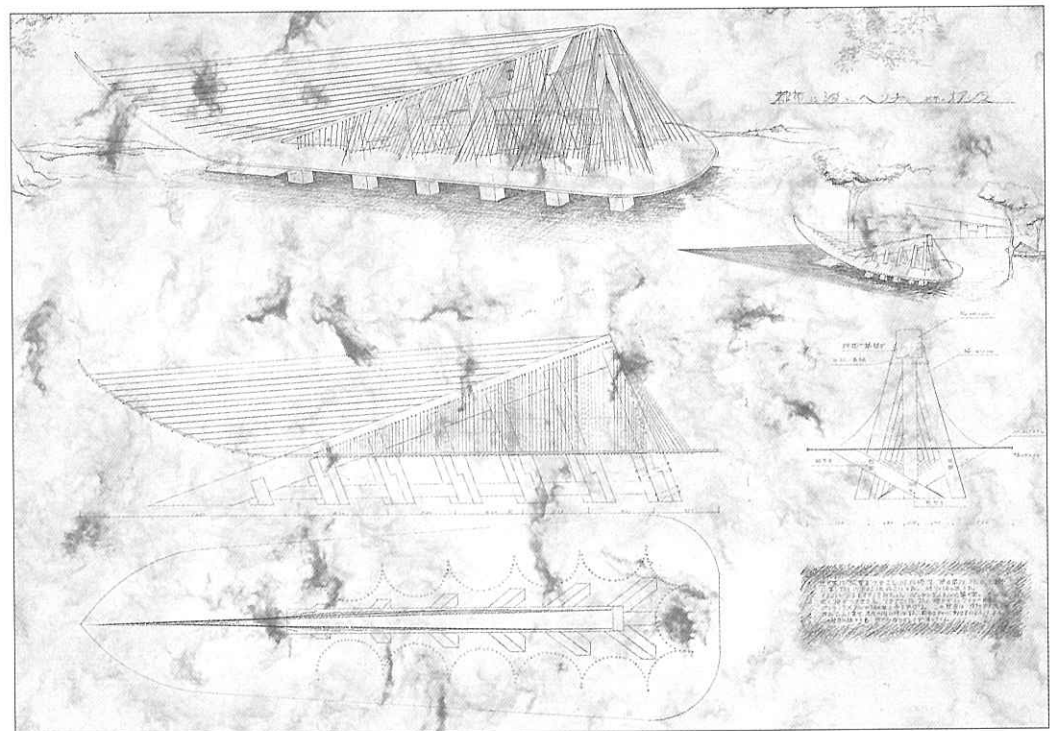
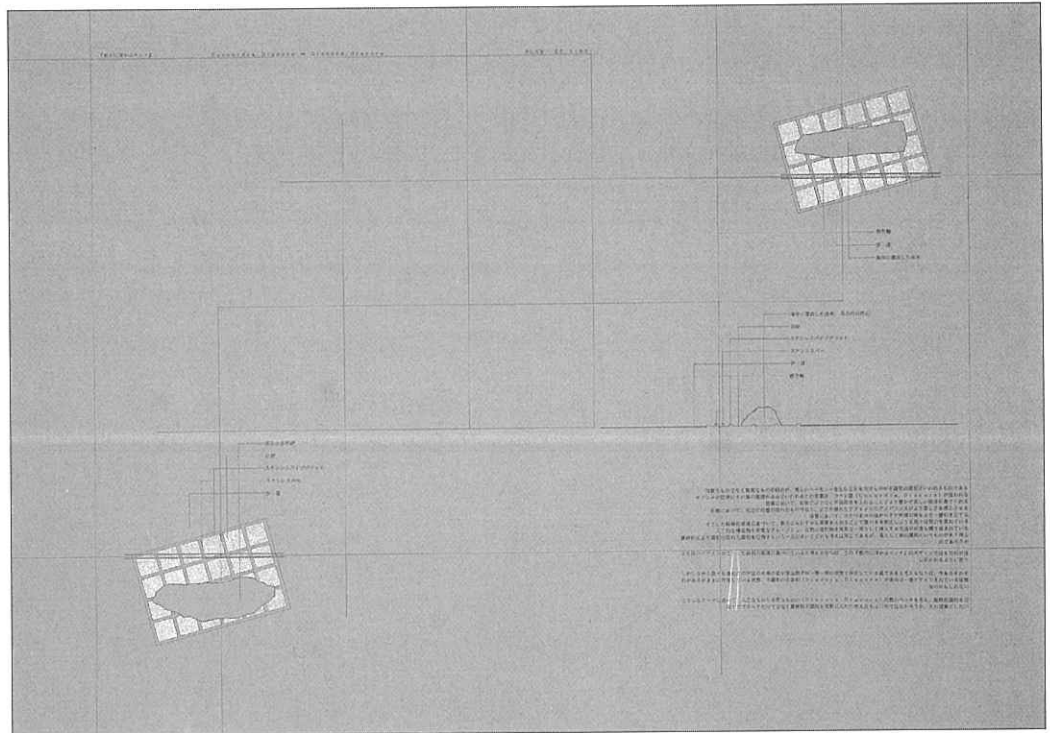


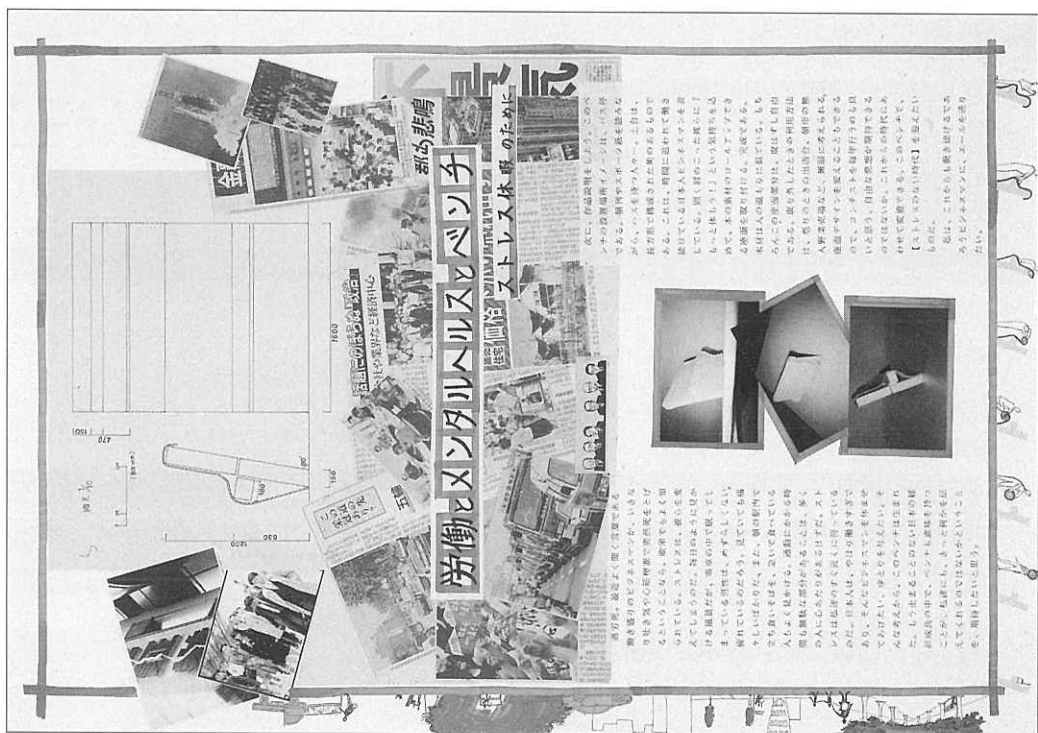
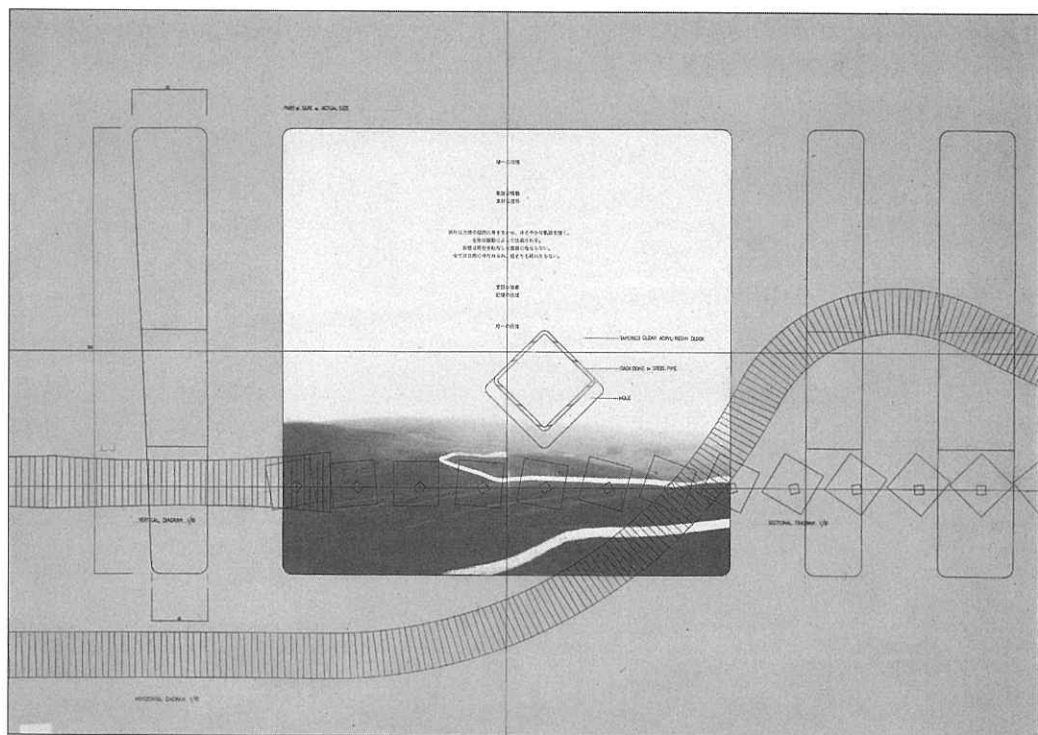
〈前面図〉



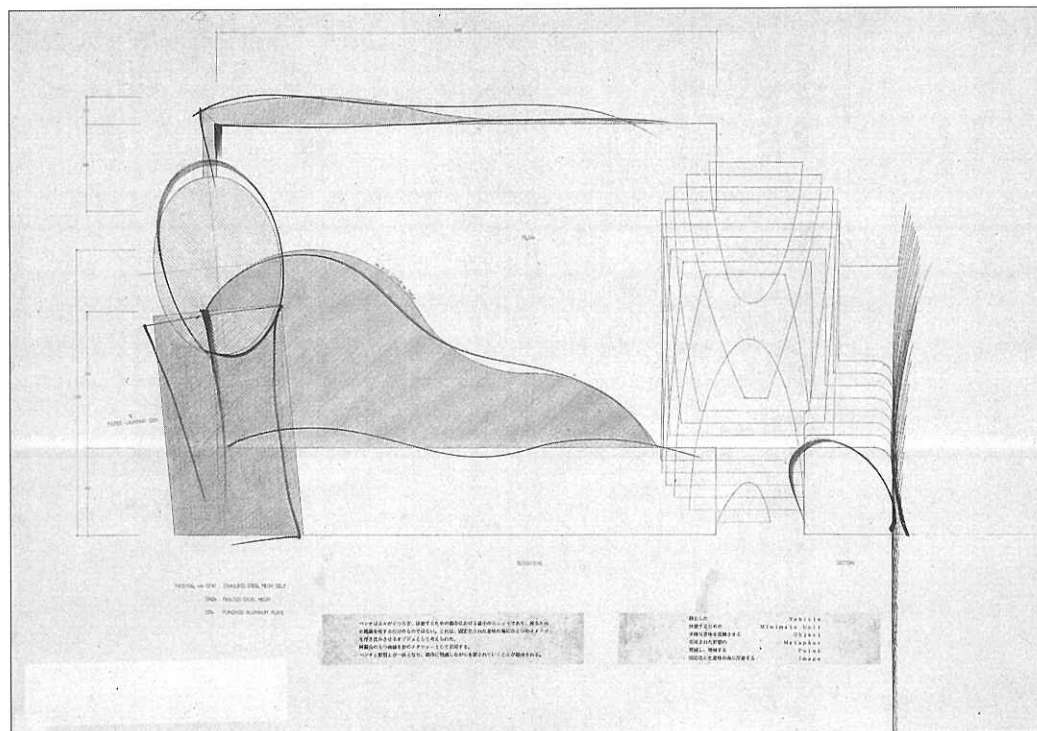
〈側面図〉

東北理科大学 星崎 博子
研究員・設計・制作・写真 © 2003-2004

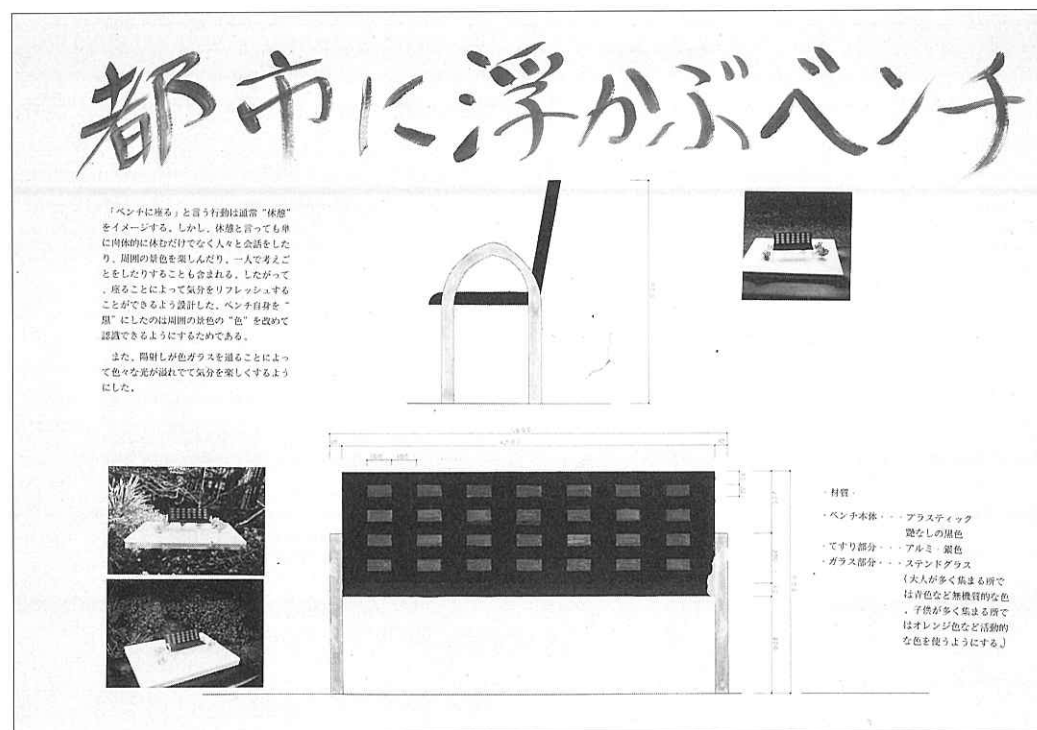


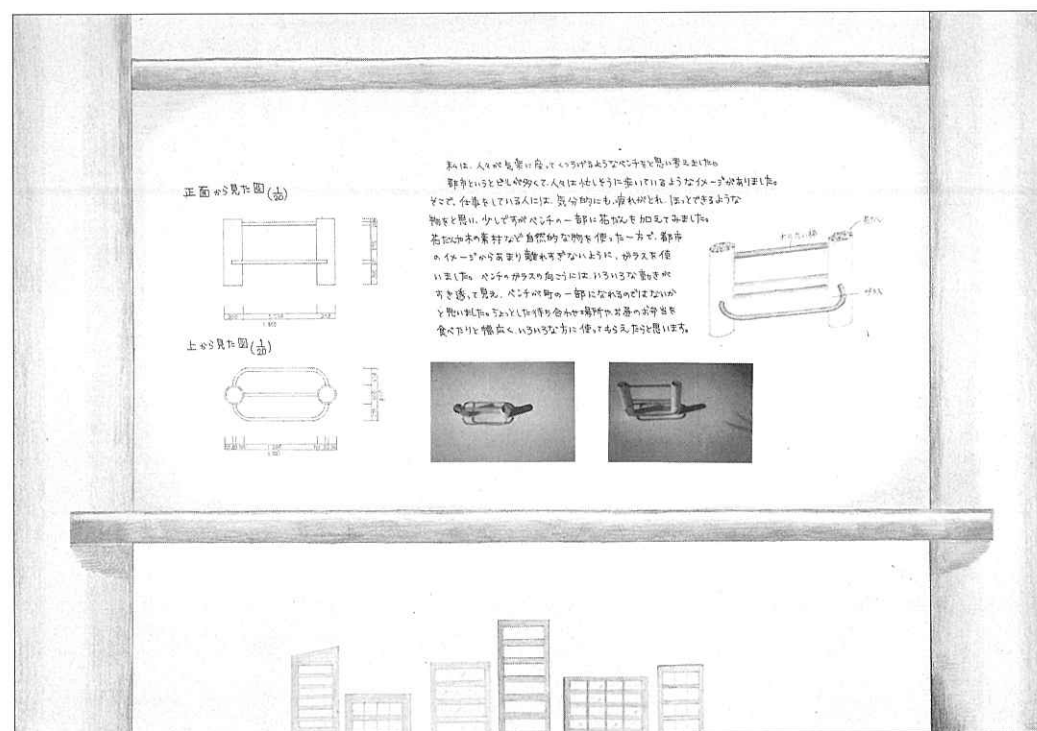
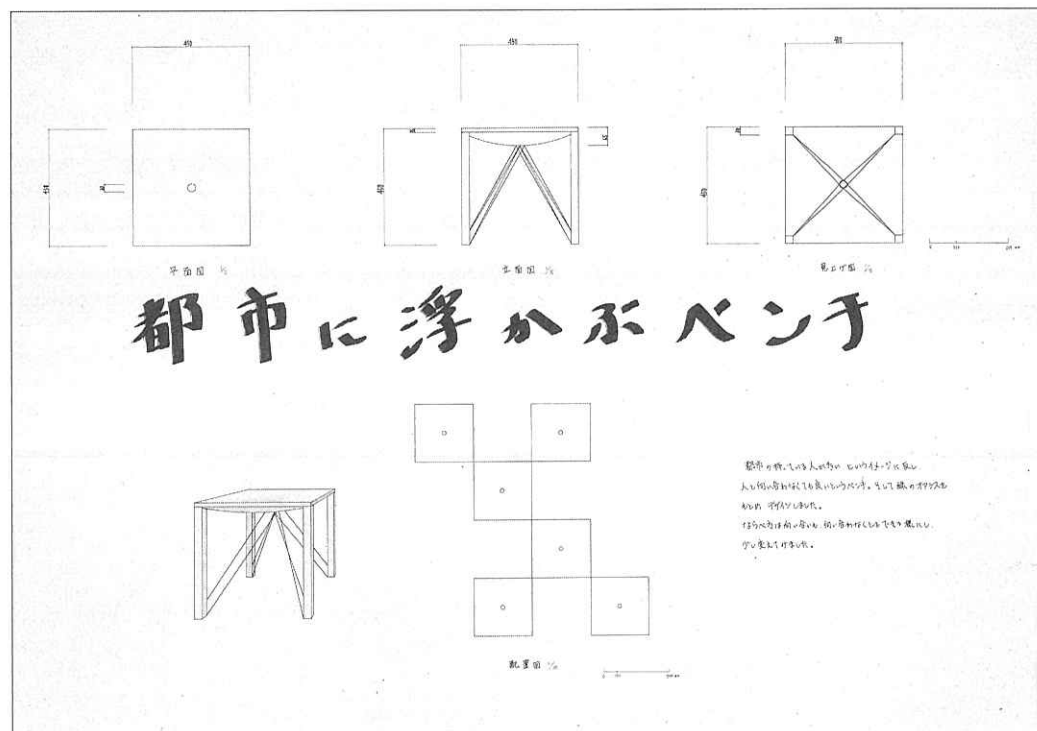


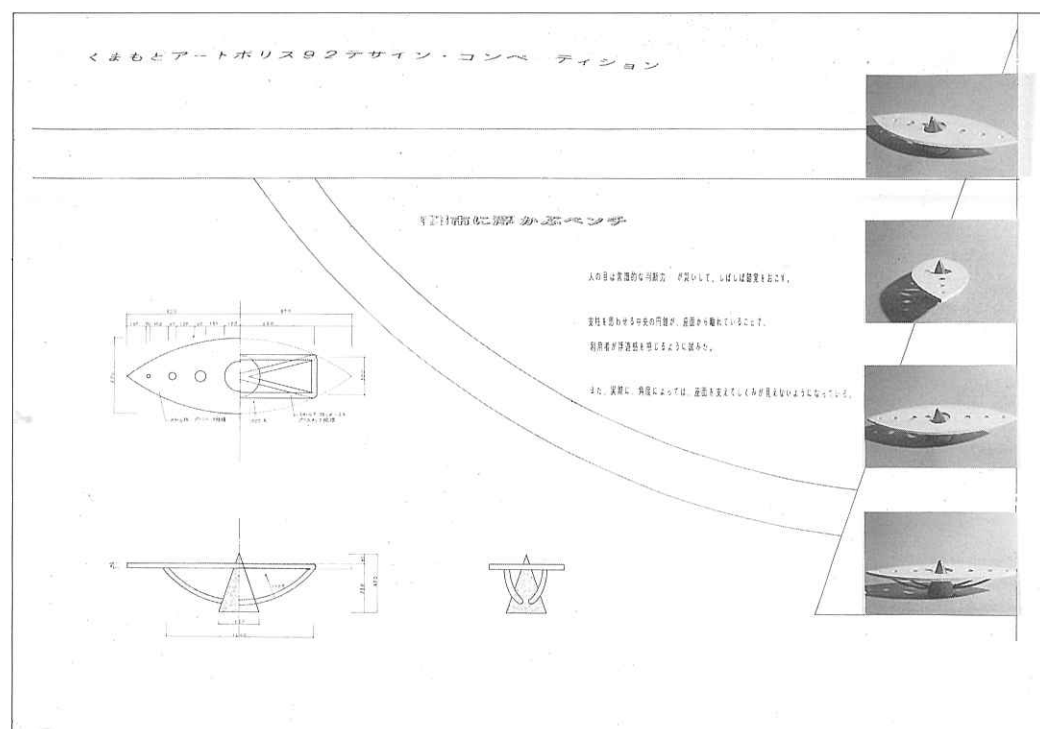
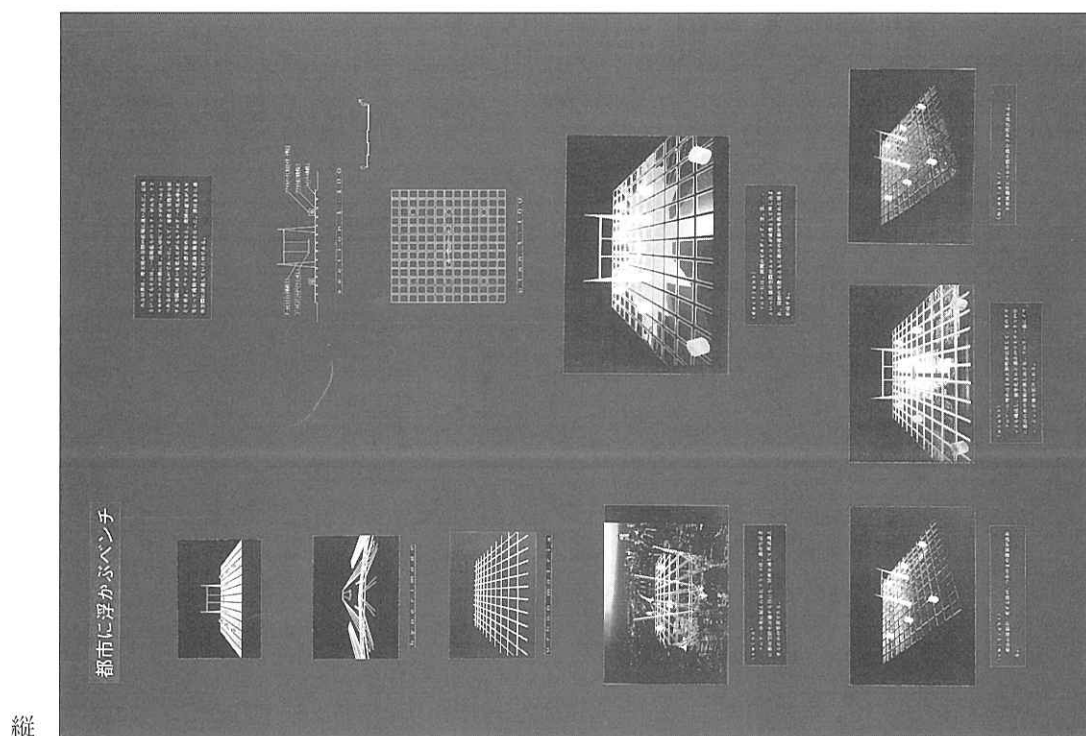
233 石丸 信明
中西 啓
山口 隆
北村 淳



234 等々力まり

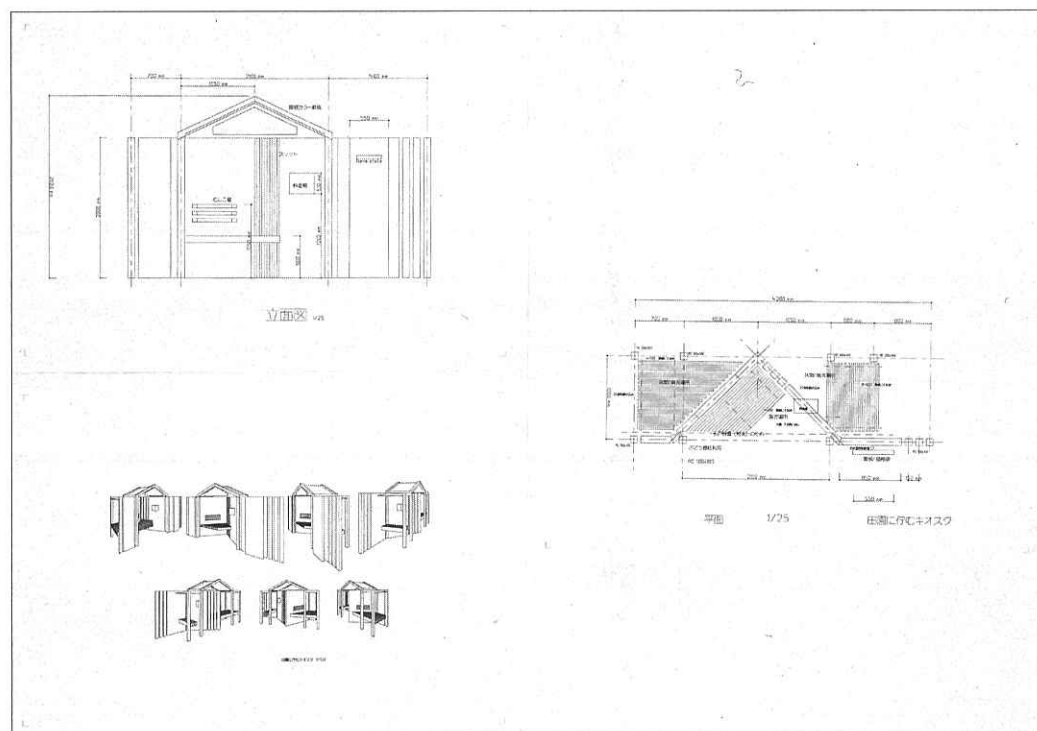




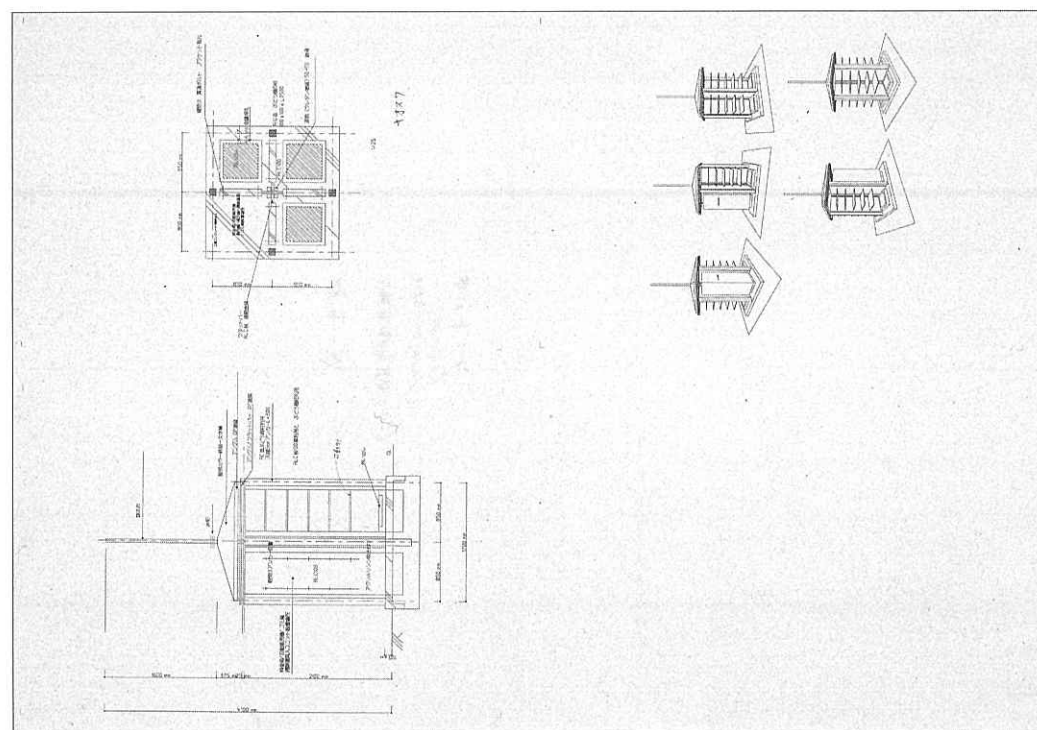


第2部門 「田園に佇むキオスク」

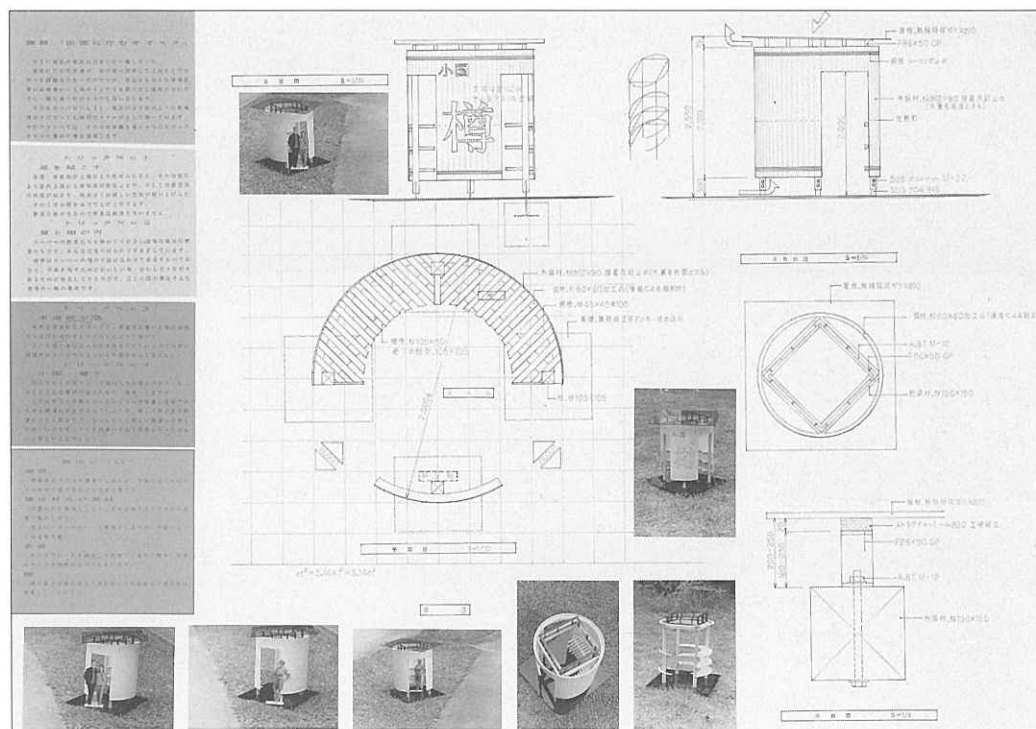
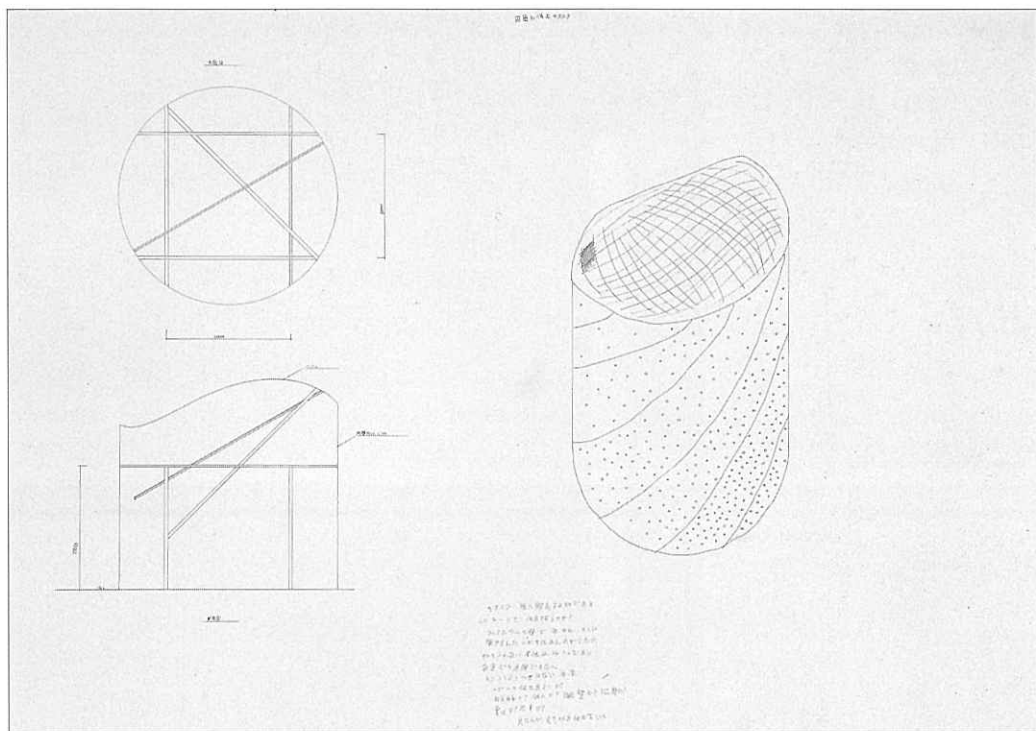
001 伊東 誠



002 伊東 誠

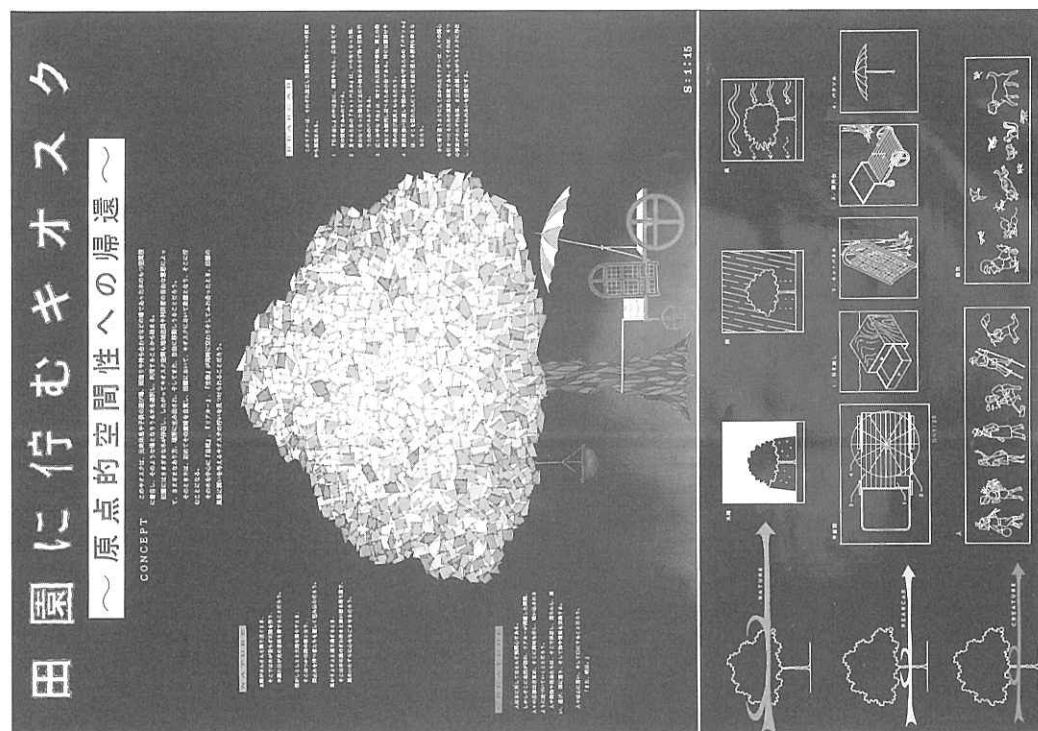


縦

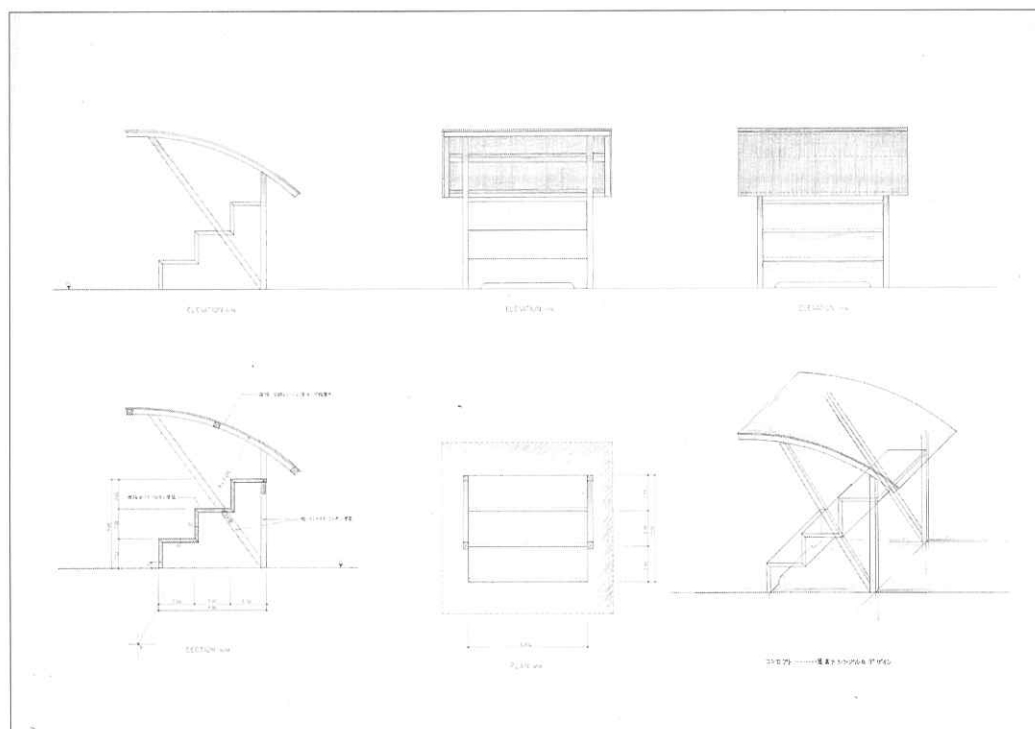


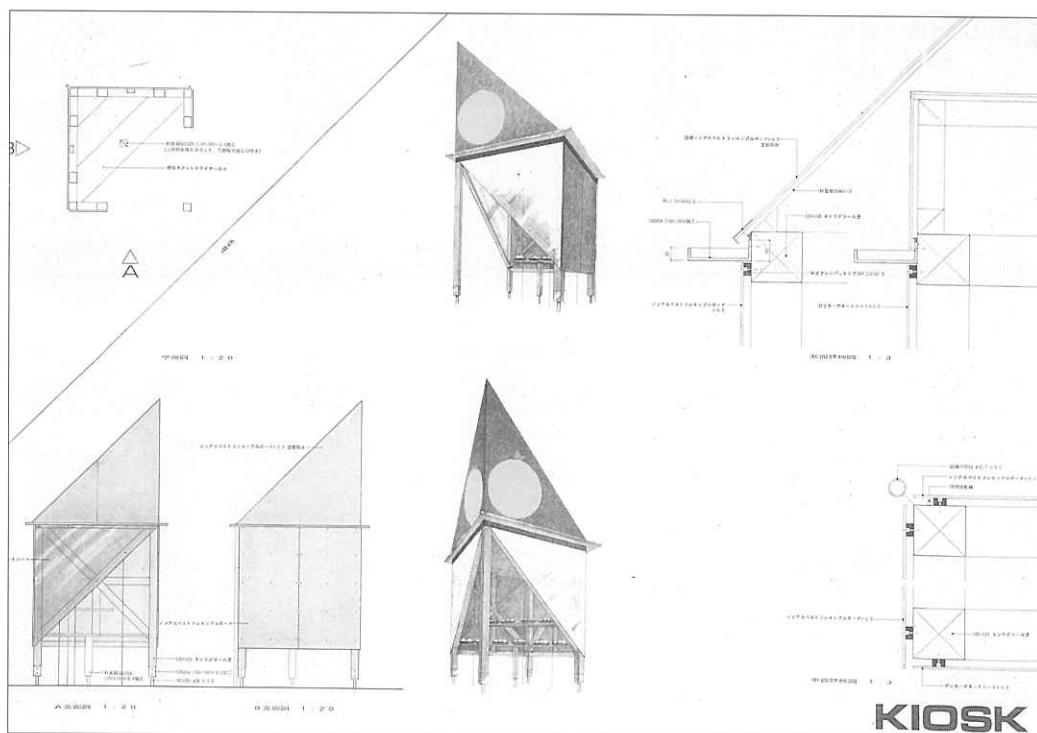
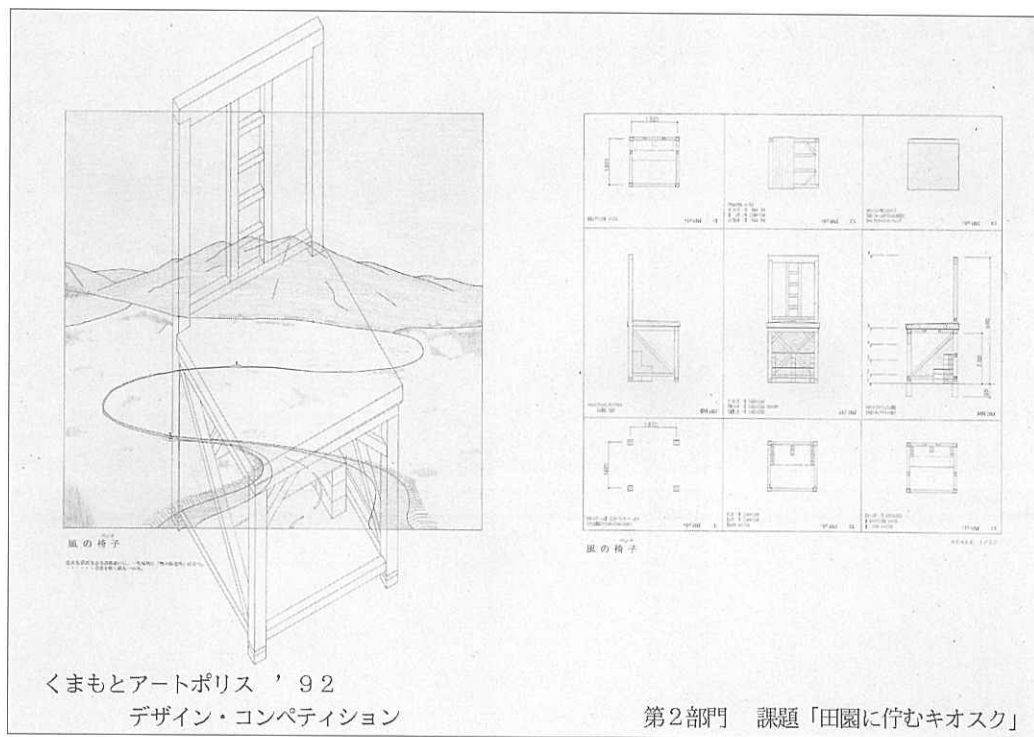
006 小石川正男
伊藤 圭吾
寺嶋 憲二
岩崎健一郎
長坂 守康

縦

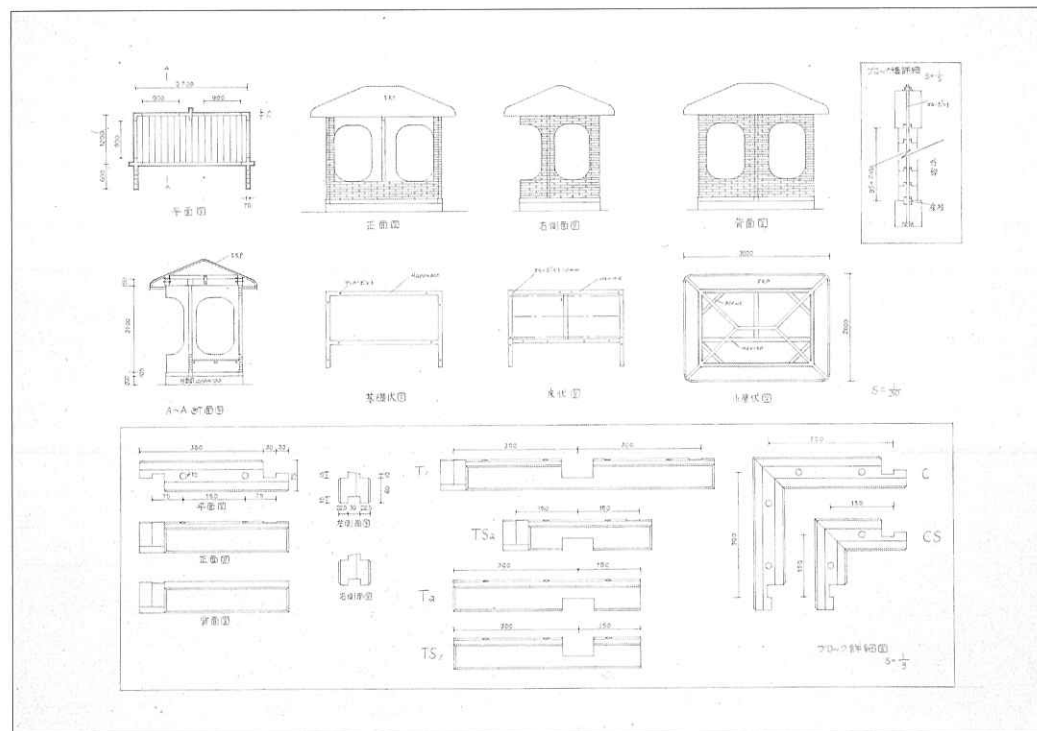


007 坂元 健二

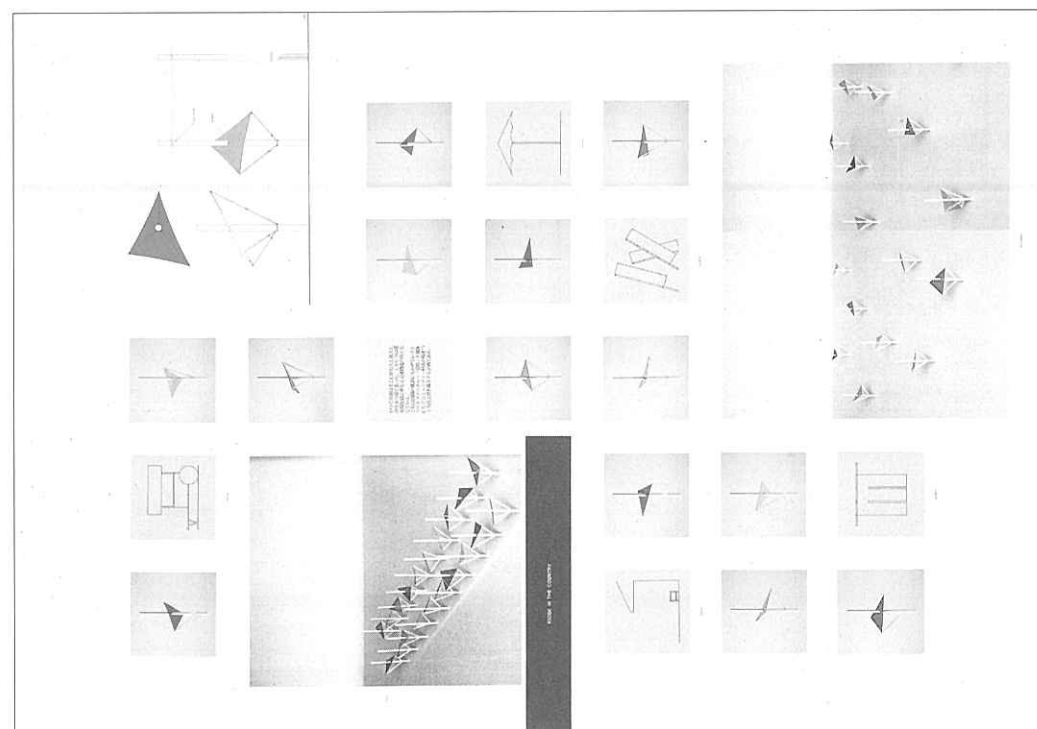




010 中尾 繁男

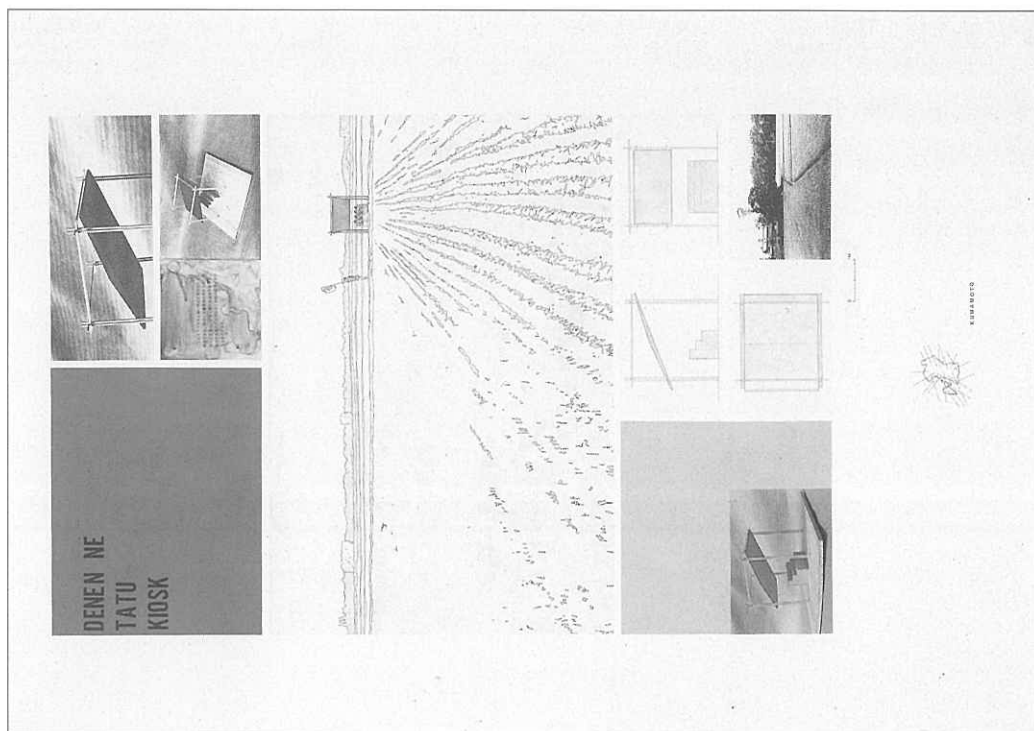


012 齋藤 芳徳
松本 正富



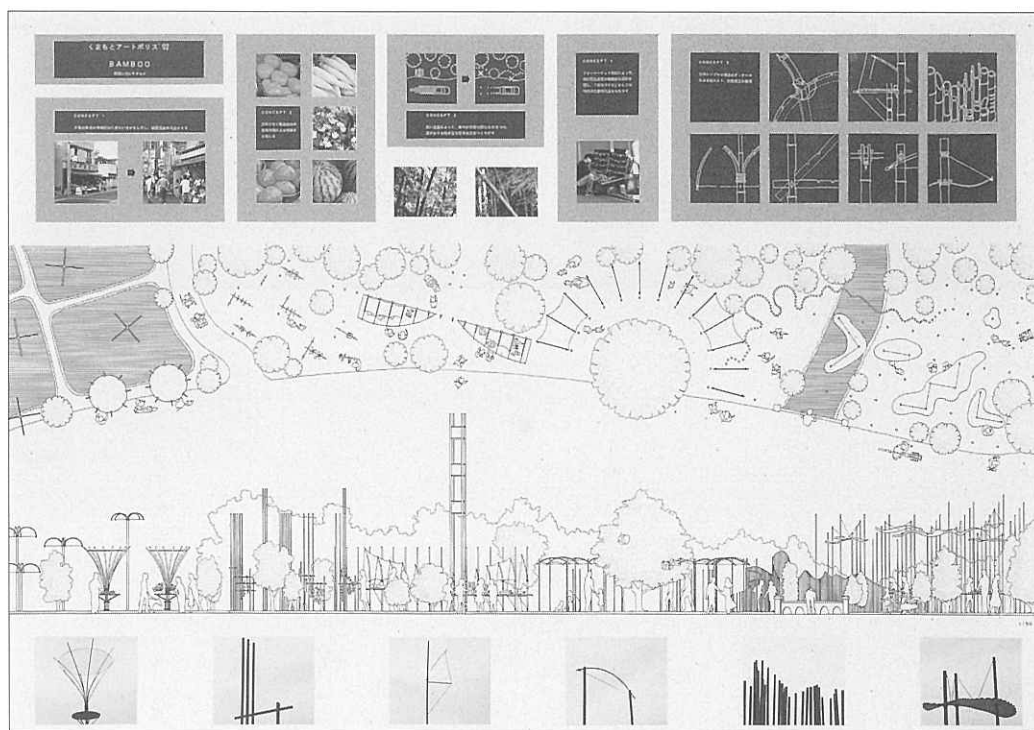
縦

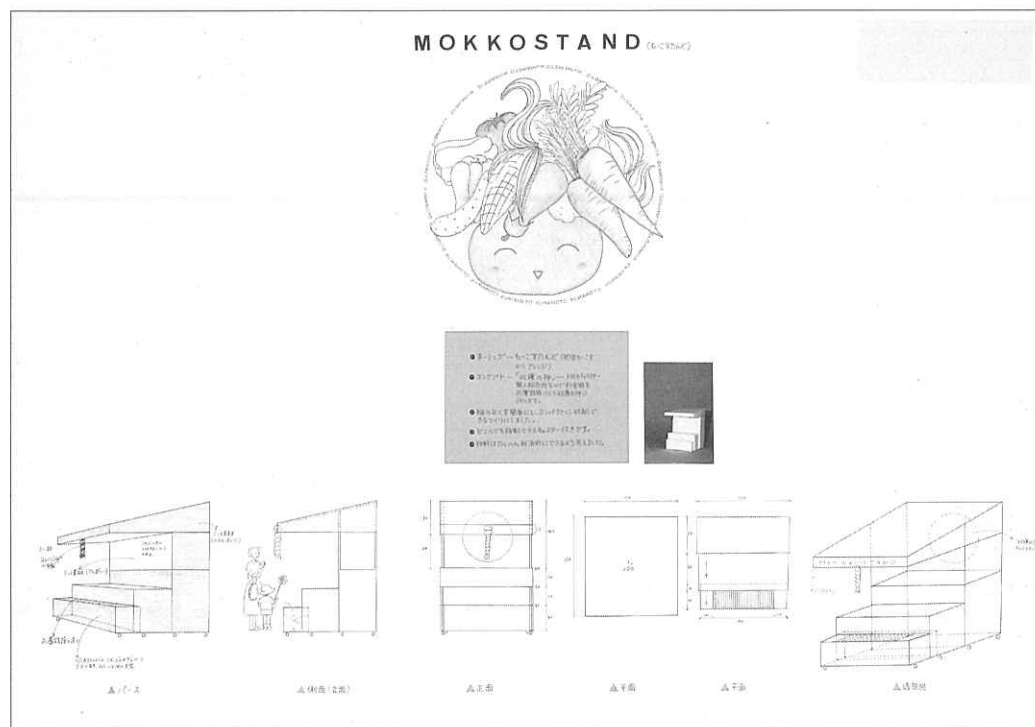
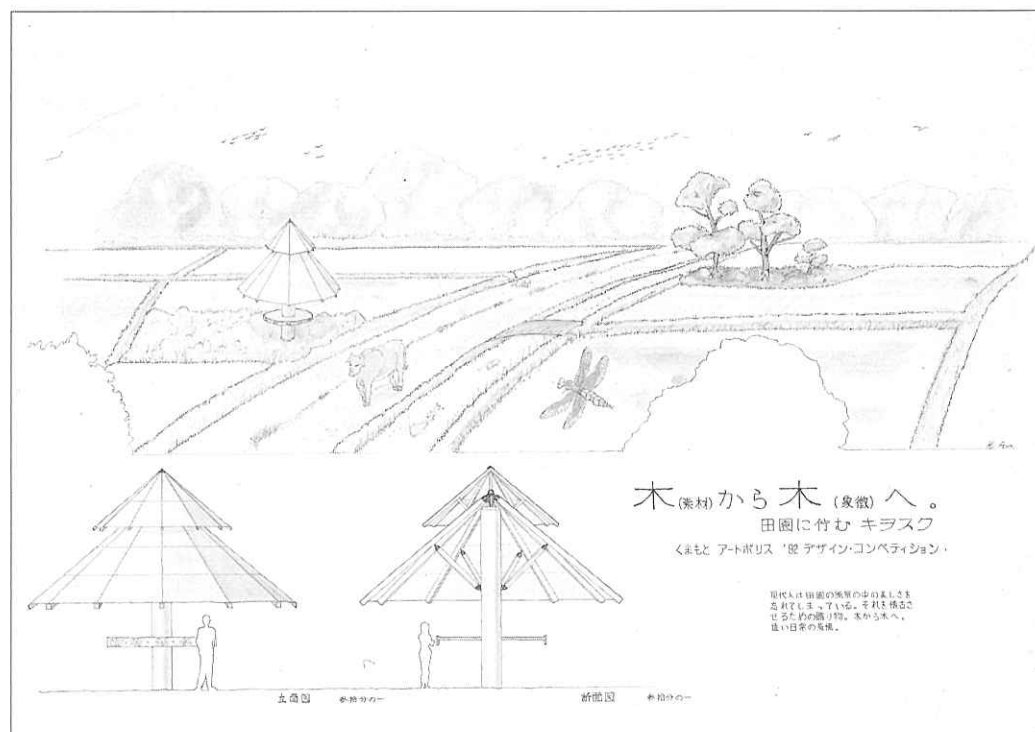
015 山口 敬三

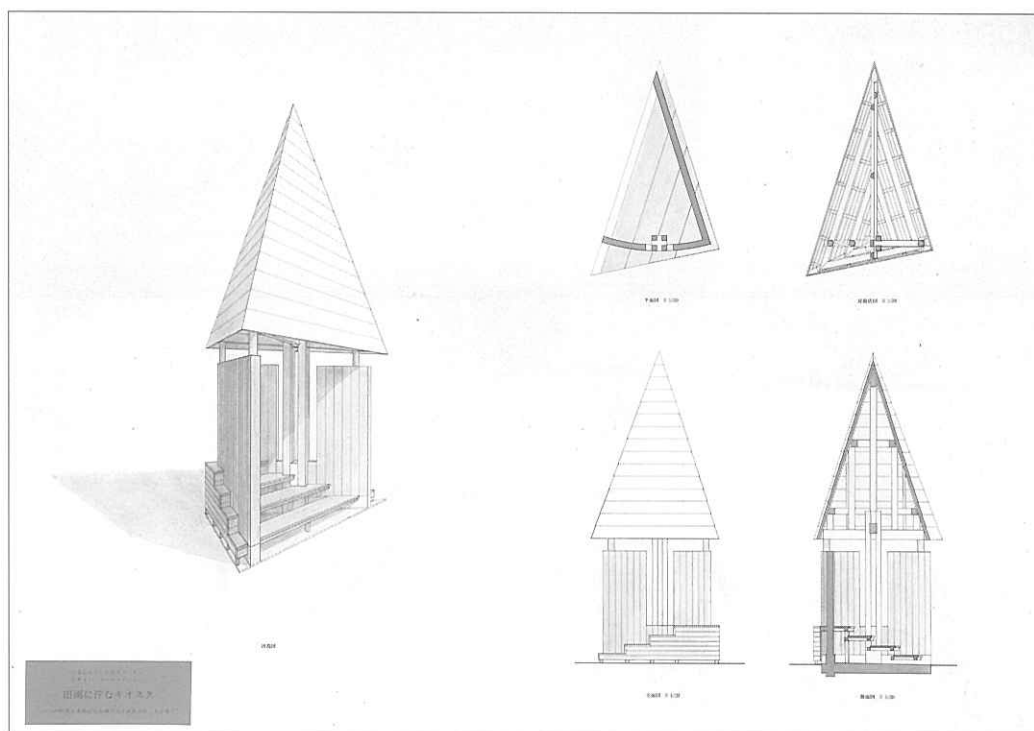
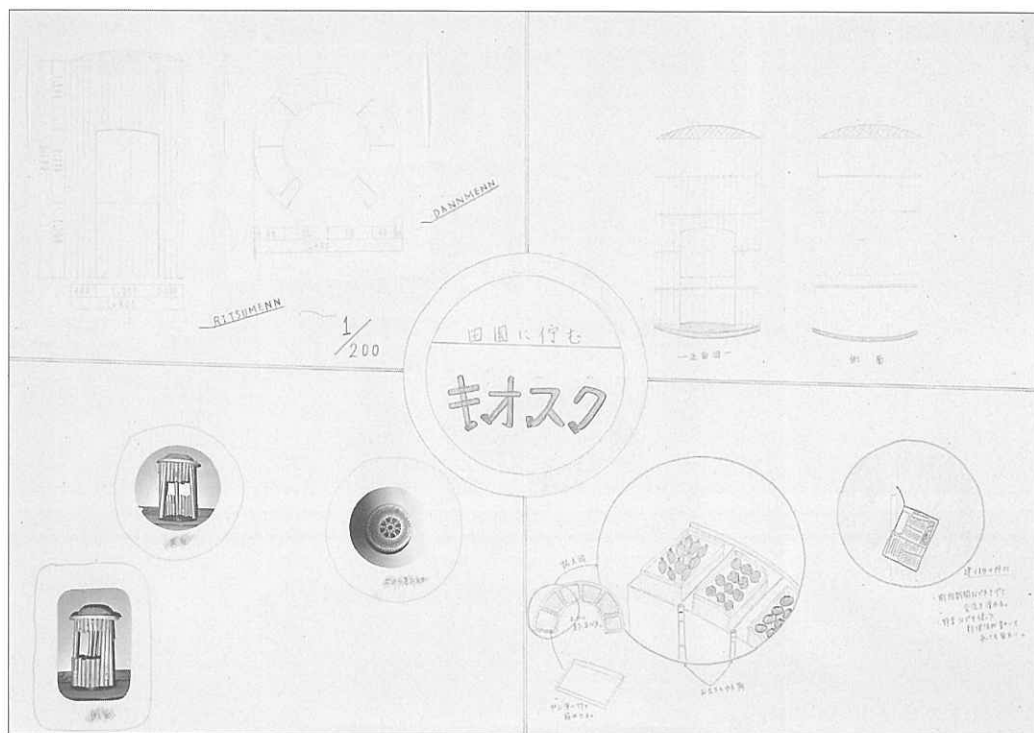


縦

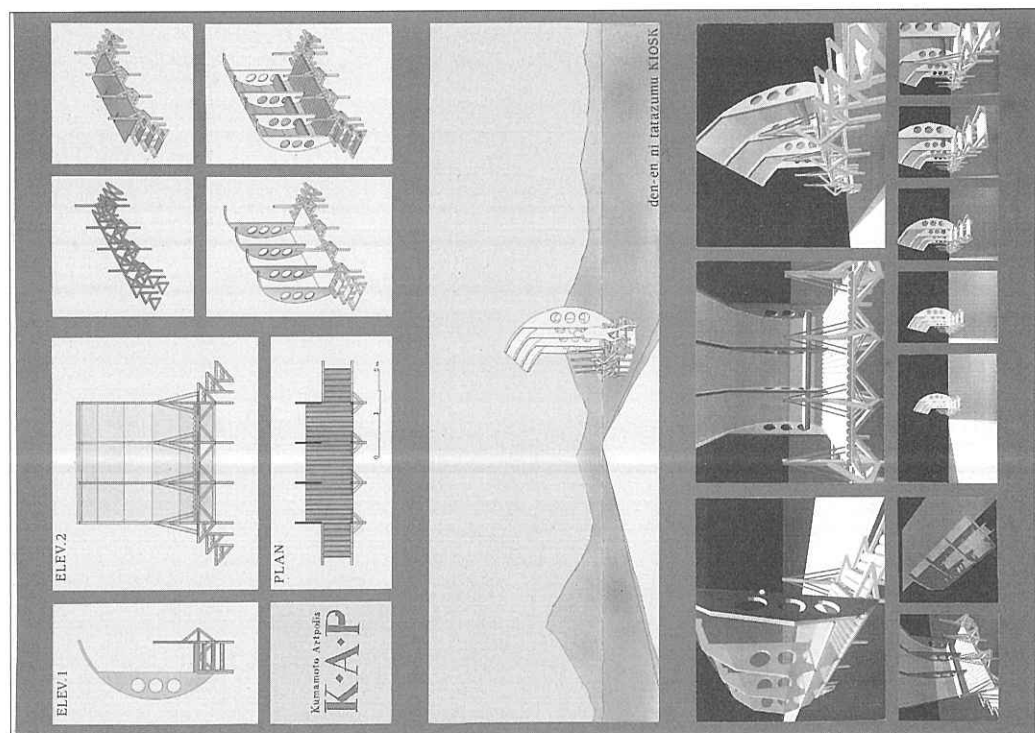
016 佐藤 正志



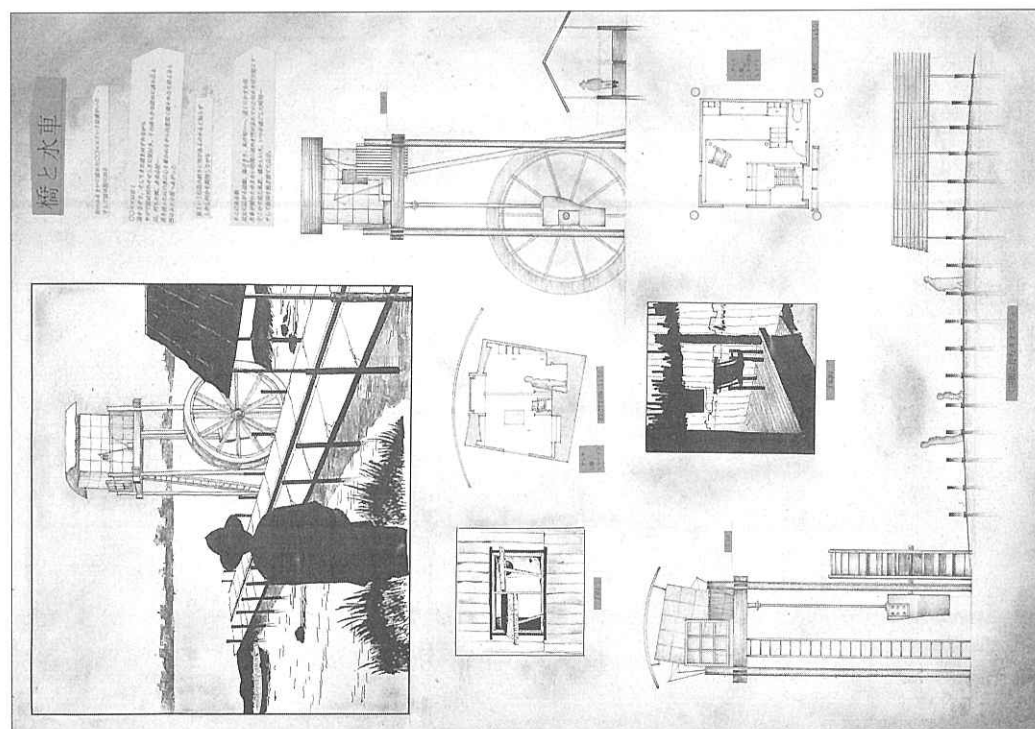




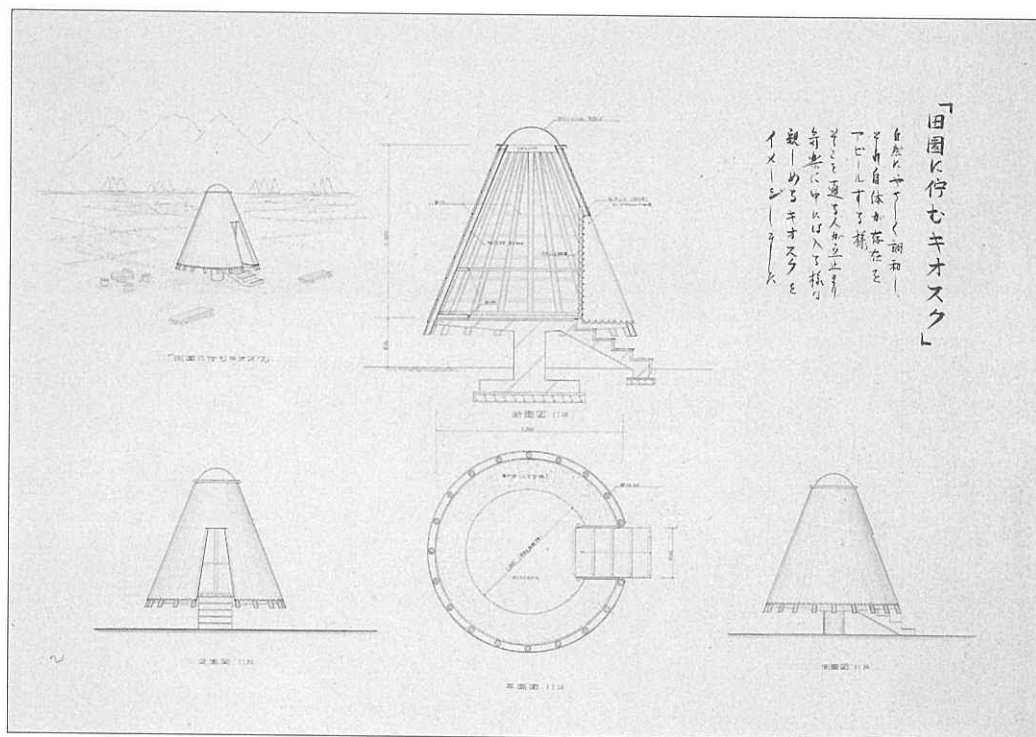
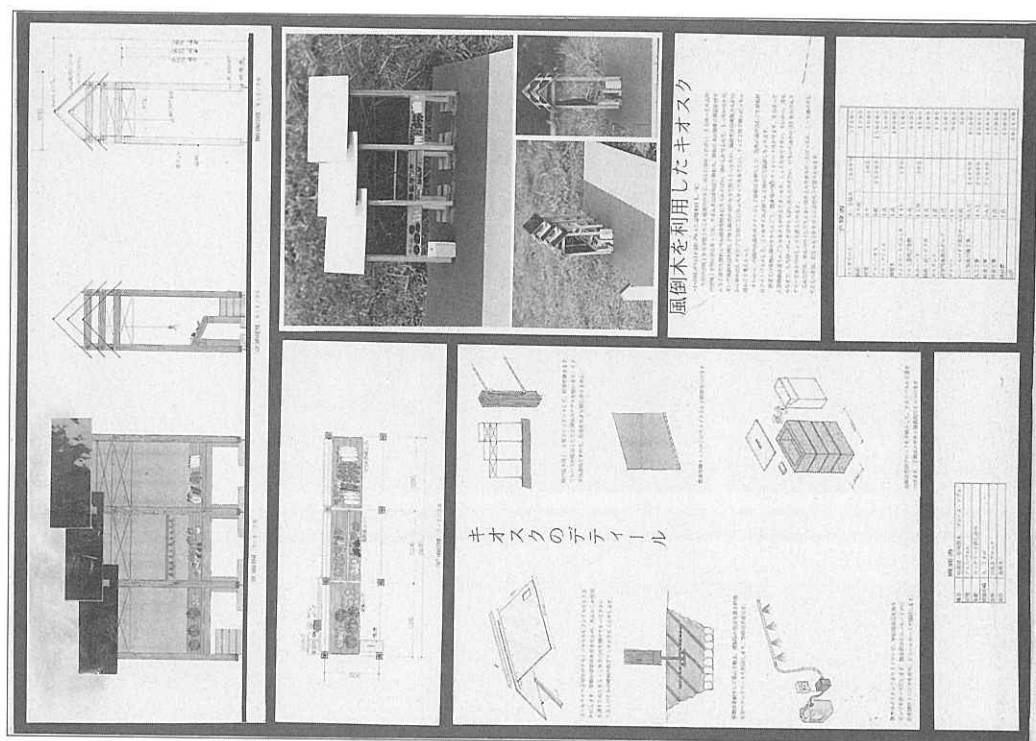
縦

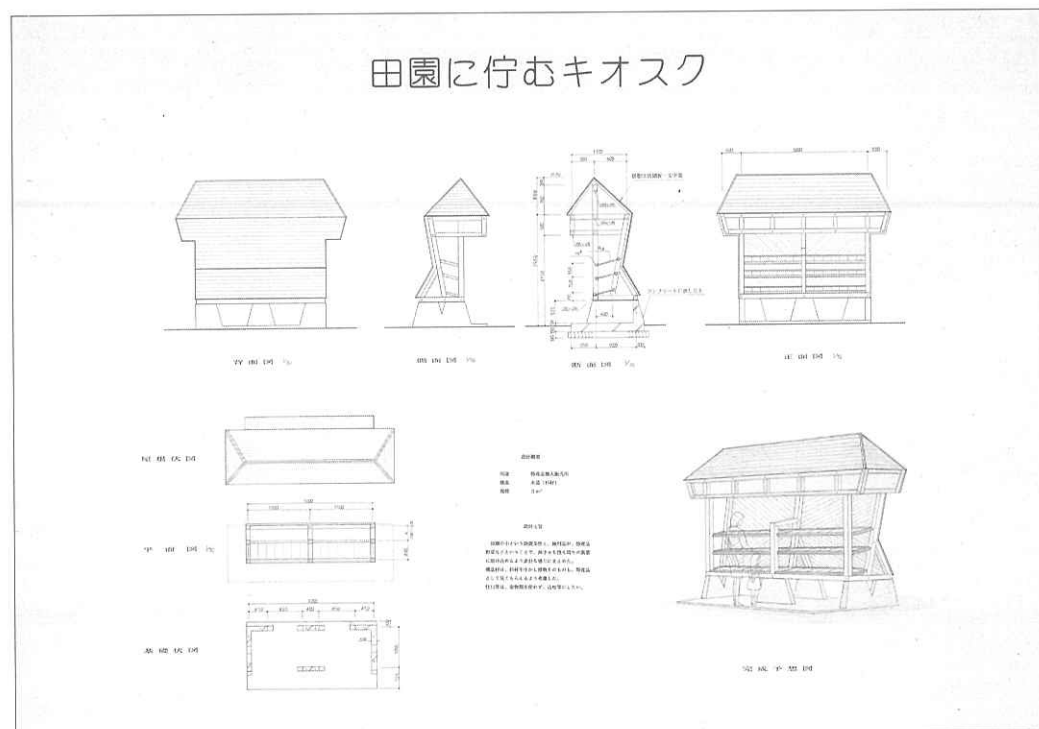
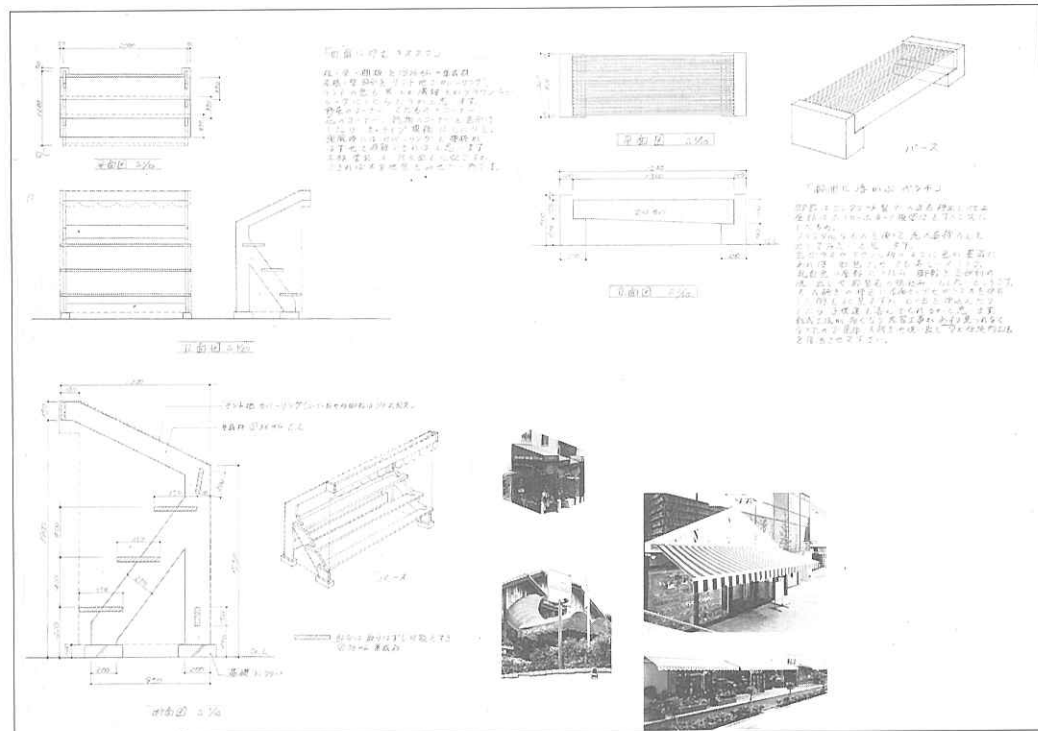


縦

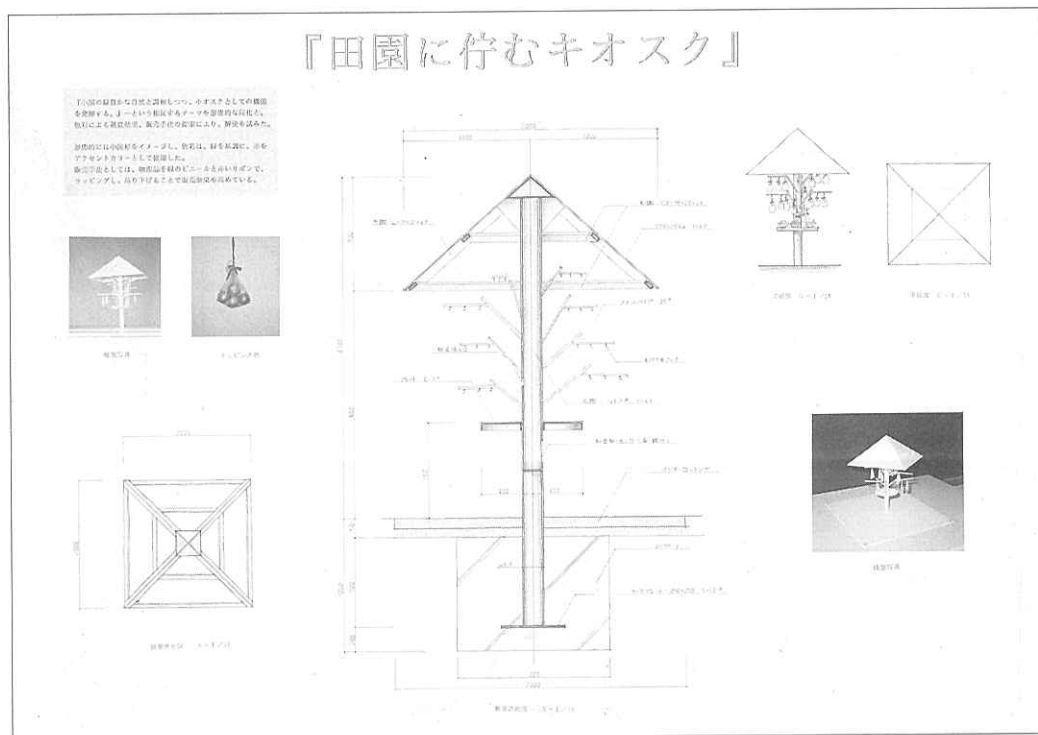


縦

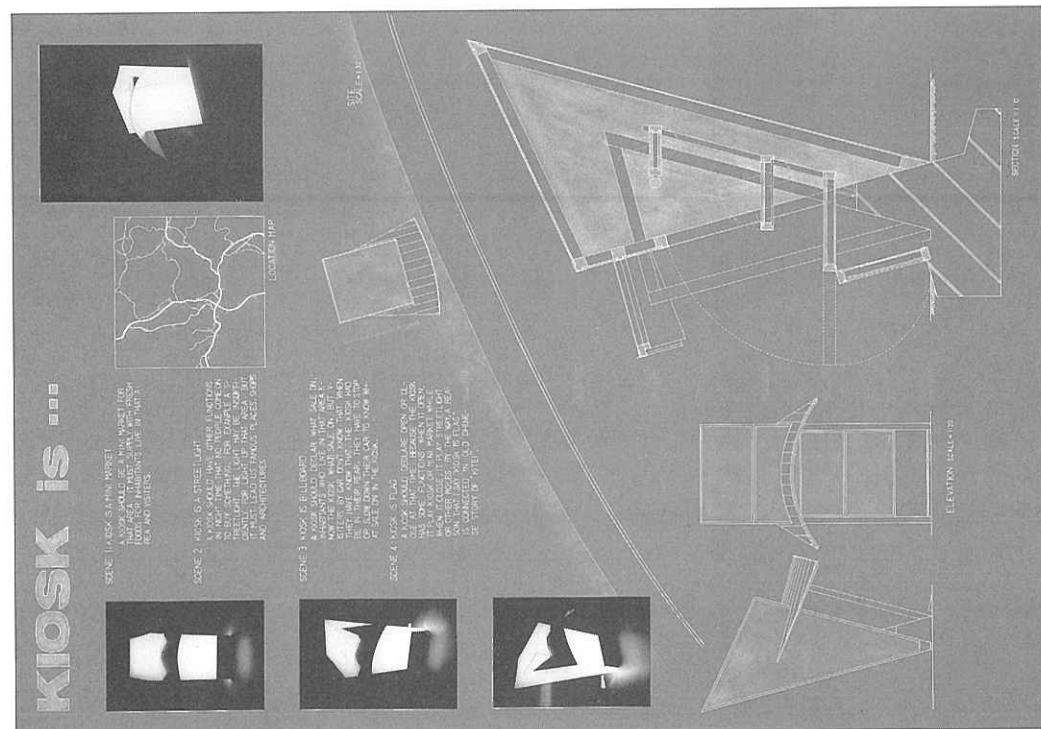




030 後藤英佐夫(代表)

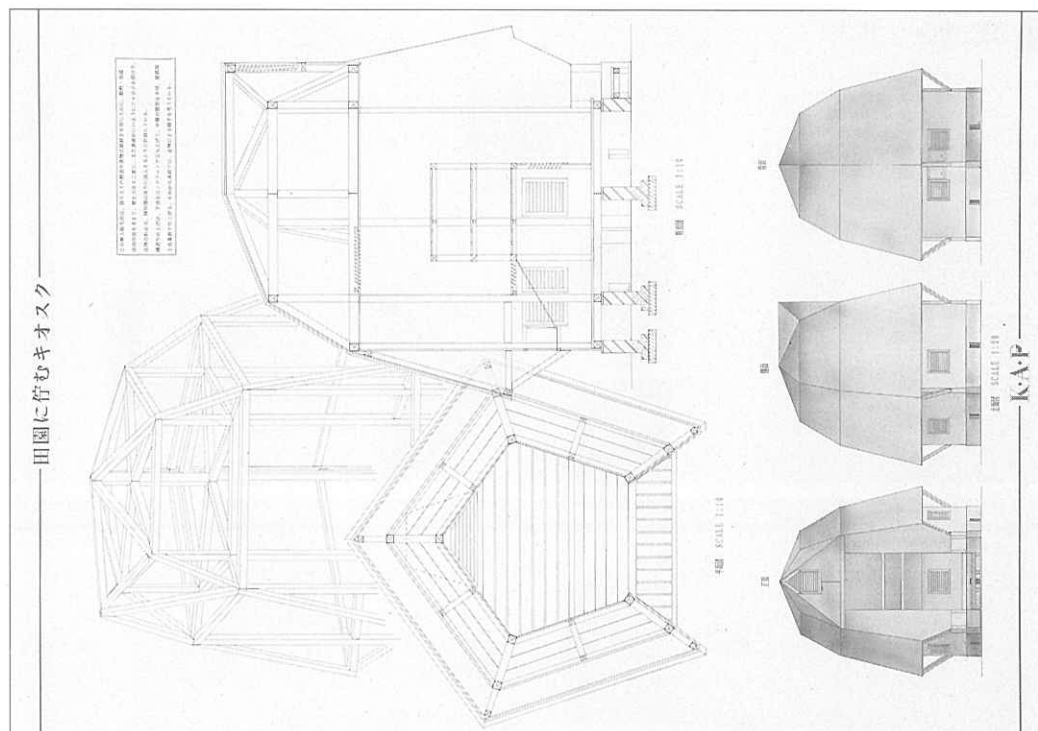


032 曾我部 準



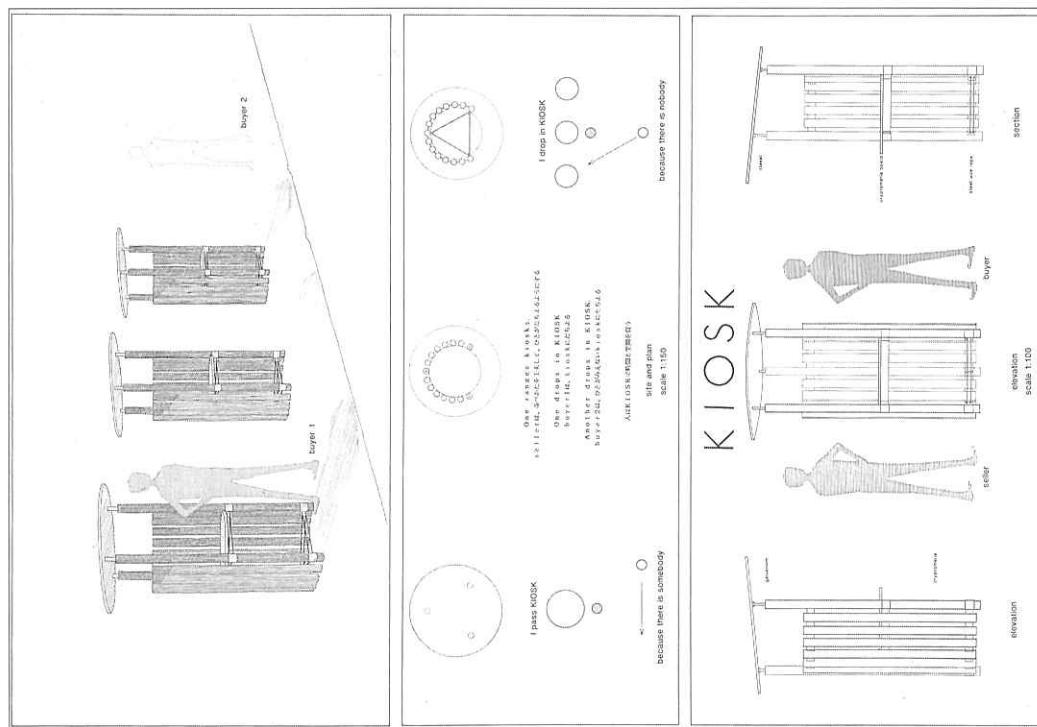
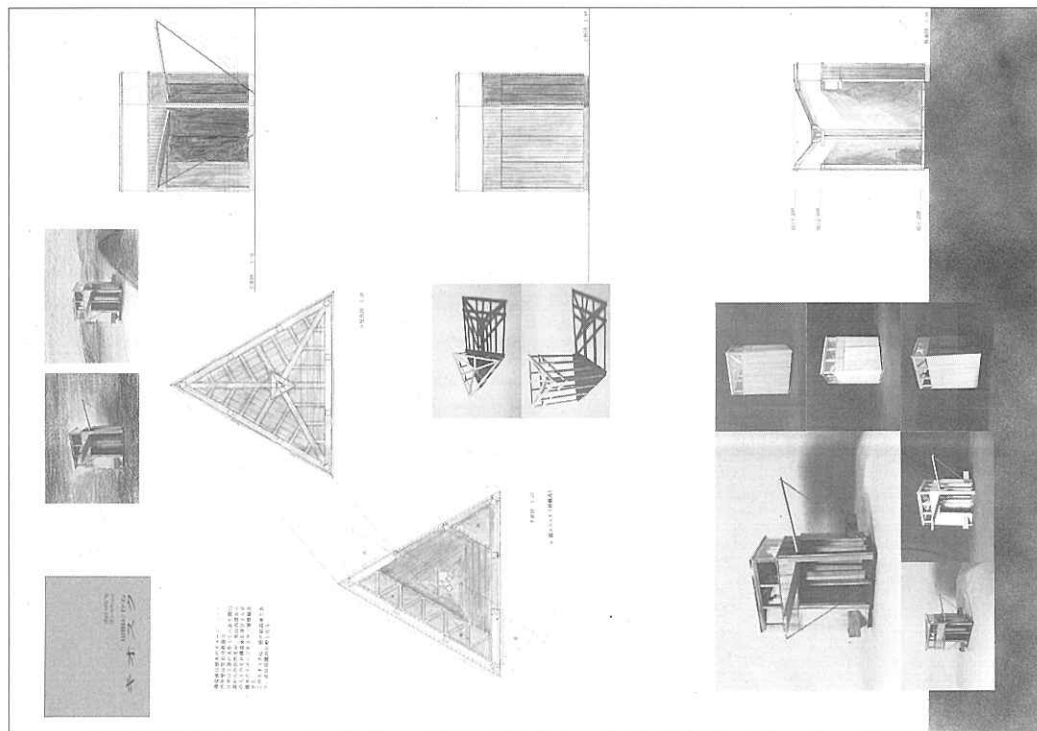
縦

縦

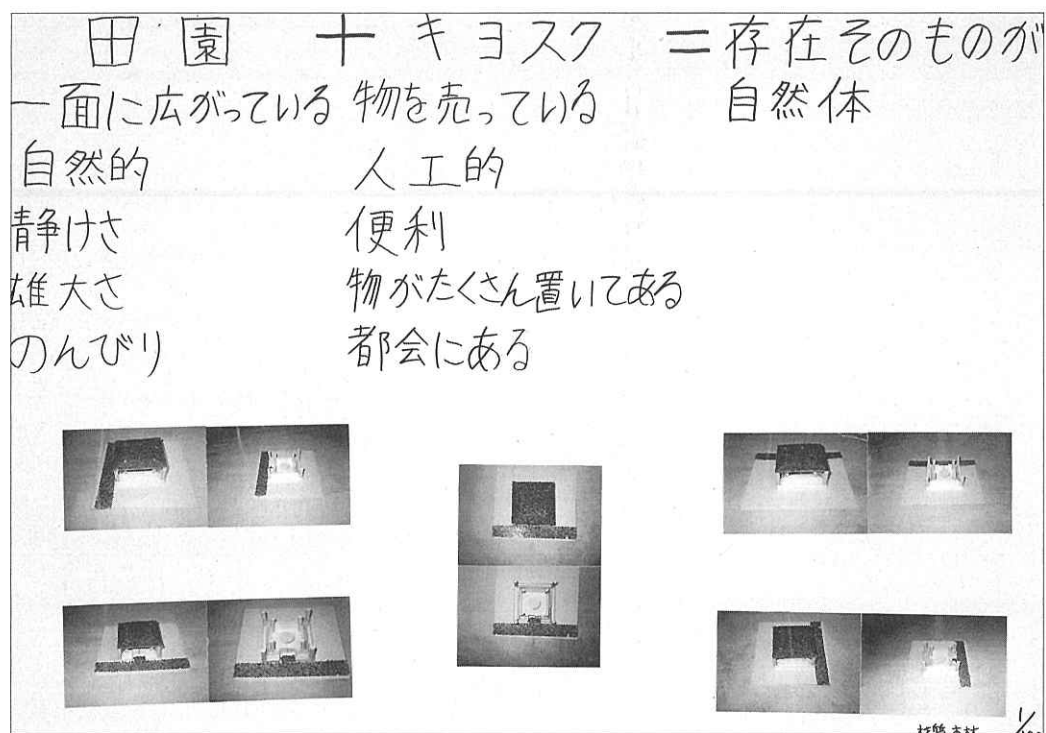
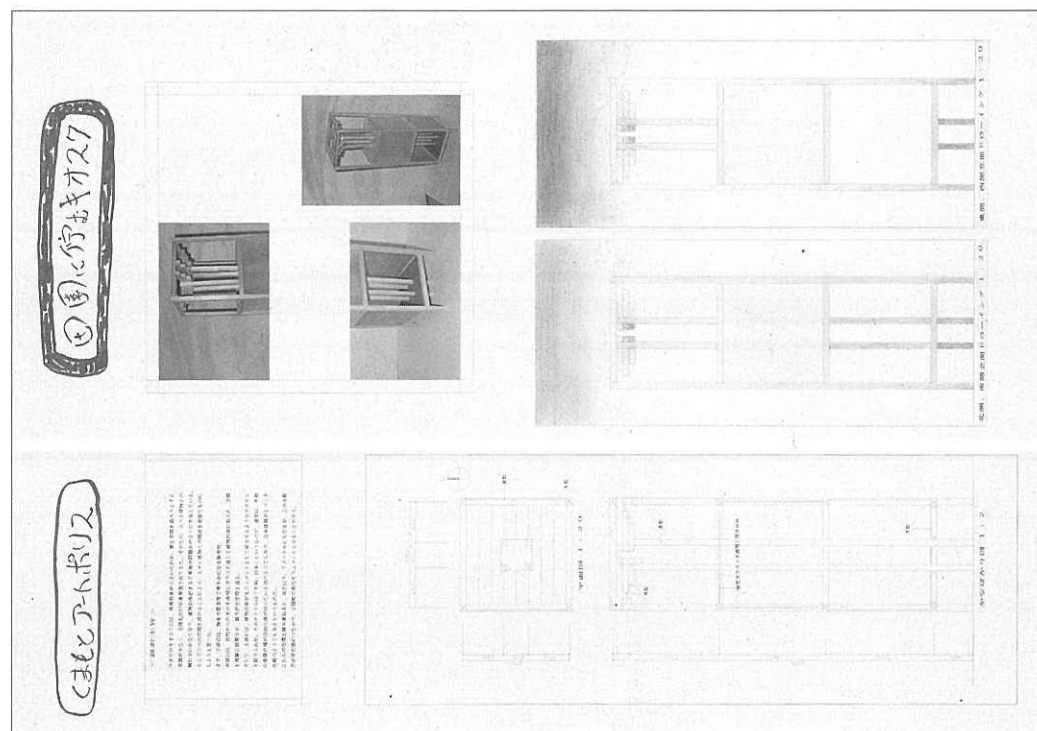


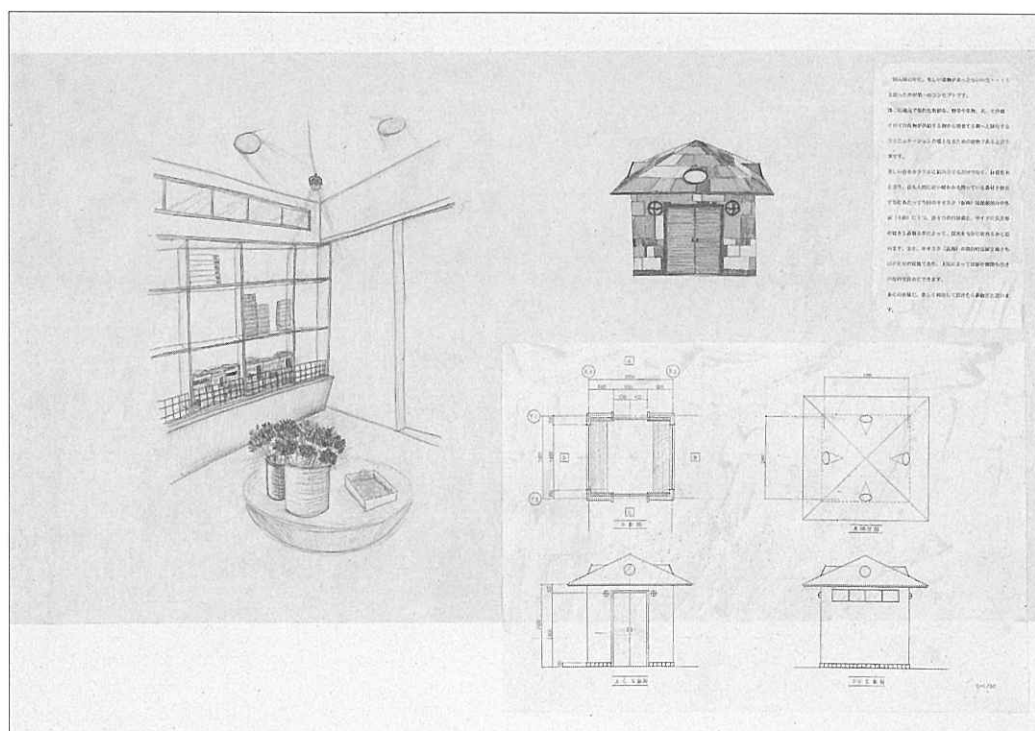
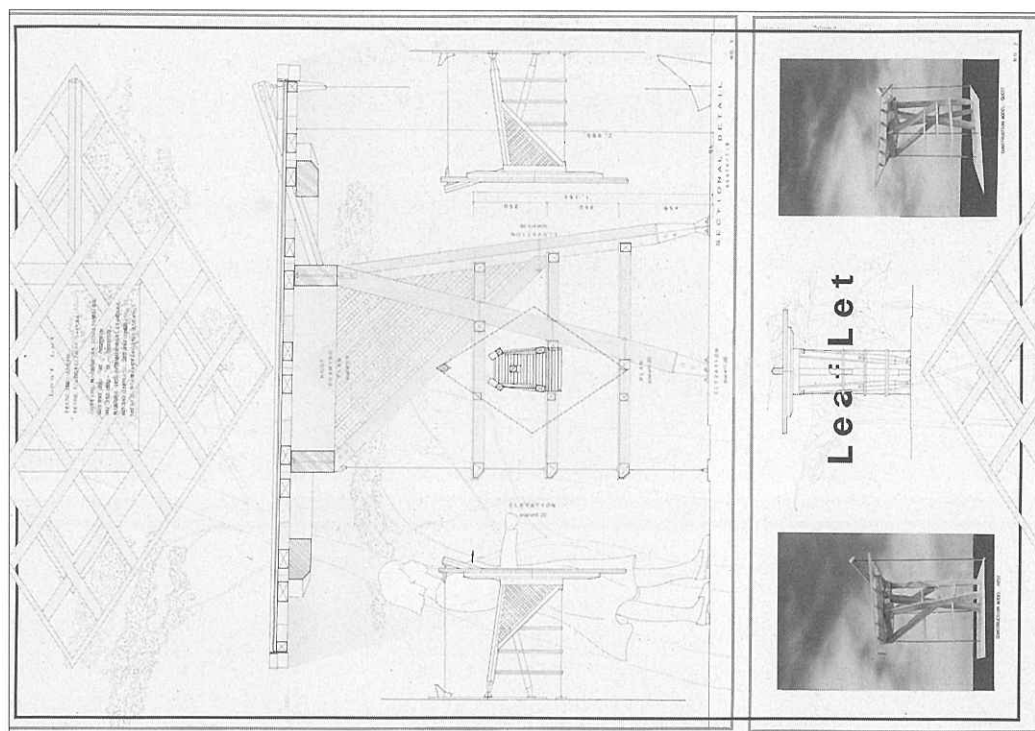
縦

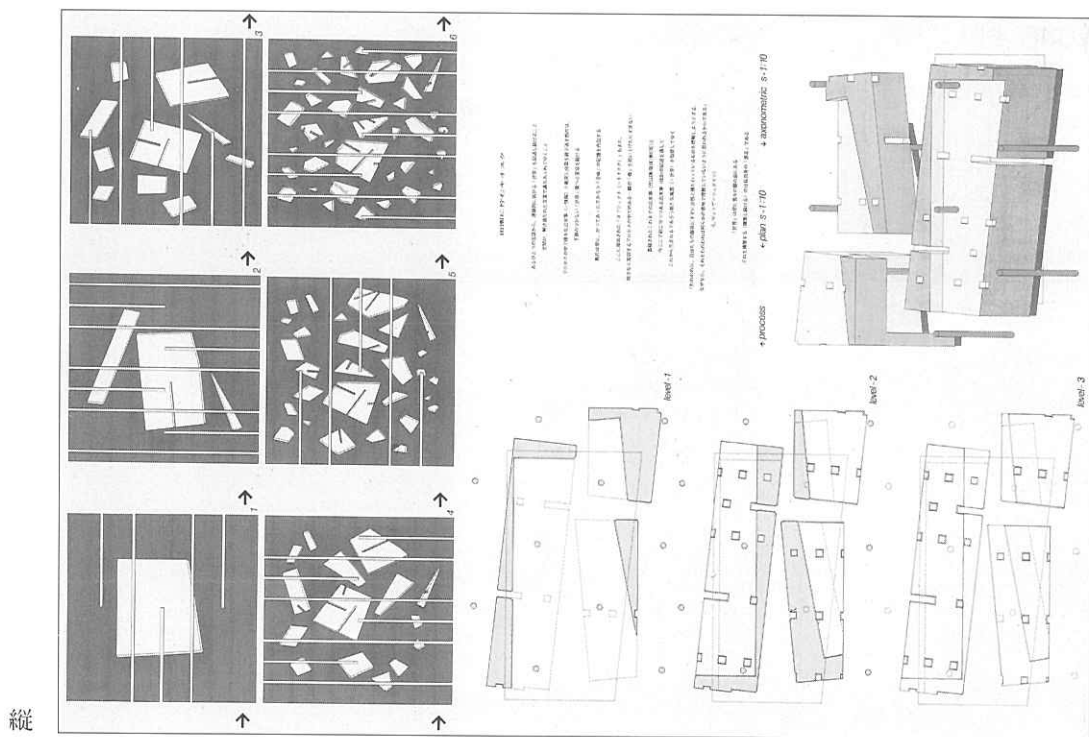
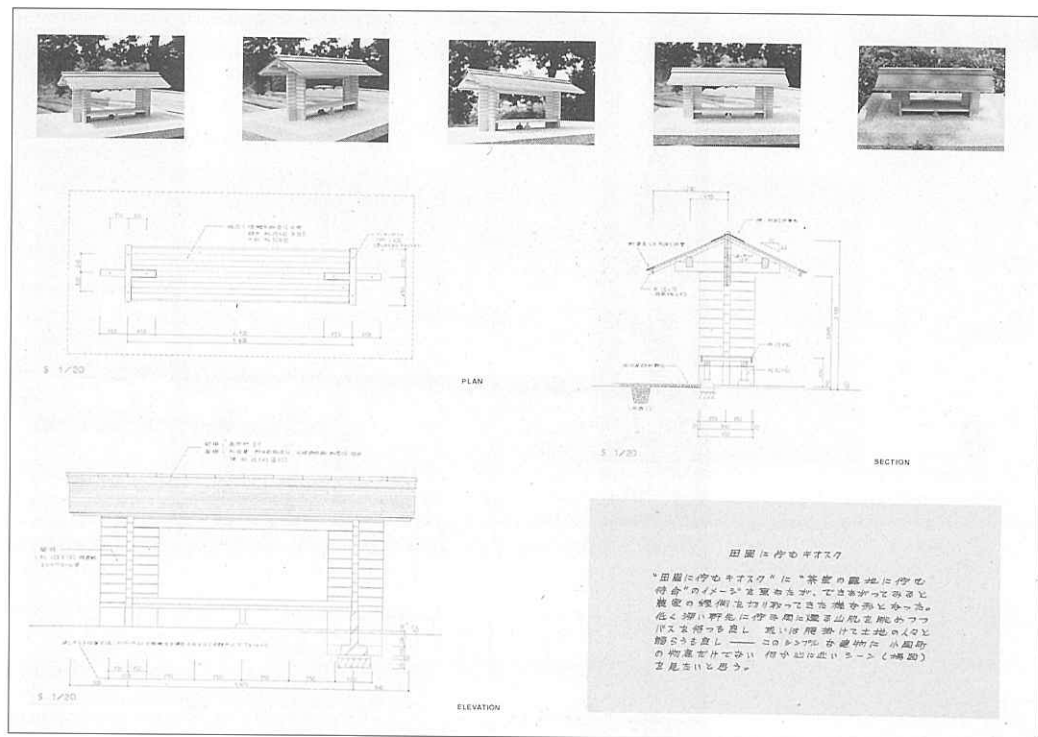




縦

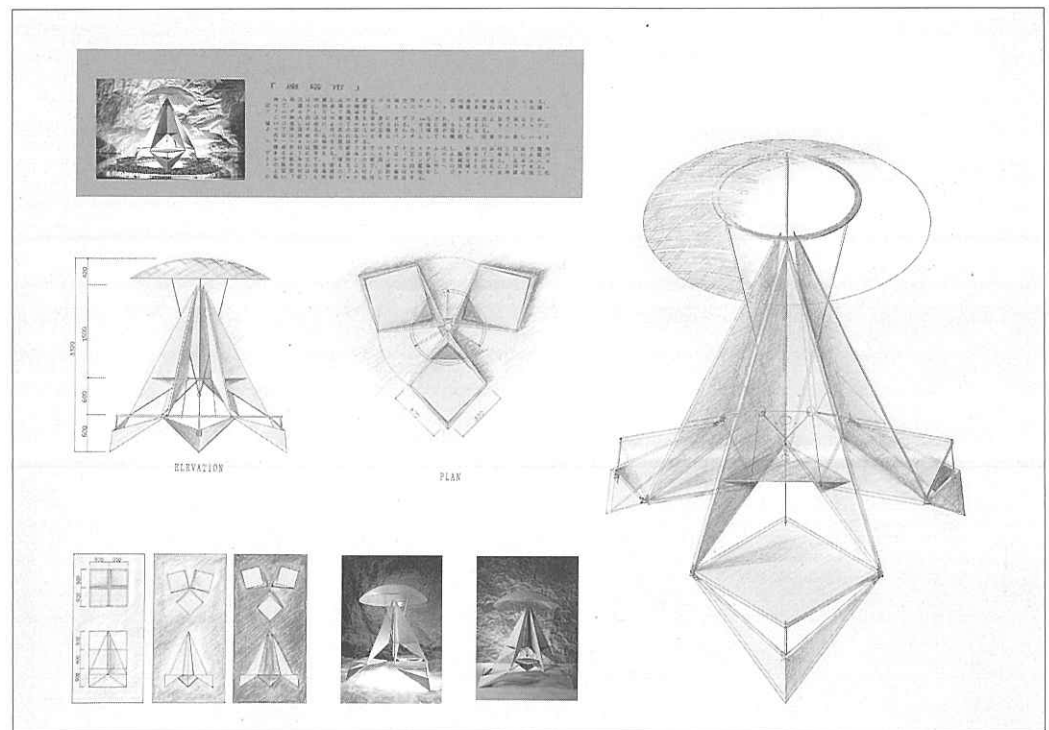




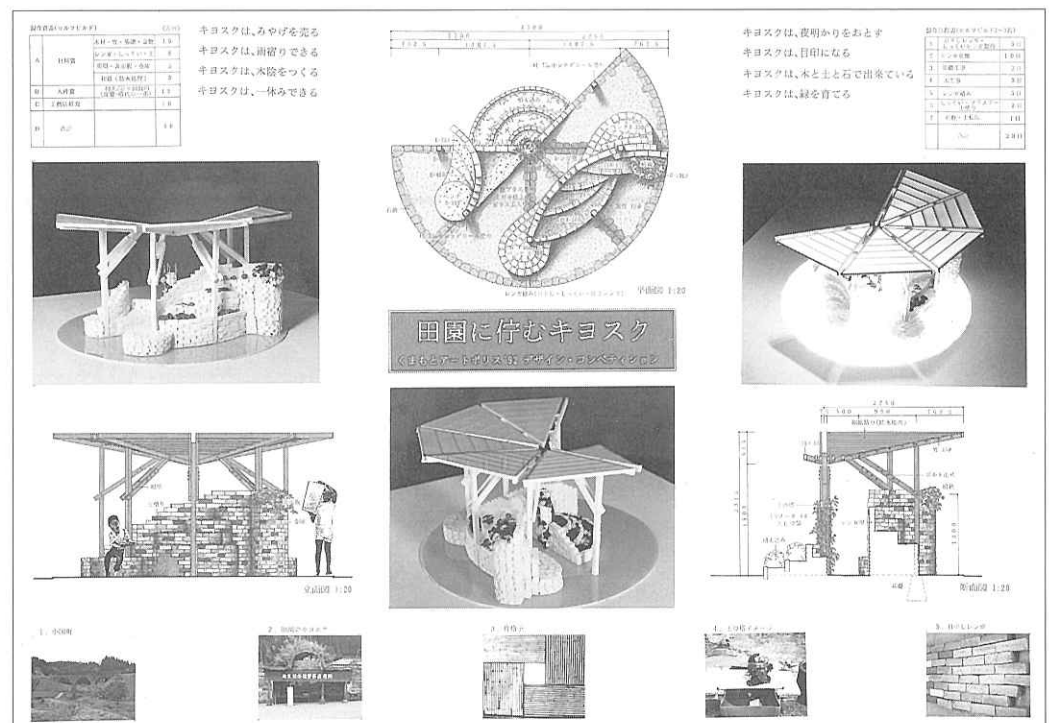




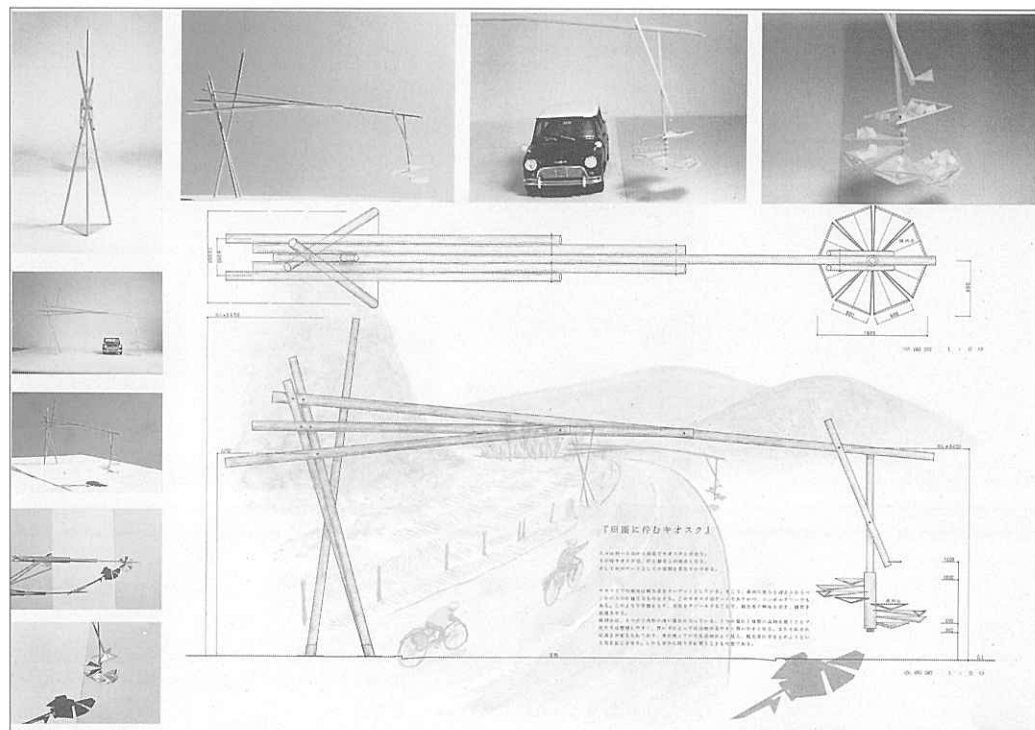
056 杉本 洋文
富永 哲史
中尾 準二
小西 由通
関谷有里子



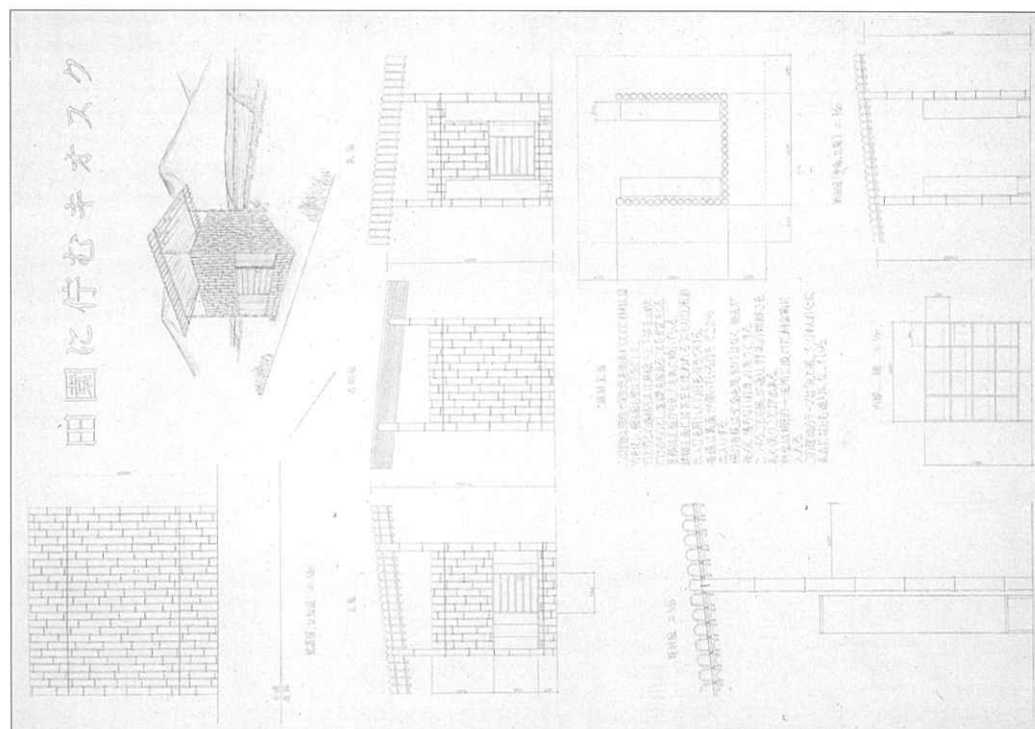
057 北村 茂章



059 下田 貞幸
山根いずみ

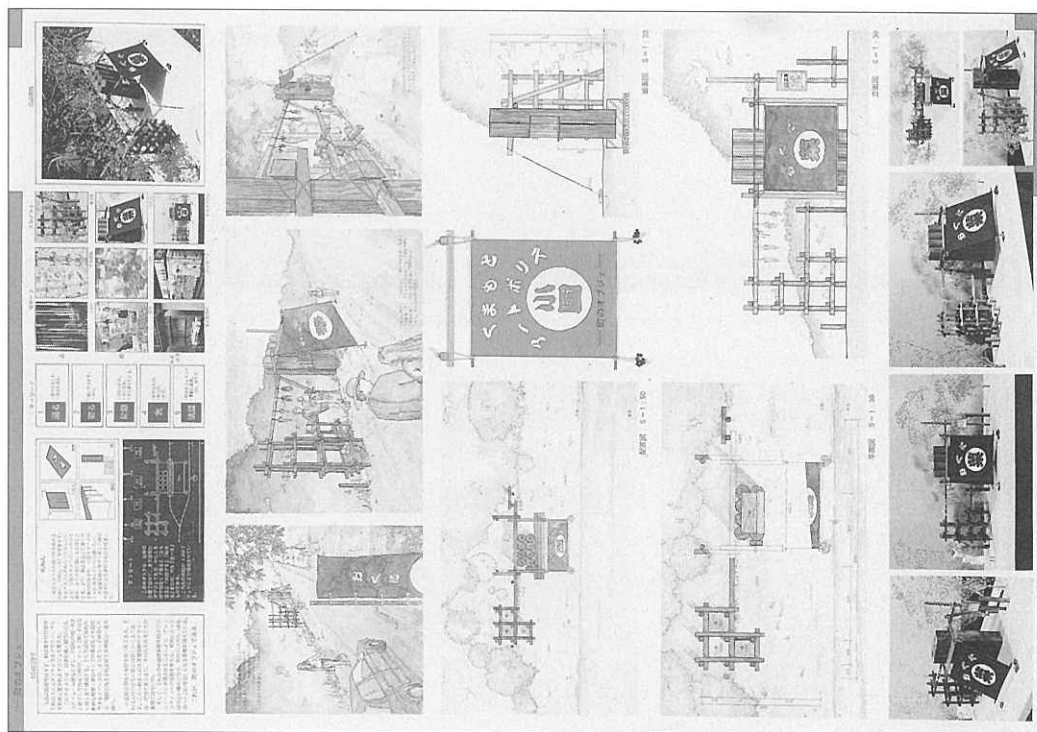
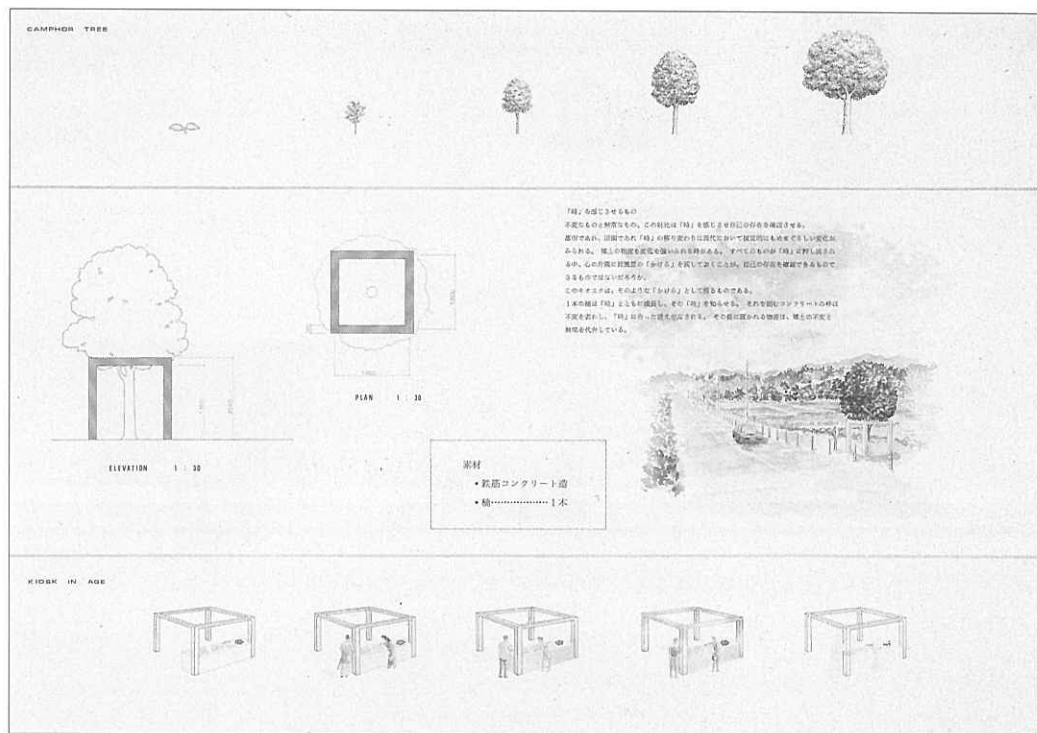


061 児玉 将平

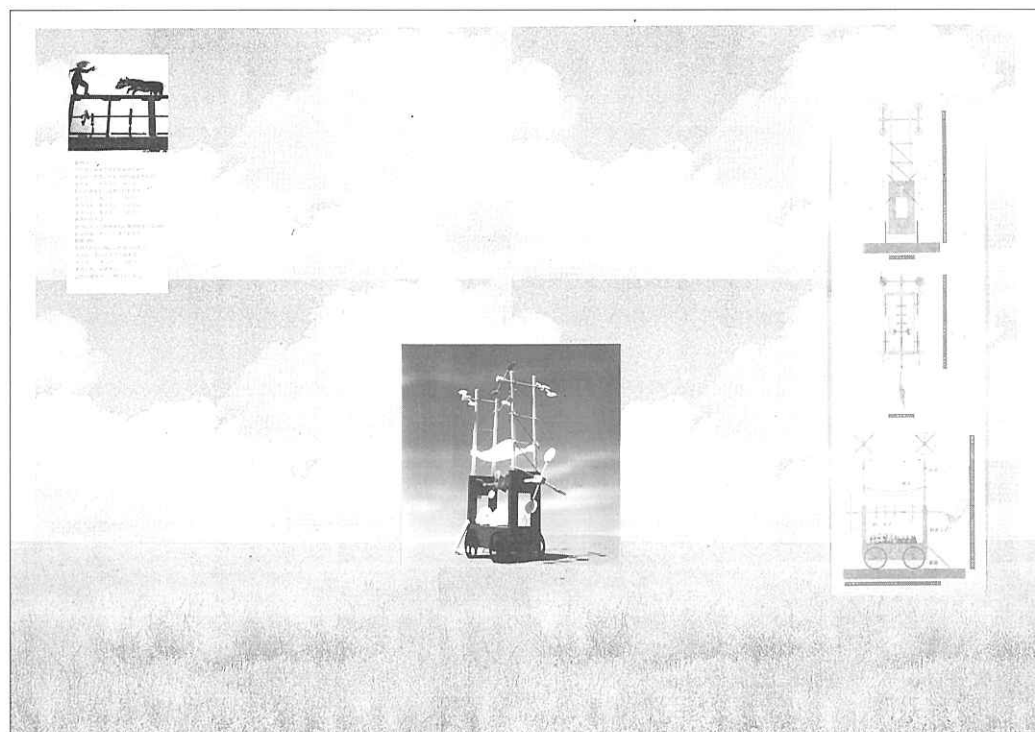


縦

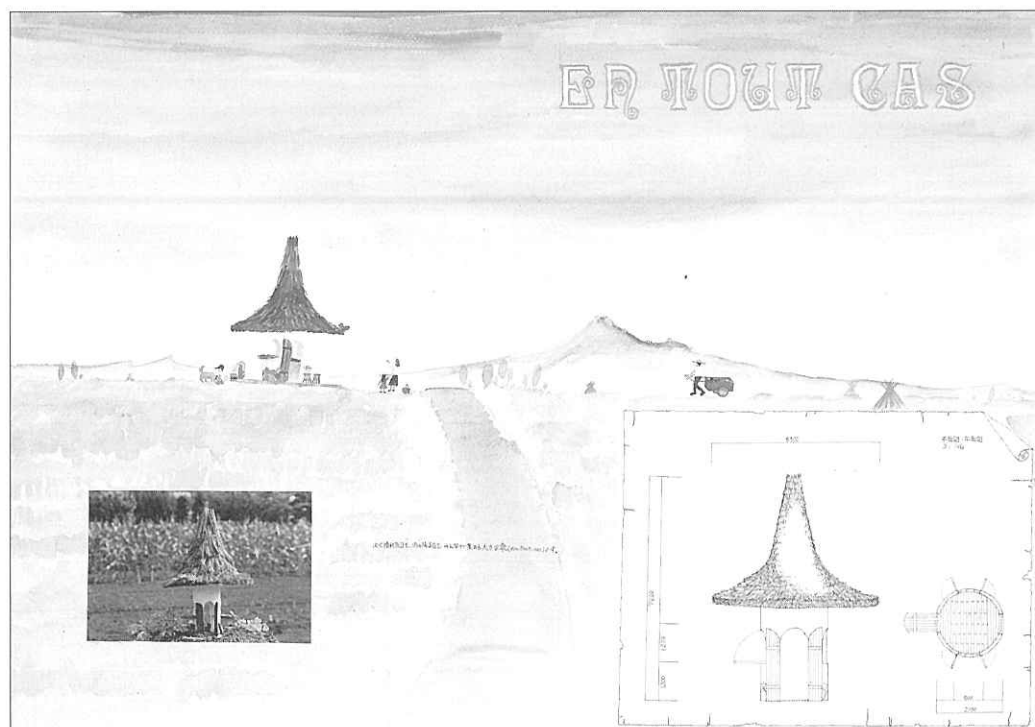


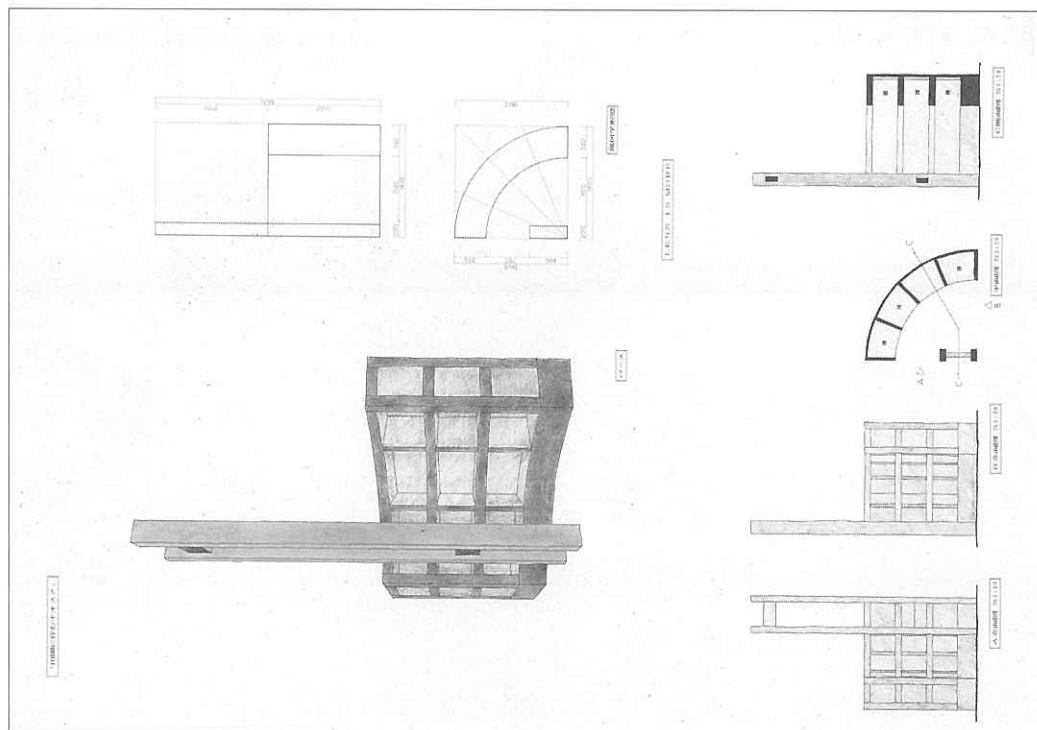
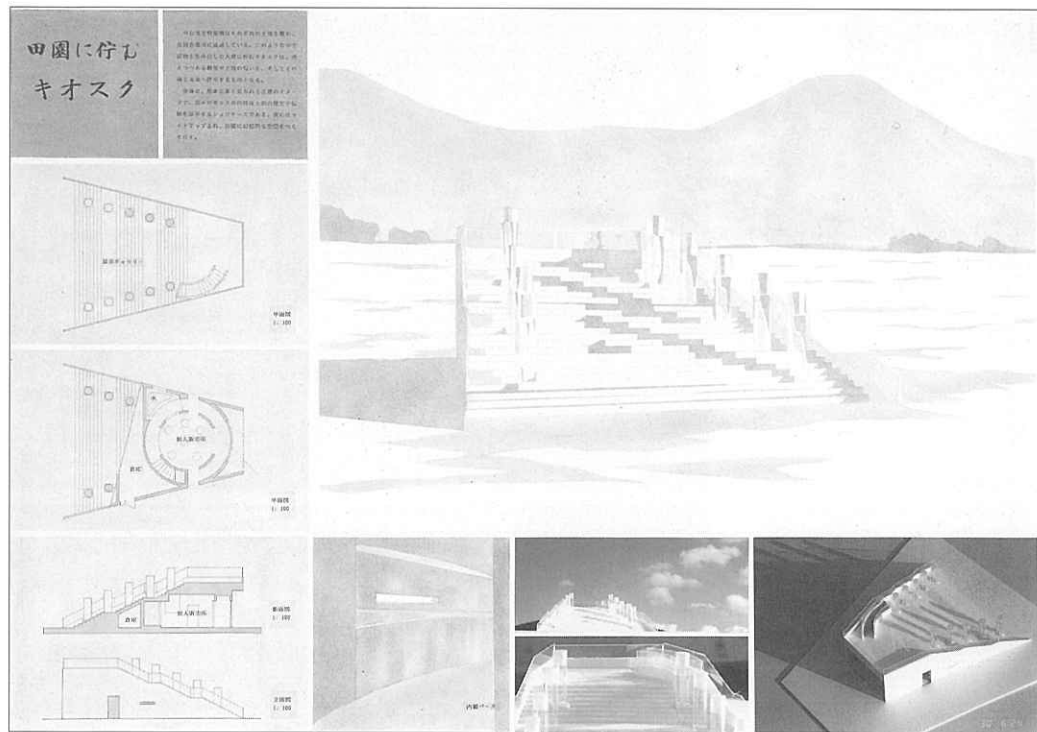


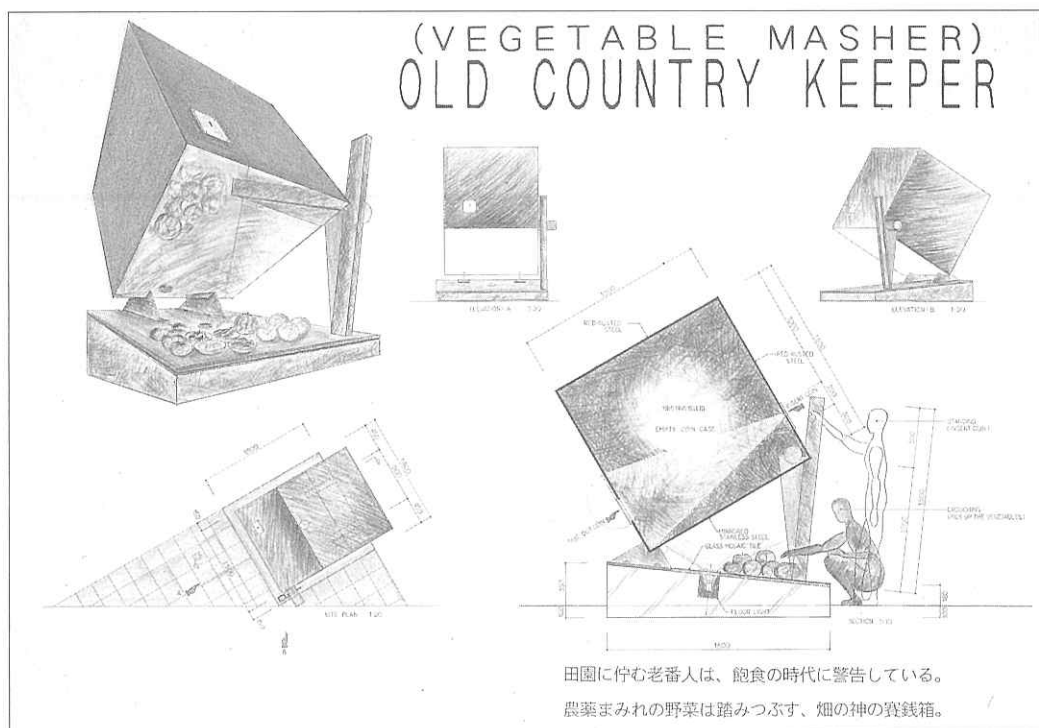
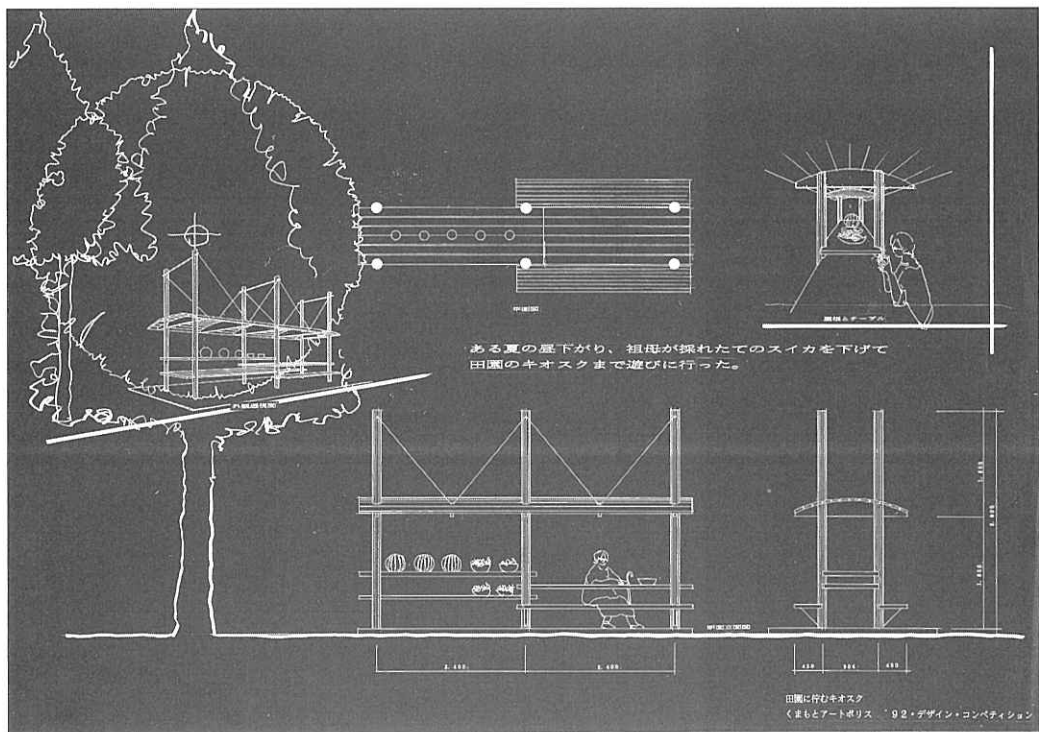
069 吉原 健一
宮本恵美子



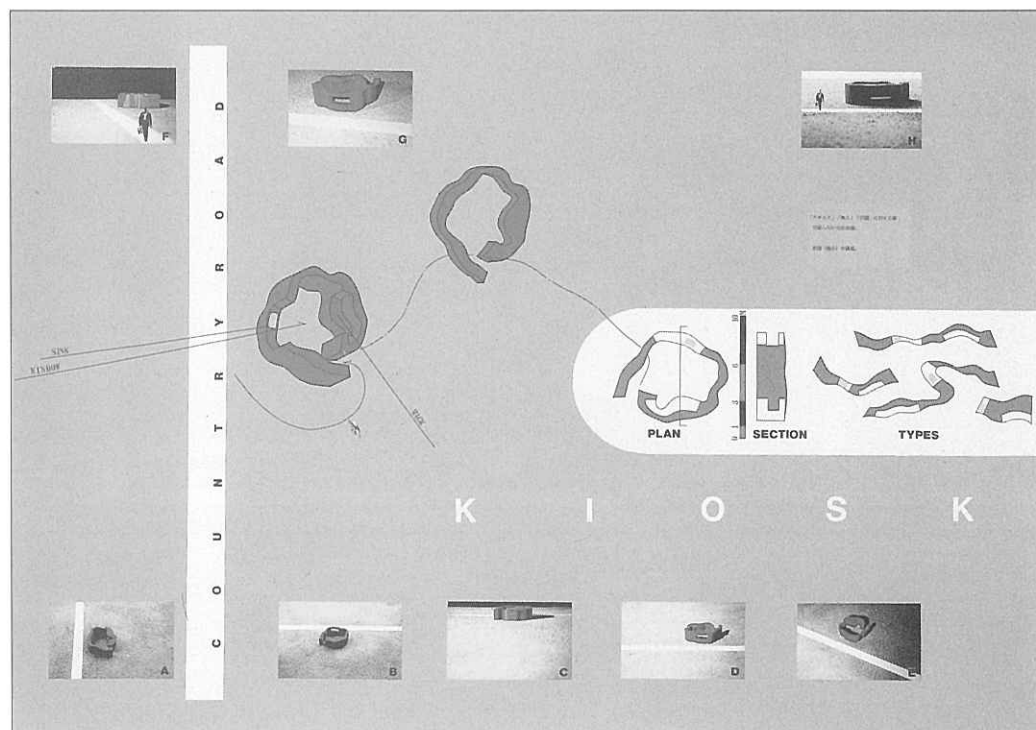
070 岡村富美子



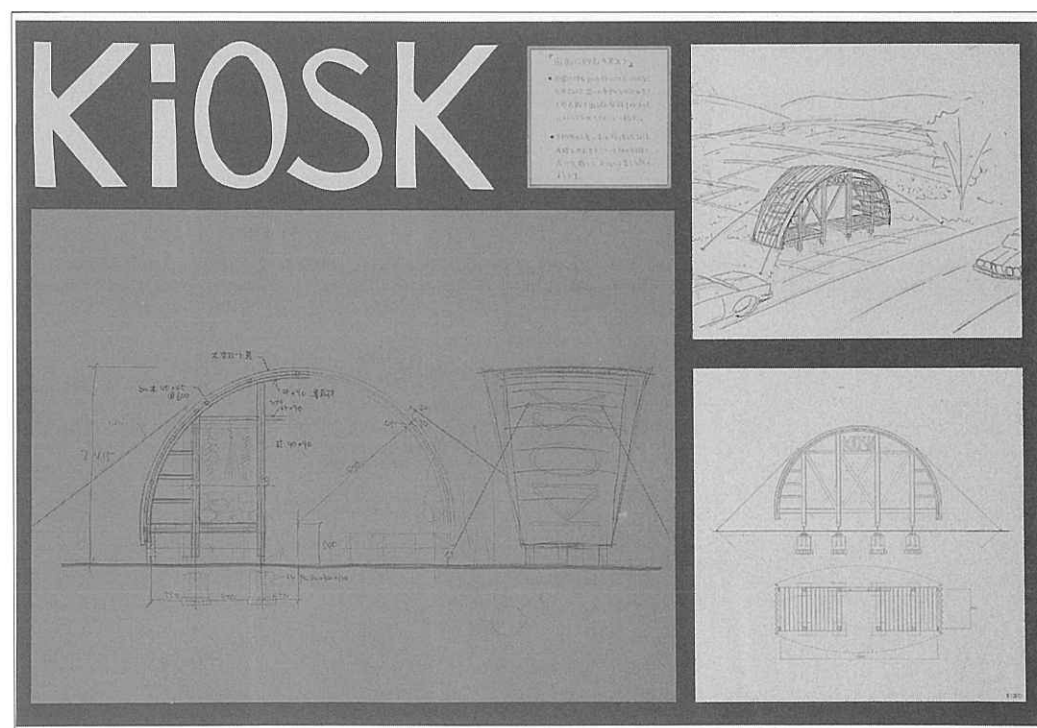




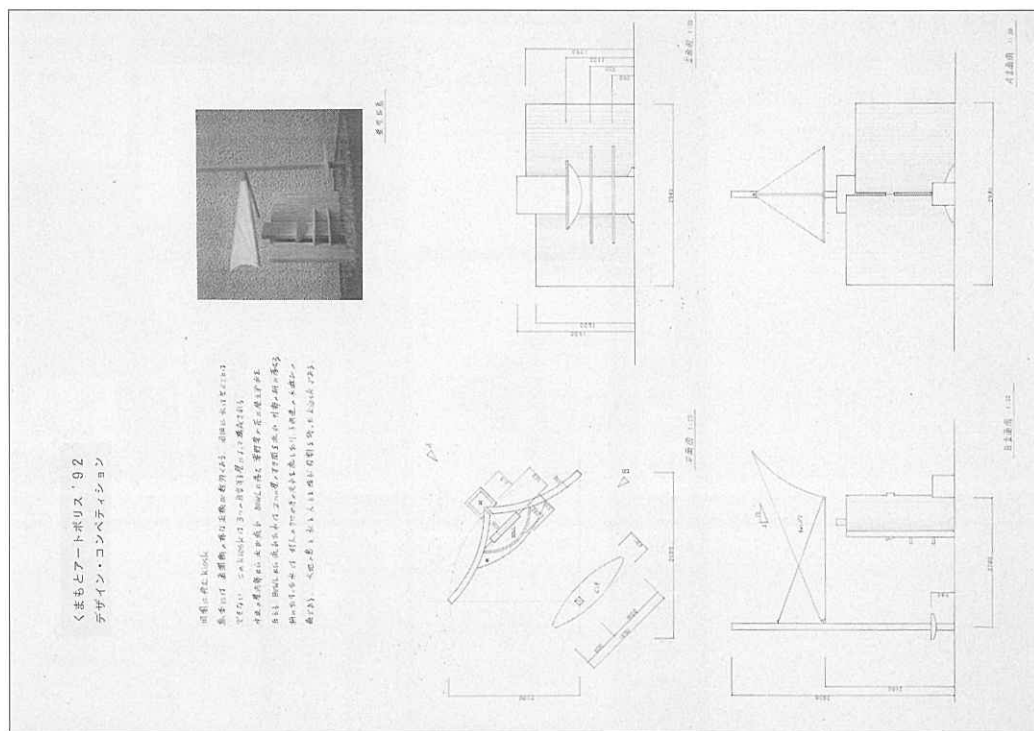
075 篠塚 勉



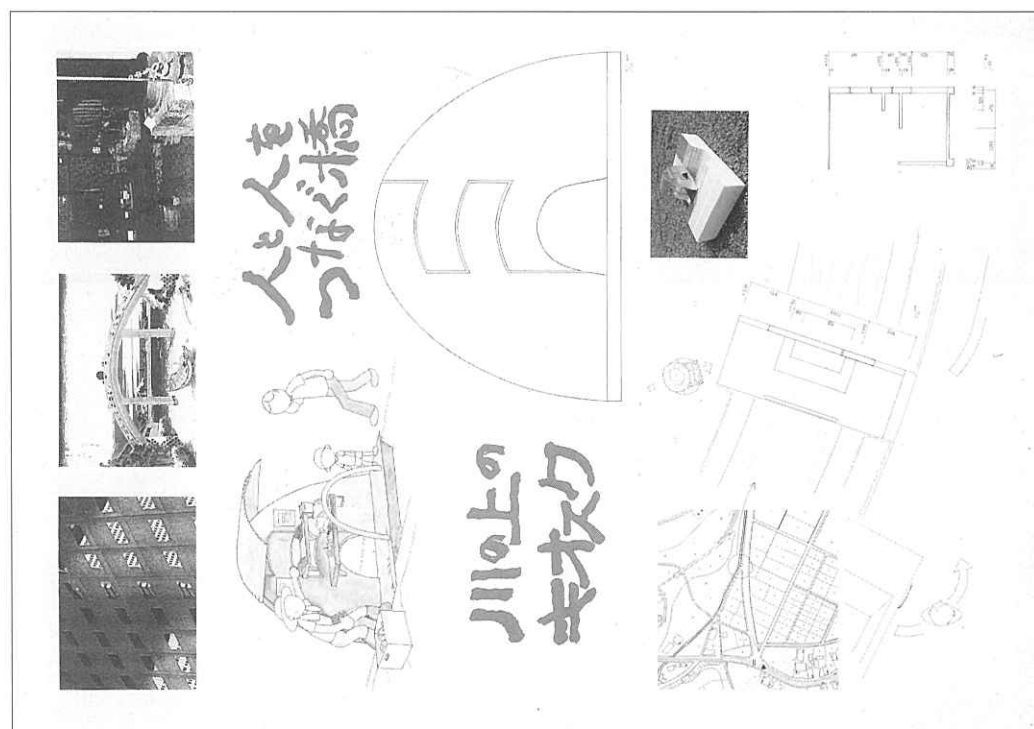
076 堀川 英行



縦

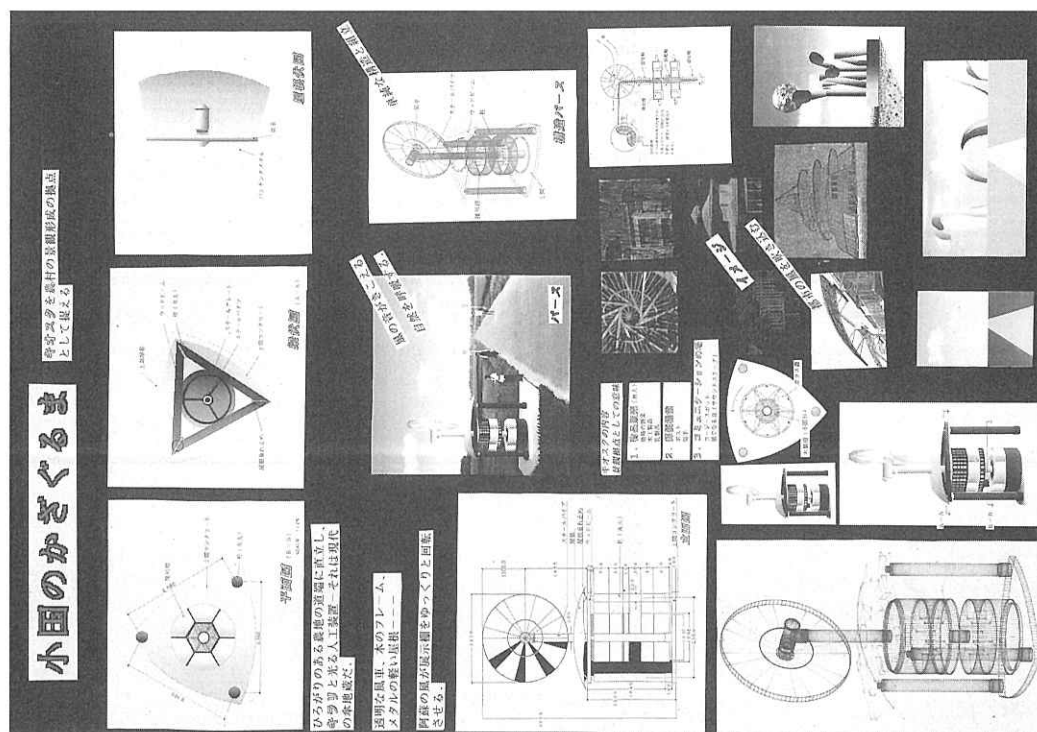


縱

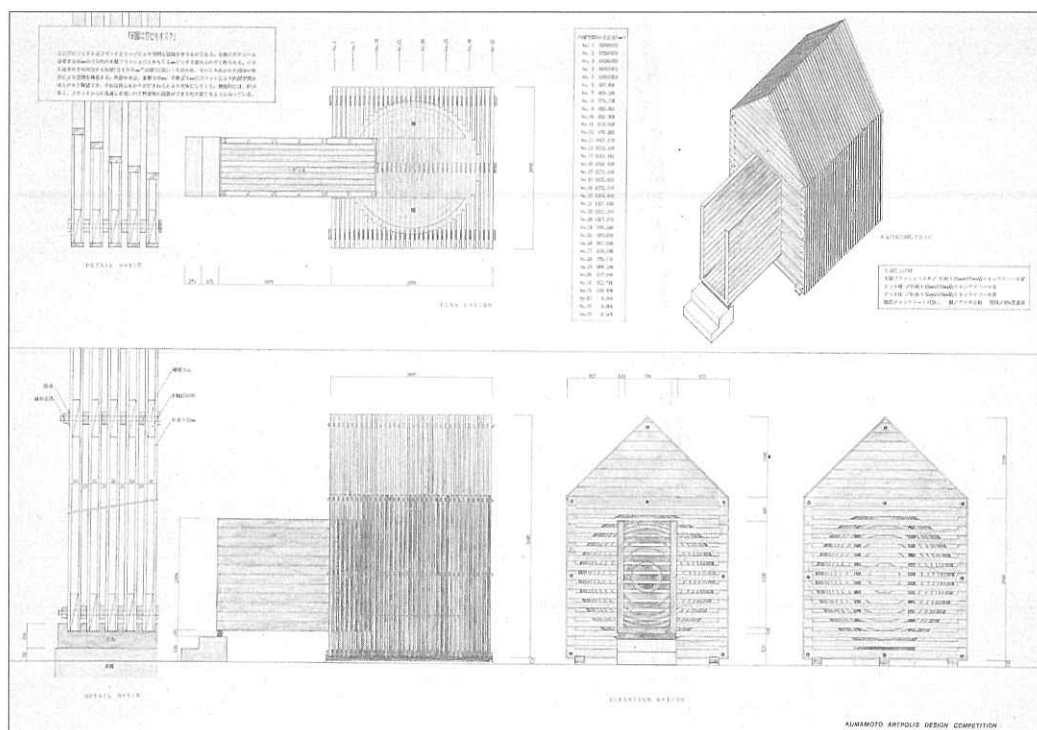


083 長井 恵子
中島 恵理
倉本 祥子
中学美和子

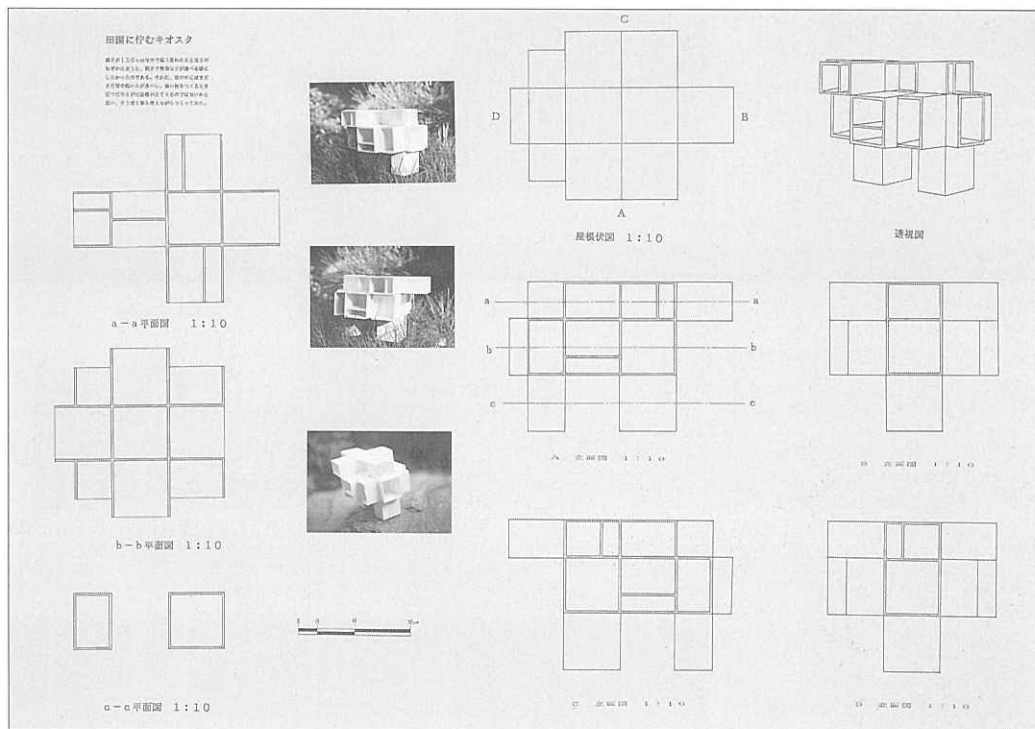
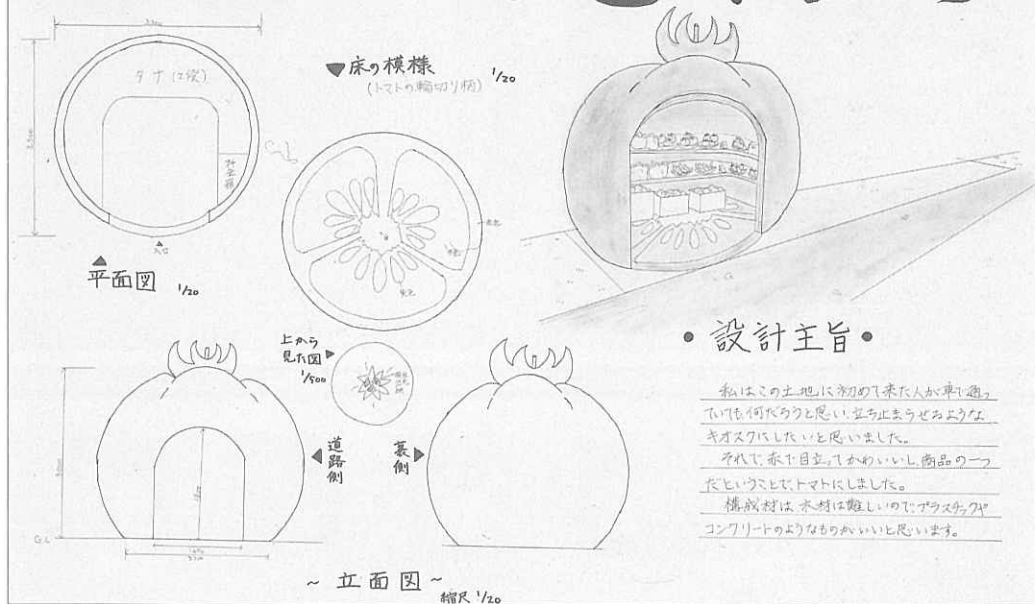
縦



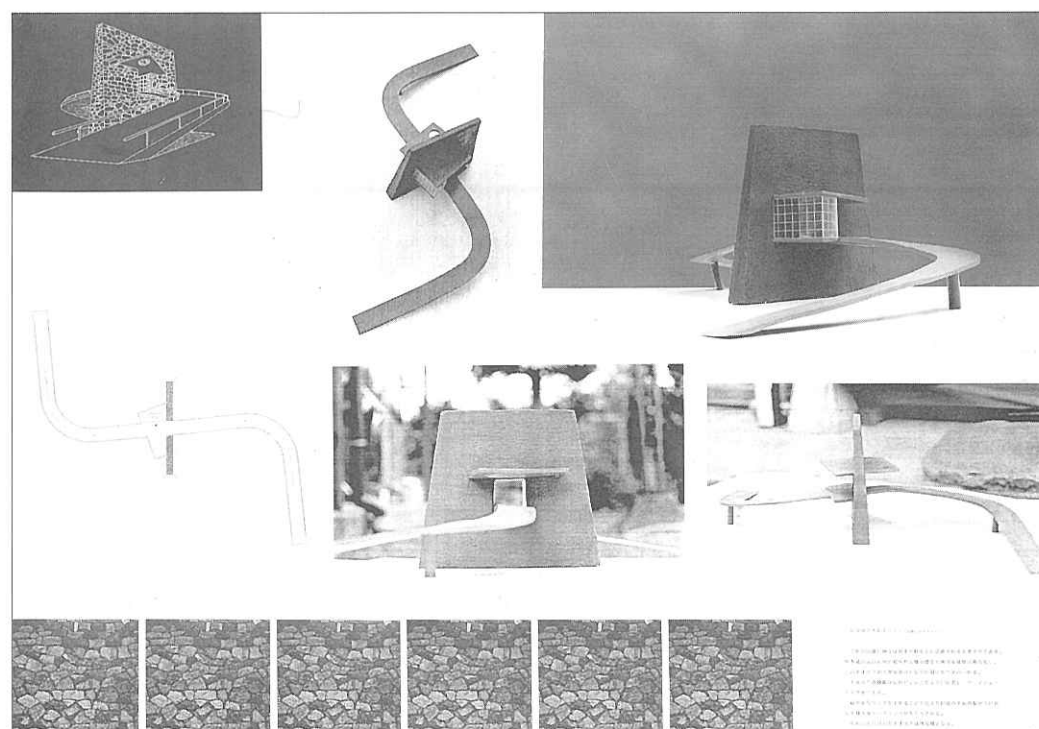
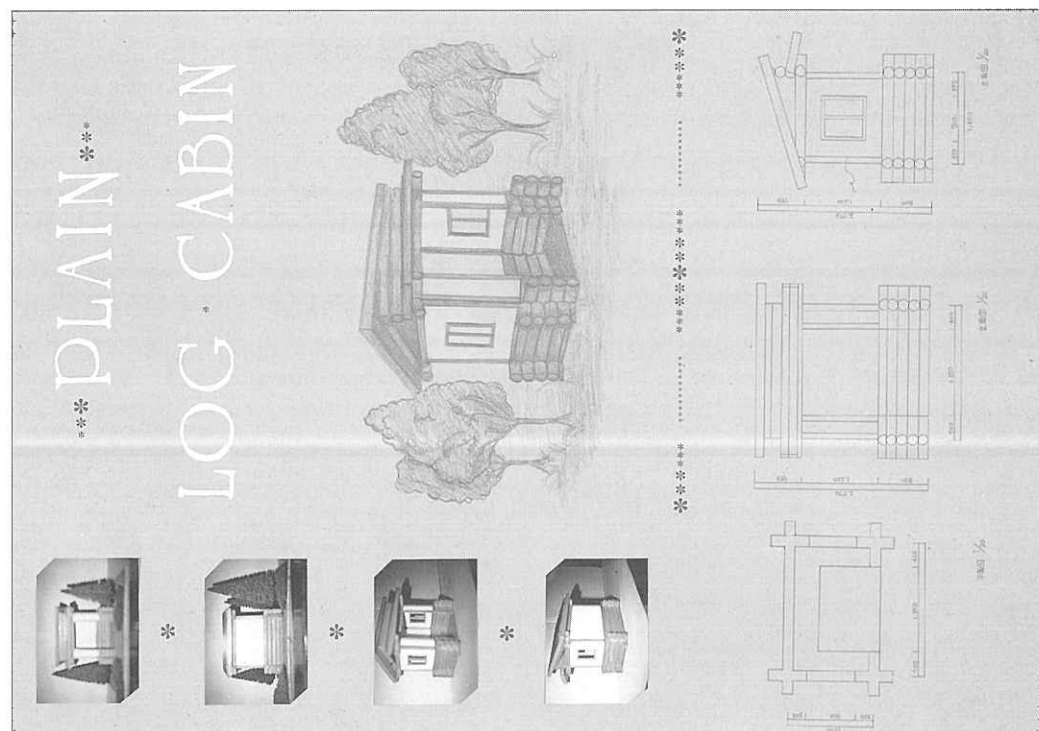
084 中平 勝



田園に佇むキオスク



縦



田園のドーム。

田園に佇むキオスク

キオスクで販売される雑誌は雑誌・新聞などは、自然の「恵み」であり、人々が大に育んできた「文化」の遺産です。また、現代生活者にとっては、その価値が野蛮なところを占めている。読者の月々からの「恵み」であるともいえます。雑誌関係への関心が高まり自然派「エコロジー・ブーム」の時代だといわれています。この自然の「恵み」への「感謝」の「恵み」は減るべきではないだろうか。今期に発表するキオスクは、「恵み」というテーマをベースに空間に暮らす人々の「文化」のシンボルとして、ユナニ「恵み」を気軽に立ち寄れる、複層的な環境装置として観念する「デザイン」になっています。

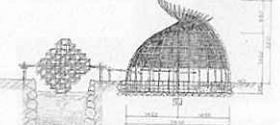


竹細工ドーム

竹を踏み、竹間には人々の歩む足跡のあとがみえ、結構です。「竹」という自然の恵み（「竹ひ、竹すくすく」という人語の縁起から）恵みの恩恵によって生まれた「足し」というアダムのかみゆきで、自然と文化のシンボルとしての竹をアダムが愛します。また自然の恵みはアダムを自然の恵みの恵みにも与えます。自然の恵みはアダムに「足し」として、アダムは自然の恵みにも与えます。

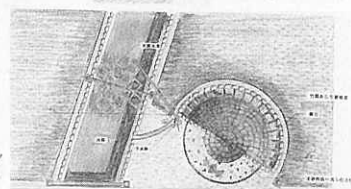
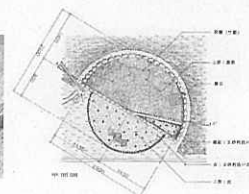


山の神・水の神

[illegible]

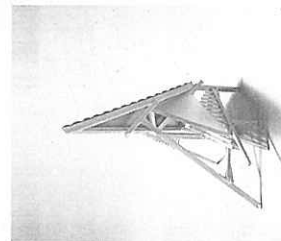
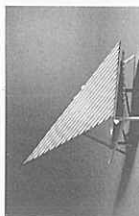
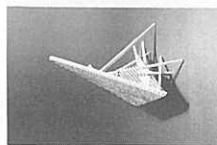
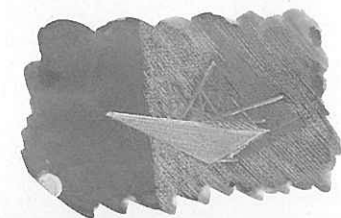
水 車

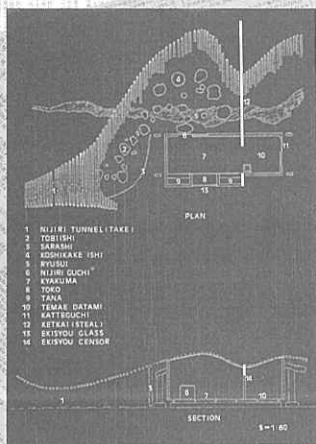
既述にのみを以て述べたことはならぬが、その点もまた、
 然らば、我々もまたそれだけの範囲で済んだことになる。また、
 にも加えて、ノミカシヤでもあり、同様にそのノミカシヤを以て
 決するノミカシヤに對しては、アノミカシヤ……として、
 同様にして、



093 阿部 裕樹

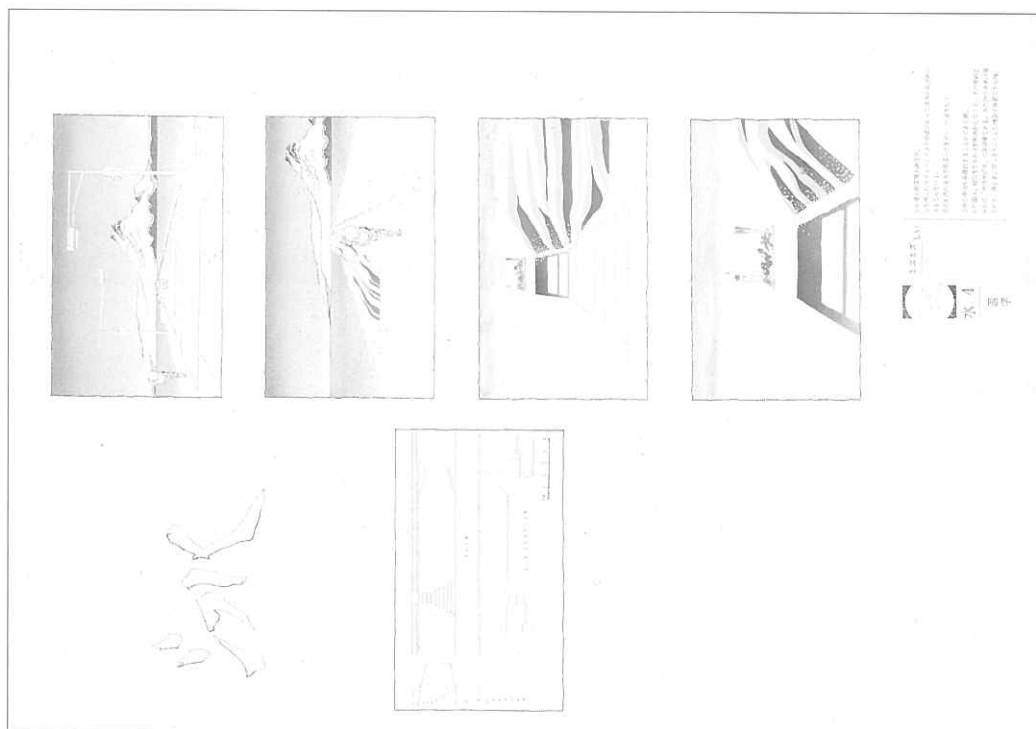
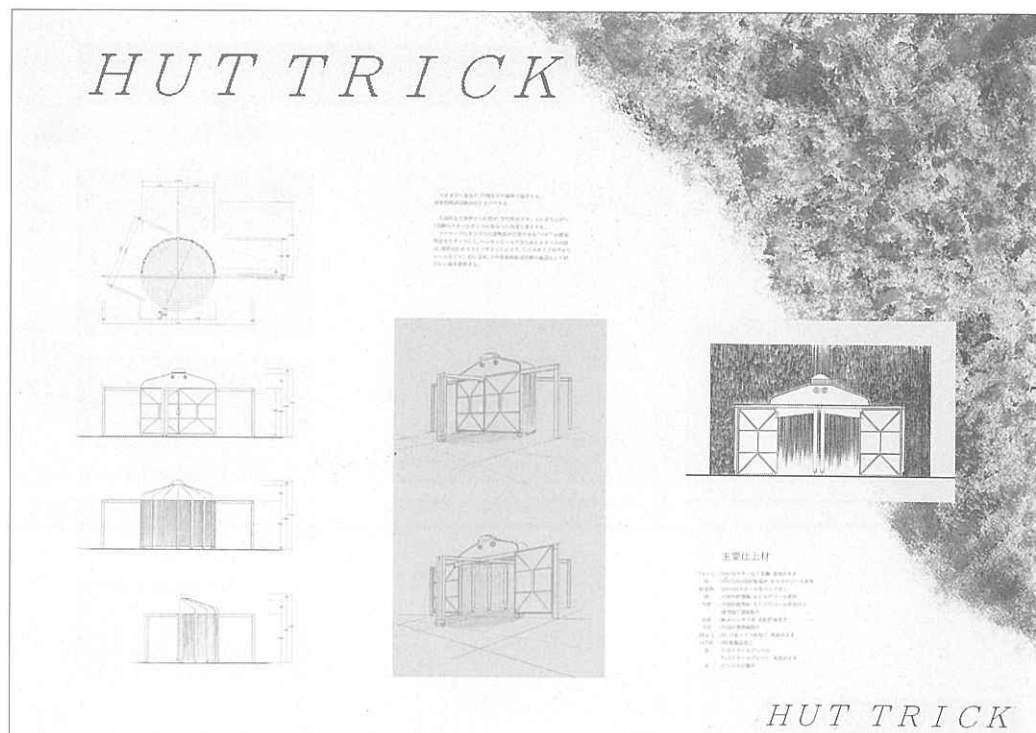
(風景／意味)のMetamorphose

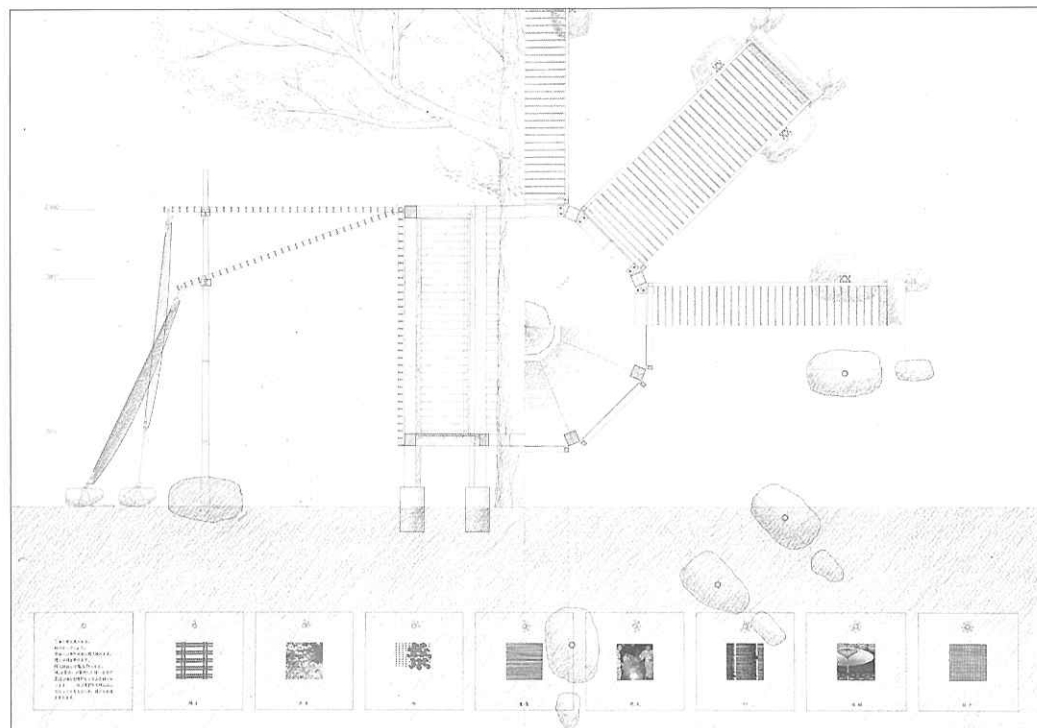
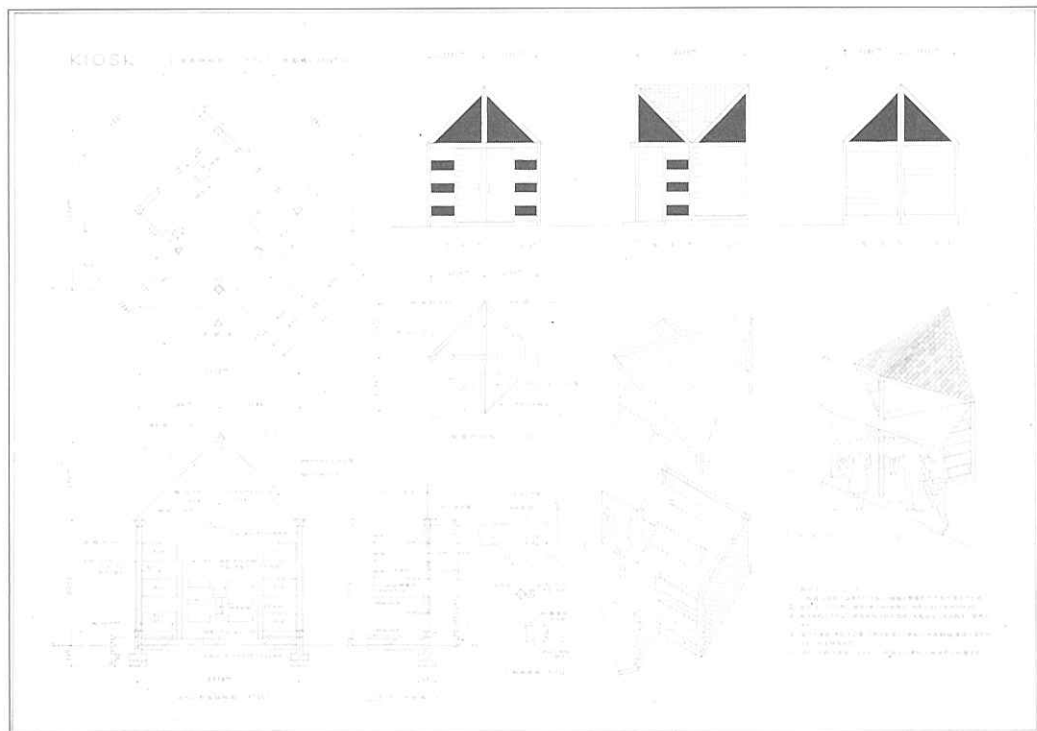




"ICHIGOICHI" AT KIOSK







田園に佇むオスク

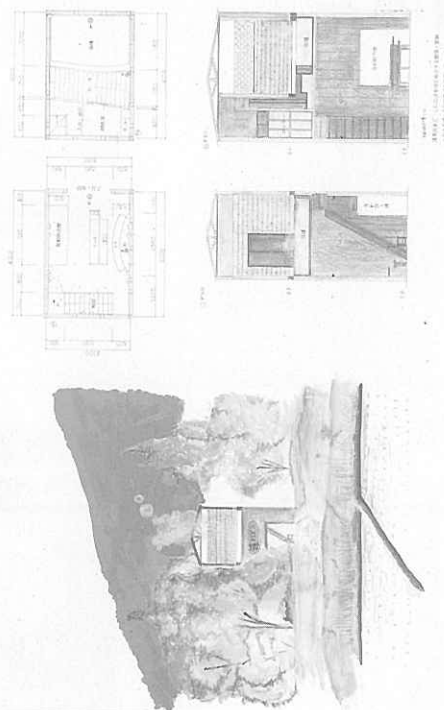
湯OSK

ニコンセプトニ

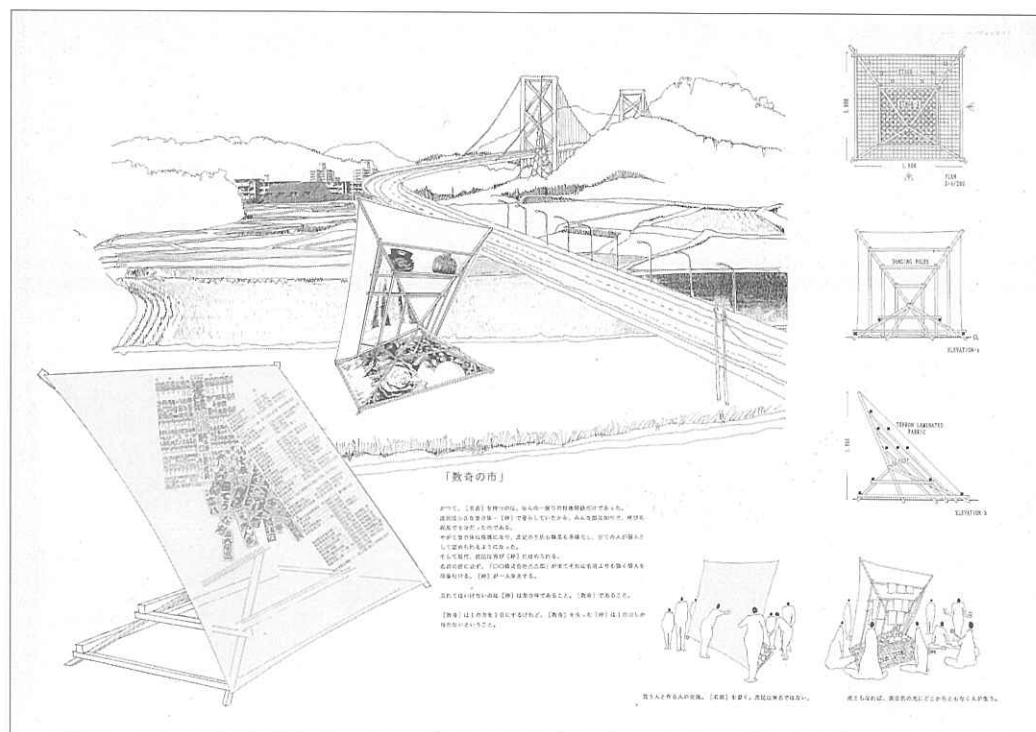
熊本小国町には、黒川・杖立・山家の湯をはじめ、たくさんのお湯が分布しています。そこで、そんな恵まれた自然を活かして、露天風呂のあるキオスクを提案します。

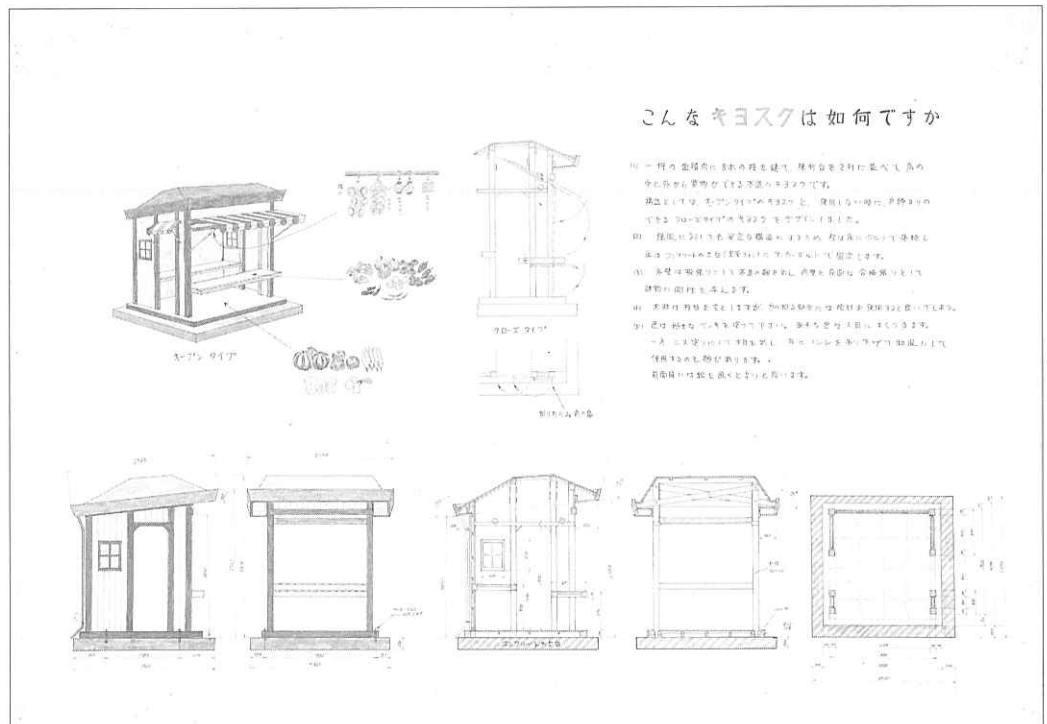
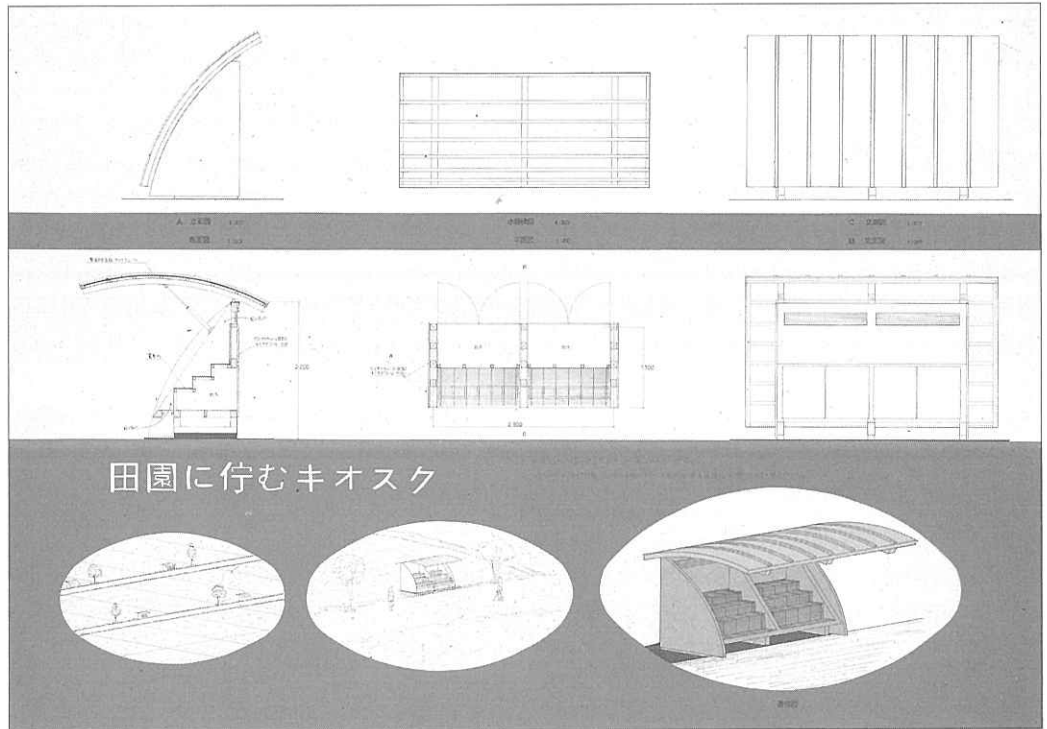
さらに、小国町ですぐ背くた小国形を使用することにより、町のPR効果もUP。
下釜・松原ダムのハイキングコース澄み切った空を体いっぱい呼吸した後、阿蘇を一望しながらくつろげる時間。日常せわしなく暮らしてゐる生活から解放されてかつひと息ついでみる。

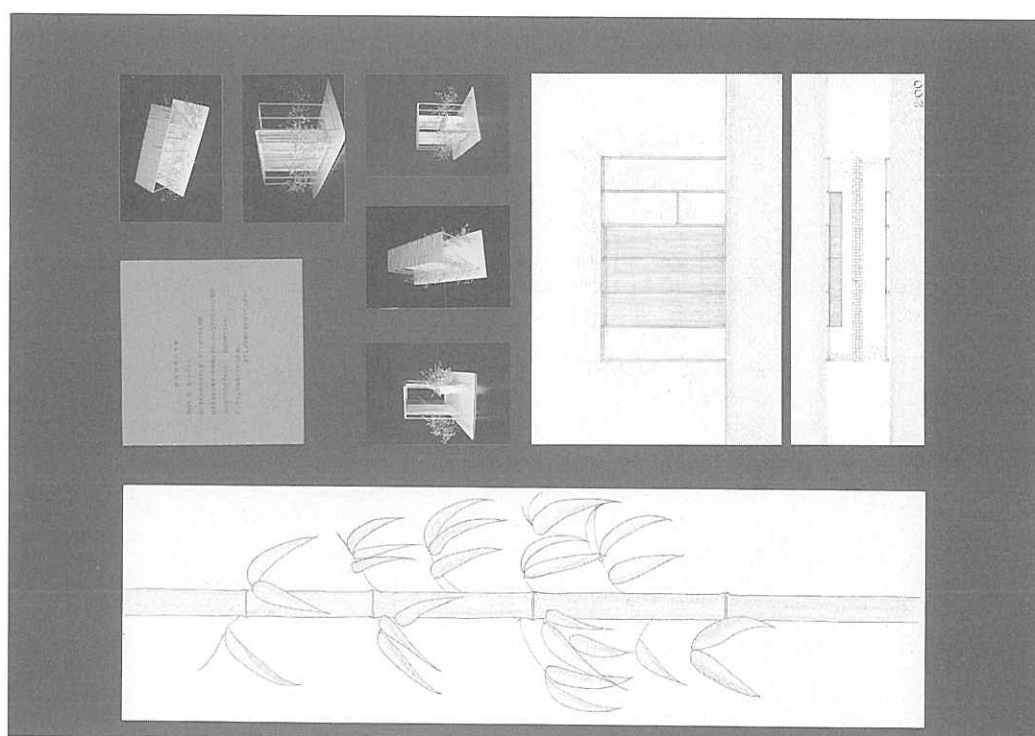
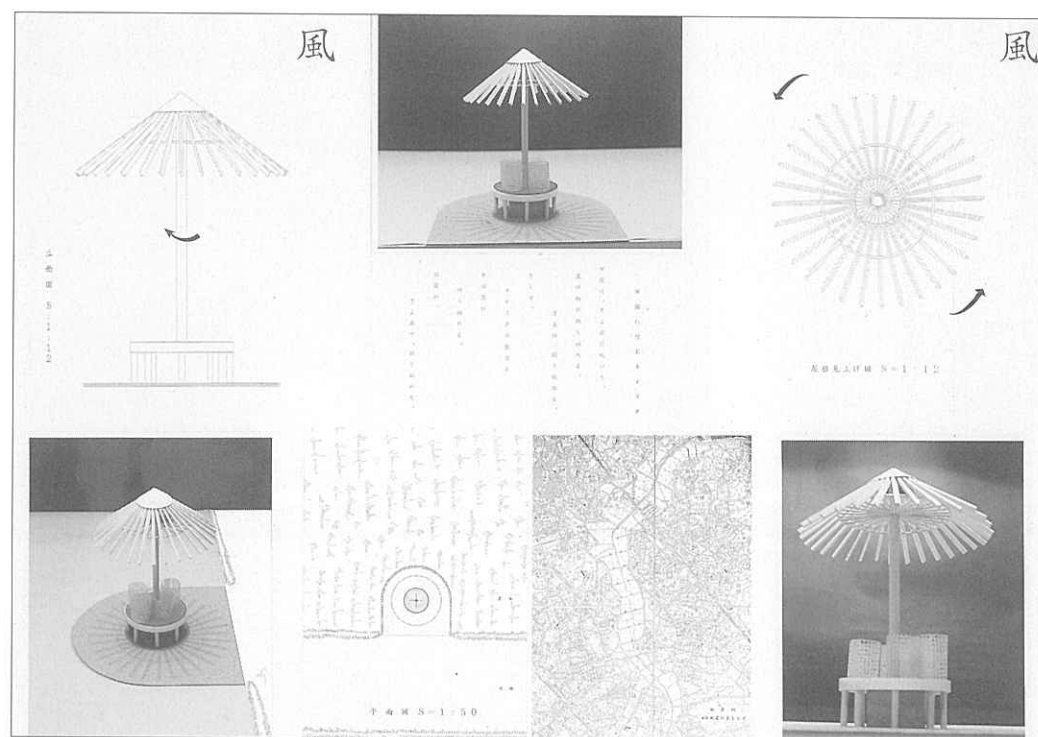
とつぷりお湯につかった後は、涼みながらお土産をじっくり吟味してみよう。



縦

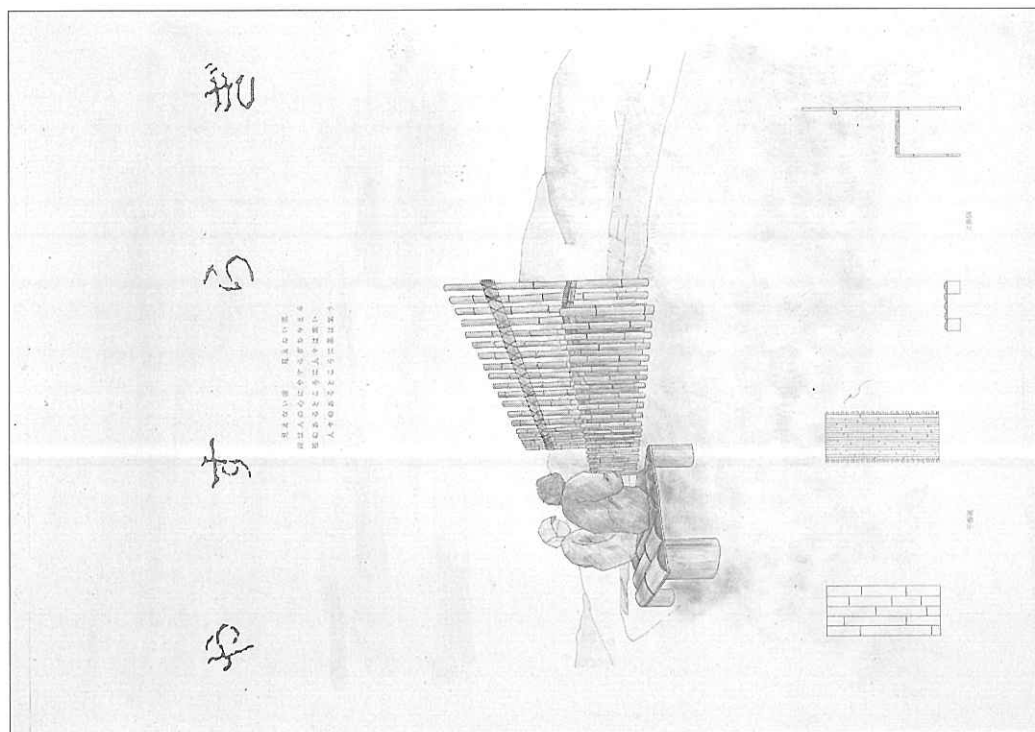






108 竹中 由佳
中平むつみ

縦



■授賞式

◇日時：平成4年11月5日(木) 19:35～19:55

◇会場：県立劇場大会議室（都市デザインサミットのレセプションの中で）

◇出席者：審査員／第1部門 磯崎 新

第2部門 渡辺 誠、浅石 優、妹島和世、新納至門

受賞者／第1部門 中尾 寛、岡本明子、松島弘幸（終了後到着）

第2部門 塚本由晴、貝島桃代、Gin Johannes、佐々木龍郎、吉永健 一

◇式次第：経過報告／くまもとアートポリス'92実行委員会事務局長 石島和光 土木部次長

賞状授与／くまもとアートポリス'92実行委員会会長代理 松村敏人 副知事

講評／第1部門 磯崎 新

第2部門 渡辺 誠



■入選作品などの展示スケジュール

◆第1部門

◇入選作品及びその実作

日時：11月4日～11月30日

会場：県立美術館分館（熊本市）

◇入選作品（写）

日時：11月1日～11月8日

会場：パルコ・パーキング・イベントホール（熊本市）

◆第2部門

◇優秀賞作品

日時：11月4日～11月30日

11月4日～8日は1次審査に残った作品も展示

会場：県立美術館分館（熊本市）

◇優秀賞作品（写）及び1次審査に残った作品の展示

日時：11月9日～11月15日

会場：小国町商工会館

◇優秀賞作品のうち3点の実作

日時：11月1日～11月30日

会場：小国町ゆうステーションと商工会館を結ぶプロムナード

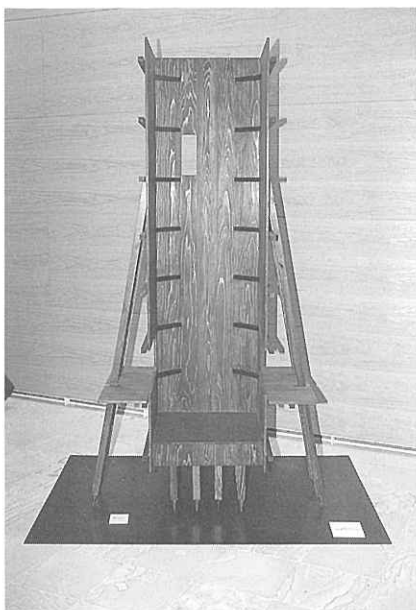


第1部門展示状況

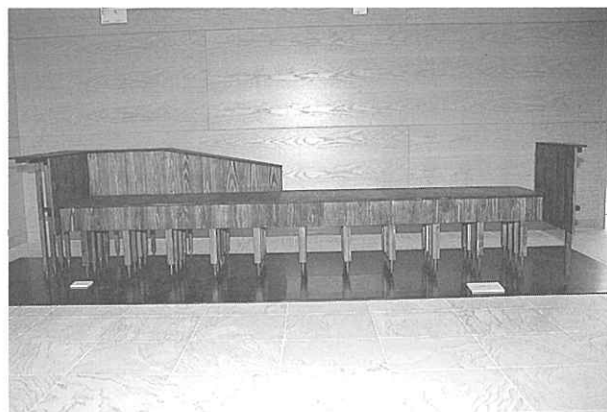


第2部門展示状況

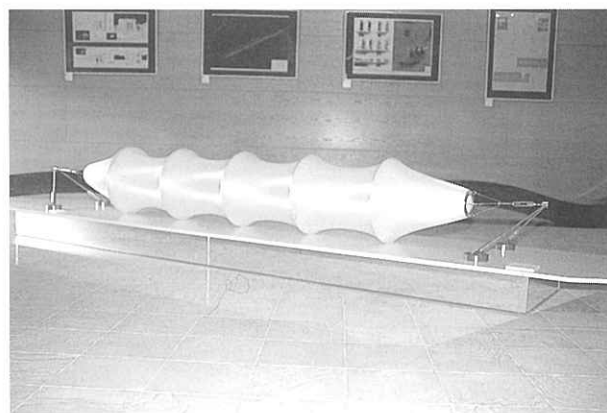
（写真提供：デルファイ研究所）



中尾 寛 案
製作：亜紀工芸有限会社



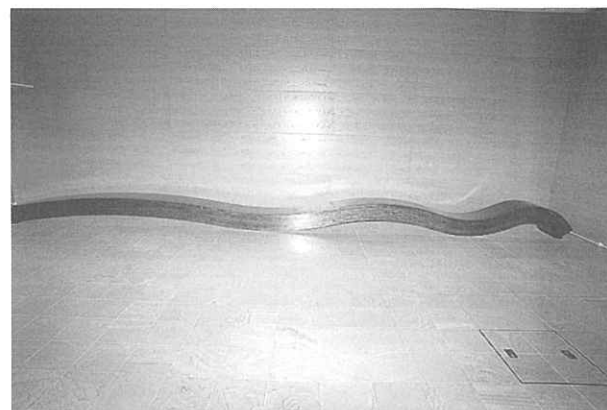
中尾 寛 案
製作：亜紀工芸有限会社



岡本明子 案
製作：亜紀工芸有限会社

■実作品展示状況

第 1 部 門



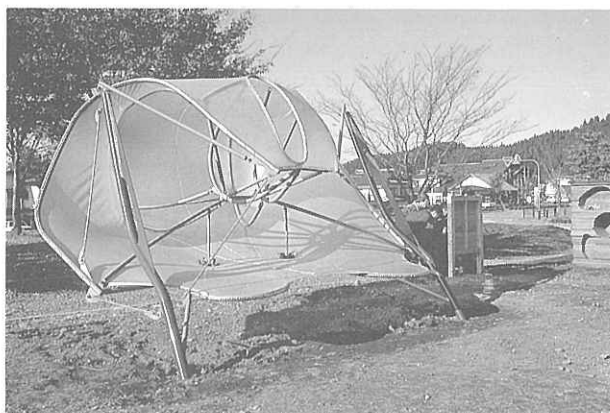
松島弘幸 案
製作：エー・ビー・シー開発株式会社東京支社
製作協力：石井和絃建築研究所



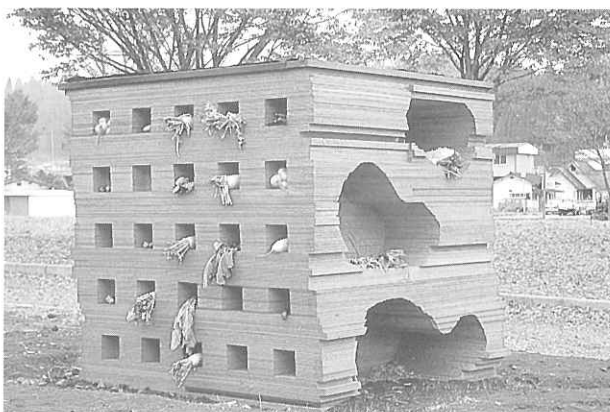
塚本、貝島 案
製作：小国町森林組合

■実作品展示状況

第2部門



Gin Johannes 案
製作：木村鐘靖(ひめどメタルワークス)



佐々木龍郎 案
製作：小国町森林組合
(写真提供：デルファイ研究所/3点とも)

■応募要項

くまもとアートポリス'92 デザイン・コンペティション

都市にデザインを 田園にアイデアを

「くまもとアートポリス」は、国内外の建築家、デザイナーが、豊かな自然環境に恵まれた熊本の地域の環境をデザインし、後世に残しうる文化的資産を創造しようという提案です。磯崎新コミッショナー、堀内清治アドバイザーのもと、1988年以来推進され、参加プロジェクトは43件にも及びます。

今年、1992年はその第一期のしめくくりの年にあたり、11月を中心に、国際シンポジウムや展覧会などさまざまなイベントを開催いたします。そこで「くまもとアートポリス」の基本理念である「都市にデザインを田園にアイデアを」をテーマとして、建築家、デザイナー、学生などの皆さんを対象に「くまもとアートポリス'92 デザイン・コンペティション」を行います。

「くまもとアートポリス'92 デザイン・コンペティション」は2つの部門から構成されています。第1部門の課題は「都市に浮かぶベンチ」、第2部門は「田園に佇むキオスク」です。両部門とも、実現可能な入選作については実際に製作され、さまざまなイベントが行われる11月に展示されます。皆さんの想像力あふれる提案を期待します。

主催 くまもとアートポリス'92実行委員会

協賛 熊本市、小国町

協力 建築デザイン会議

第1部門 課題「都市に浮かぶベンチ」

ストリート・ファニチャーは、都市景観を構成する大事な要素のひとつとなっています。ここでは、数あるストリート・ファニチャーの中からベンチに着目し、魅力あるベンチの提案を求めます。ベンチは、そこで人がすわり休むといった極めて単純な機能をもっています。単体のベンチであってもよいし、他のストリート・ファニチャーとの複合も考えられるでしょう。都市生活者にふさわしい、都市装置としてのベンチを自由に発想してみてください。

入選案の中から、審査員により実現可能と判断された案については実際に製作され、11月に開催する熊本市内でのイベントで公開いたします。

審査員：磯崎 新（くまもとアートポリス・コミッショナー）

賞 金：入選点数（優秀案5点を含む）及び賞金（総額150万円）は審査員の決定により配分します。

機能要件：・材料は問いませんが、予算は1点につき50万円程度とします。

・製作期間は約1ヵ月です。

・設置場所は、主催者により熊本市内に準備されますが、設置場所にとらわれない自由な発想を求めます。

要求内容：設計図（縮尺は自由であるが明記すること）、透視図あるいは模型写真、及び必要と思われる他の図面、簡潔な説明文

第2部門 課題「田園に佇むキオスク」

キオスクは、本来、駅前や広場にある新聞、雑誌や花を売る屋台ふうの小屋を意味し、誰もが気軽に立ち寄れる場所であるとともに、視覚的な環境装置としても機能しています。ここでは都市ではなく、田園の中に置かれるキオスクをイメージしてください。このキオスクは、郷里の物産や野菜等の販売を行う無人の販売所としますが、応募者の自由な発想を求めます。

入選案の中から、審査員により実現可能と判断された案については実際に製作され、11月に開催する小国町でのイベントで公開いたします。

審査員：建築デザイン会議実行委員会メンバー

浅石 優（日本設計）	大島哲蔵（アートブック）
大野秀敏（東京大学）	奥平与人（鹿島建設）
北村修一（キタムラ・アソシエイツ）	工藤和美（シーラカンス）
George 国広（George Kunihiro Architect P.C.）	
小林克弘（東京都立大学）	妹島和世（妹島和世建築設計事務所）
高崎正治（TAKASAKI 物人研究所）	新納至門（新納設計事務所）
浜田邦裕（浜田邦裕＋アーキテツ）	古市徹雄（古市徹雄・都市建築研究所）
古谷誠章（近畿大学）	
渡辺 誠（渡辺誠／アーキテツ オフィス）	（五十音順）

賞 金：入選点数（優秀案5点を含む）及び賞金（総額150万円）は審査員の決定により配分します。

機能要件：・1体あたり50万円程度の製作費を予定しています。

- ・工期は約1ヵ月です。
- ・規模は1坪以内、木造を想定していますが、予算と工期を満たす何らかの具体的工夫、提案があれば、応募者の自由とします。
- ・設置場所は、主催者により小国町に準備されますが、具体的な敷地の提示は行いません。平坦な街道沿いを想定してください。

要求内容：平面図と立面図（縮尺は自由であるが明記すること）、透視図あるいは模型写真、及び必要と思われる他の図面、簡潔な説明文

両部門共通要項

応募資格：不問

提出用紙：中判ケント紙あるいはそれに類する厚紙1枚(600mm×840mm)に要求内容を収めてください。青焼き、鉛筆、墨入れ、着色、写真貼付けなど図面表現は自由ですが、パネル化やカバーを付けることは不可とします。

応募締切：1992年8月31日(月)

質 疑：質疑応答はいたしません。規定以外は応募者の自由とします。

提出方法：作品は、提出用紙の裏面に氏名、住所、電話番号、ファックス番号、勤務先(学校名)を書き、提出期限までに提出先宛に郵送のこと(当日消印有効)。持参は不可とします。

発 表：審査の結果は入選者に通知するとともに、1992年11月に開催される展覧会で発表されます。また、国内の入選者は入賞式に招待されます。

そ の 他：・応募作品は未発表作品に限ります。

- ・応募案の著作権は応募者に帰属しますが、主催者は入選作品(提出用紙及びそれに基づく製作物)の発表に関する権利を保有するものとします。
- ・応募作品は返却しませんので、必要な場合はあらかじめ各自複写をお願いします。
- ・製作は主催者の委託した熊本県内の業者により行われます。製作に関する監理は可能ですが、それに関わる費用は入選者の自己負担とします。

提出及び 「くまもとアートポリス'92」実行委員会事務局

問 合 せ：〒862 熊本市水前寺6丁目18-1 熊本県土木部建築課内

☎096-383-1111 (内線6220・6221)

■応募者名簿

●第1部門

No.	氏 名	所 属
001	伊東 誠	株式会社 ITO (アイ・ティ・オー)
002	武田 泰幸	
003	松永 英明	松永設計事務所
004	大田黒元雄	大田黒建築設計事務所
005	聖 匠志(高田 保)	インテリアセンタートナミ
006	白井 博康	太洋工業株式会社
007	富田 泰二	ワイド企画設計事務所
008	坂元 健二	坂元健二建築研究所
009	榎本 文夫	榎本文夫アトリエ
010	榎本 文夫	榎本文夫アトリエ
011	布目 和也	アトリエ ONE ON ONE
012	浅見 欣司	有限会社 浅見設計事務所
013	金子 功	功設計
014	安藤 利幸(五十嵐利幸)	新潟技能開発センター (旧職業訓練校)
015	瓜生 勝美	(有)トミヤ・デザイン企画室
016	小石川正男	日本大学短期大学部
	伊藤 圭吾	(株)岡設計
	長坂 守康	日本大学理工学部建築学科学生
	我那覇 裕	日本大学理工学部建築学科学生
	高橋 昌弘	日本大学短期大学部建築コース学生
017	江口 征男	江口征男建築設計事務所
018	荻 京子	湘北短期大学
019	野原 建広	野原デザイン室
020	西郷 正浩	熊本大学大学院
021	宮内 貞裕	フリー
022	榮永 敏徳	熊本県立小川工業高等学校
023	弓場 泰子	三重大学
024	浅野 崇	東京芸術大学
025	大塚 智子	ソニー学園湘北短期大学
026	中尾 寛	NAKAO SERIZAWA ARCHITECTS
027	大友 洋佑	大友洋佑ファニチア・インテリア・建築設計事務所
	松隈 重利	大友洋佑ファニチア・インテリア・建築設計事務所
	沢田 博	大友洋佑ファニチア・インテリア・建築設計事務所
	加藤 孝光	文化学院学生
028	徳永 昭夫	TANSUYA corp.
029	松本 正富	(株)アークノア
	斎藤 芳徳	
030	佐藤 哲之	日本大学大学院
031	田中 忍	

No.	氏 名	所 属
032	市原 忍	未来建築研究所
033	河原 啓三	UNIT 4／ユニットフォーデザインオフィス主宰
034	田原 勇二	熊本工業大学 建築学科4年
035	田原 勇二	熊本工業大学 建築学科4年
036	山口紀美子	湘北短期大学
037	加藤 千尋	株式会社 環ヴィトーム
038	佐々木知子	湘北短期大学
039	西館 美幸	湘北短期大学 生活化学学科 生活デザインコース
040	片山真由美	株式会社 環ヴィトーム
041	植山 敏朗	植山敏朗意匠工房
042	田仲 美和	株式会社 環ヴィトーム
043	松尾 敏子	主婦
044	三野村真理子	湘北短期大学 生活科学科デザインコース2年
045	永友 秀人 渋谷 武治	永友秀人建築研究室
046	田中 清隆	
048	青柳 健次	スタジオ デコ
049	青柳 健次	スタジオ デコ
050	田邊 治通	株式会社 国建
051	南 泰	(株)恒星建築事務所
052	井手野睦子	ソニー学園湘北短期大学
053	西野 正之	(株)コルトン
054	大原 紀子	湘北短期大学
055	七谷百合子	亜紀工芸有限会社
056	梅原千津子	東京家政学院大学 家政学部 住居学科1年 JBクラス
057	井上 弘也	熊本工業大学 工学部 建築学科4年
058	森田 敏昭	
059	中沢千佳子	共立女子大学生生活デザイン研究室
060	浦田 進一 和田 尚之	WORKSHOP 505
061	川合 一弘	京都工芸繊維大学 造形工学科4回生
062	鈴木 康博	宇都宮大学大学院 工学部 建築工学科
063	正源司優子	熊本県立熊本工業高等学校 インテリア科3年
064	中原あづさ	熊本県立熊本工業高等学校 インテリア科3年
065	瀧崎 雄紀	熊本県立熊本工業高等学校 インテリア科3年
066	梶原 健生	熊本県立熊本工業高等学校 インテリア科3年
067	倉掛 晋悟	熊本県立熊本工業高等学校 インテリア科3年
068	西釜由紀子	熊本県立熊本工業高等学校 インテリア科2年
069	川上 玲子	熊本県立熊本工業高等学校 インテリア科3年
070	小手川 歩	熊本県立熊本工業高等学校 インテリア科2年

No.	氏 名	所 属
071	渡辺 明美	熊本県立熊本工業高等学校 インテリア科3年
072	小林 紀子	湘北短期大学2年
073	上角 美月	国立呉工業高等専門学校
074	高畑 裕信	高畑裕信+ACS
075	武智 稔	
076	篠田 光生	アートファニーズ
077	篠田 光生	アートファニーズ
078	篠田 光生	アートファニーズ
079	篠田 光生	アートファニーズ
080	宮崎 靖智	TOMO I.C アクティブ工房主宰
081	和田 鈴子	アトリエ花の木
082	飯銅 理子 濱本 憲洋	フリーランス・デザイナー(飯銅商店) (株)ノミック
083	佐々木健夫	東京工業大学大学院 理工学研究科 建築学専攻修士課程2年
084	江畑 弘	
085	門脇 哲也	
086	廣瀬 智洋	ひろせデザイン工房
087	森 辰興	日本設計一級建築士事務所
088	内田 貴久	九州大学
089	上野 弘幸	有限会社 阿蘇鉄工
090	古家 英俊 橋本 千絵 石原 典子	有限会社 デザインネットワーク
091	田中 和代	主婦
092	尾上 智美	町田ひろ子インテリアコーディネーターアカデミー
093	竹村 和彦	NA&A
094	工藤 孝夫	
095	大田黒元雄	大田黒建築設計事務所
096	河野 孝子 久保田政美	久留米市役所
097	小嶋 利幸(代表)	旭化成ホームズ福岡営業所 設計チーム
098	石丸 隆久	設計計画・石丸事務所
099	国生 健一	熊本大学
101	川津 悠嗣	かわつひろし建築工芸
102	伊奈 尚	熊本大学
103	高嶋 誠司	熊本大学工学部建築学科4年
104	小室 聡美	プロジェクトイマジン (アルバイト)
105	小室 聡美	プロジェクトイマジン (アルバイト)
106	曾我 部準	熊本大学大学院2年
107	新開 和則	熊本大学大学院建築学科

No.	氏 名	所 属
108	福田 寿久	熊本大学工学部建築学科
109	永田 敦士	熊本大学工学部建築学科4年
110	塩井かおる	(株)大林組
111	庭田 隆一	(株)浦野設計
112	細田みぎわ	フリー
113	武山 智子 武山 肇	武山智子建築設計室 (株)山下設計
114	守田 洋子	湘北短期大学
115	太田 千晶	湘北短期大学専攻科
116	梶野 秀一 福田 幸代	株式会社 自由工房
117	翠川 竜也 朝日 匡子	フリーアキテクト
118	吉村 佑輝	空間工房
119	鯉坂 徹	三菱地所 第一建築部
120	岡本 明子	(株)DC
121	木内亜紀子	湘北短期大学
122	田中 俊明	(株)ブラハマ・アソシエイツ
123	有馬 尚孝	阿利磨アトリエ 建築設計事務所
124	中野 康秀	設計事務所 ACT
125	小倉 輝美	無職（フリーター）
126	原 和宏 岡本 恒之 下手 彰 守屋 昭良	
127	紫富田啓一 岡本 直己 小白 勇	リニアデザイン建築事務所
128	鈴木留美子	湘北短期大学 生活科学科
129	杉浦 利彦	杉浦建築設計事務所
130	鈴木 正史	(株)大林組 東京本社 設計部
131	伊藤 真理	北村隆夫＋ズーム計画工房
132	砂田絵理子 阿部 仁佑	
133	川口 利文	明治大学 理工学部 建築学科2年
134	友澤 薫	多摩美術大学
135	室井智佳子	(株)DO建築事務所
136	室井智佳子	(株)DO建築事務所
137	古川美智子	フジイデザイン研究所
138	菊池 武	(株)計画・環境建築

No.	氏 名	所 属
1 3 9	梅田 健之	株式会社 計画・環境建築YAS都市研究所
1 4 0	吉田 真 花島 伸幸 芝崎 聡子	㈱計画・環境建築
1 4 1	杉本 洋文 富永 哲史 中尾 準二 小西 由通 関谷有里子	株式会社 計画・環境建築YAS都市研究所 計画・環境建築 芝浦工大大学院 筑波大学社会工学類 大阪芸術大学建築学科
1 4 2	若林 秀和	早稲田大学学生
1 4 3	有田 佳生	早稲田大学理工学部建築学科大学院修士2年
1 4 4	伏見 勇一	フリー
1 4 5	石井 大五	空間計画VOYAGER
1 4 6	高増 佳子	京都府立大学大学院2回生
1 4 7	三谷 亜星	創造社デザイン専門学校3年
1 4 8	Katsuhiko Muramoto James Anzalone Michael Drury Daniel Macek Sharon Moore Young Yoon	Assistant Professor, Penn State University } 5th Year Students at the Department of Architecture, Penn State University
1 4 9	南井奈穂子	日本女子大学家政学部住居学科3年
1 5 0	森田 洋	㈱広谷建築総合事務所
1 5 1	松野 義久 高山 正樹	千葉工業大学
1 5 2	中平 勝	
1 5 3	船生 悟志	三重大学大学院1年
1 5 4	佐々木 章 中平むつみ	香川職業訓練短期大学校
1 5 5	鵜飼 哲矢	フリー
1 5 6	芦沢 啓治	横浜国大1年 建築学コース
1 5 7	大沼 健	専門学校 東京YMCAデザイン研究所 建築科
1 5 8	浜田 龍哉	
1 5 9	矢島 美保	湘北短期大学
1 6 0	宮崎 史子	ソニー学園湘北短期大学
1 6 1	滝山 作	滝山 作建築設計事務所
1 6 2	佐々木雄士	現代計画研究所・大阪
1 6 3	富士原正男	芸術家
1 6 4	大野 伸和	
1 6 5	杉浦 宏幸	㈱竹中工務店 設計部

No.	氏 名	所 属
166	粟屋 義行	(株)エイブ
167	堀川 英行	堀川英行エーディーアトリエ級建築士事務所
168	登野原 貢 與那覇仁久 越川 晃	オフィス ヨナハ
169	三浦加奈代 林 義久 上田 智子	金沢工業大学
170	森田 昌宏	(株)竹中工務店
171	塚原 雅之	金沢工業大学学生
172	マチタニ・カズナリ	ヘルメス
173	内藤 由喜	湘北短期大学2年
174	高沖 雄仁	東洋大学工学部 建築学科3年
175	檉本 恒平 吉満 聡	東京大学
176	松島 弘幸	フリー
177	五十嵐太郎 大川 信行	東京大学大学院生
178	岩間いつみ	湘北短期大学
179	鈴木 悦子	西村建設(株)
180	清水 英見	
181	矢作 昌生	A&3M (SCI-ARC休学中)
182	鈴木 秀雄 守屋 弓男	(株)MIA建築デザイン研究所
183	澁谷 正弘 松井 信也 山岸三千代 平栗美華栄	(株)計画・環境建築
184	平栗美華栄 山岸三千代 澁谷 正弘	(株)計画・環境建築
185	松井 信也 澁谷 正弘 山岸三千代 平栗美華栄	(株)計画・環境建築
186	井村 五郎	千葉工業大学
187	伊藤 友彰	株式会社 三越
188	佐藤奈津恵	湘北短期大学
189	加藤 丈祐 遠藤 順一	梓設計名古屋支社 野口建築事務所

No.	氏 名	所 属
190	寺岡 豊博	菊竹清訓建築設計事務所
191	新名 秀樹	アルテ建築設計事務所
192	木村久美子	東京YMCAデザイン研究所 建築科1年
193	中原 文雄 山崎 陽子	竹中工務店 大阪本店設計部 大阪工業大学
194	田中 佳行	(株)本田技術研究所 和光研究所 Bスタジオ
195	大西孝士郎	(有)シーン・ポジション環境デザインオフィス
196	田中 長智	筑波大学
197	原竹 貞雄	明治大学大学院工学研究科建築学専攻
198	後藤 隆史	(株)デザインスタジオ
199	平山 雅司	東京都立大学工学部建築学科修士課程
200	吉田 幸代	京都市立芸術大学
201	道塚 勉	ゆいでく株式会社
202	TSUJIMURA HISANOBU	株式会社 リブアート
203	佐藤 優子	東京YMCAデザイン研究所
204	石田 正年	(株)自由工房 一級建築士事務所
205	山元 葉月	湘北短期大学 生活科学科 生活デザインコース
206	永松 昭子 青木 信之	(株)八木造形研究所
207	伊藤 三英	千葉大学
208	星野 直喜	(有)光設計工房
209	大道 公二	(株)アバルト
210	菅原 慶博	明治大学大学院工学研究科建築学専攻
211	金指 宜仁	名城大学
212	小林かおる	湘北短期大学
213	伊藤 直	(株)新環境設計
214	安田 武朗	(株)サザビー
215	岡田大次郎	福岡大学工学部建築学科
216	天野 善啓	東京造形大学
217	松坂 俊一 松坂 由香	(株)計画・環境建築YAS都市研究所
219	横山 容子	
220	(故)木島安史 広瀬 正人 鶴崎 直樹 寺山 彰訓	(株)計画・環境建築 九州事務所
221	ドーベン・バーンズ	マルフジ建築研究所
222	匿名	
223	丸橋 浩	芝浦工業大学大学院2年
224	中尾 準二	芝浦工業大学大学院

No.	氏 名	所 属
225	鈴木 早苗	GAIA ASSOCIATES (ガイア・アソシエイツ)
226	小田原 勉	小田原事務所
227	登内 徹夫	東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻1年
228	星崎 博子	湘北短期大学
229	丹野 和広	丹野和広建築設計事務所
230	永井 博子	フリー
231	山口 隆 中西 啓 北村 淳	ARX-OSAKA
232	若松由紀子	湘北短期大学2年
233	石丸 信明 中西 啓 山口 隆 北村 淳	ARX-KOBE
234	等々力まり	湘北短期大学生活科学専攻科
235	川畑 逸子	湘北短期大学
236	阿部 仁美	湘北短期大学
237	青木 美香	湘北短期大学
238	米津 幸江	湘北短期大学
239	加藤 淳	榎本文夫アトリエ
240	中野 陽子	東京家政学院大学 住居学科4年
241	西川 賢治	東京都立大学
242	金山 元太	(株)アートランド
243	角田 隆弘	京都工芸繊維大学大学院M2
244	正木 裕也	

●第2部門

No.	氏 名	所 属
001	伊東 誠	株式会社 ITO、(有)伊東工務店
002	伊東 誠	(有)伊東工務店
003	松永 英明	松永設計事務所
004	小倉 康正	武蔵野美術大学
005	大田黒元雄	大田黒建築設計事務所
006	小石川正男	日本大学短期大学部
	伊藤 圭吾	(株)岡設計
	寺嶋 憲二	日本大学理工学部建築学科
	岩崎健一郎	(有)アトリエ・アルク
	長坂 守康	日本大学理工学部建築学科
007	坂元 健二	坂元憲二建築研究所
008	浅尾 裕幸	アトリエASAO一級建築士事務所
009	江口 征男	江口征男建築設計事務所
010	中尾 繁男	株式会社 つみきハウス
011	古河原康正	(株)時間工房
012	齋藤 芳徳	フリーデザイナー
	松本 正富	
013	青柳 健次	スタジオデコ
014	秋山 雅美	(株)アイ・シー・アイ
	岡崎 泰之	
015	山口 敬三	多摩美術大学4年生
016	佐藤 正志	佐藤正志建築設計工房
017	吉永 健一	東京工業大学
018	安保 賢治	近畿大学4回生
019	小松 由衣	表具師修業中
020	西村 綾子	湘北短期大学
021	寛 清澄	豊川建築研究所
022	渡辺 徳弘	熊本大学大学院1年
023	宮本 雅弘	関西大学大学院
	佐藤亘一郎	
024	古川 保	すまい塾(古川設計室)
025	田中 友博	熊本市都市局 街路課
026	丸野 哲子	グローバルインテリア(株)
027	北里 康宏	北里建築設計事務所
028	巻木 洋造	創造社デザイン専門学校2年
029	中西 朝義	創造社デザイン専門学校2年
030	後藤英佐夫(代表)	旭化成ホームズ(株)福岡営業所 設計チーム
031	荒木 信雄	(株)豊川建築研究所
032	曾我部 準	熊本大学大学院2年
033	高崎 清道	熊本大学大学院1年

No.	氏 名	所 属
034	永田 敦士	熊本大学工学部建築学科4年
035	俵 雅人	豊川建築研究所
036	禰宜元文子	熊本大学工学部建築学科4年
037	鹿毛 宏一	三井建設株式会社
038	三原 宏樹	株式会社ALPH
039	松本 健太	熊本工業大学
040	小室 勲	
041	川津 悠嗣	かわつひろし建築工房
042	前田 直樹	熊本大学工学部建築学科4年
043	田上 慎也	熊本大学大学院1年
044	野中 京子	(株)タスク研究所
045	安部 博克	(有)安部総合計画事務所
046	本間 淳	本間建築事務所
047	村松 康彦	総合計画(株)一級建築士事務所
048	竹内 昌義	竹内昌義アトリエ
049	鈴木 正史 石原 伸一	(株)大林組 東京本社
050	小林 敦	株式会社DC
051	藤本 りか	東洋大学建築学科3年
052	三宅 隆史 萬本 哲也 高松 直美	(株)梓設計 大阪支社
053	若林 秀和	早稲田大学学生
054	梅田 健之	株式会社 計画・環境建築 YAS都市研究所
055	菊池 武	(株)計画・環境建築
056	杉本 洋文 富永 哲史 中尾 準二 小西 由通 関谷有里子	株式会社 計画・環境建築 YAS都市研究所 (株)計画・環境建築 芝浦工大大学院 筑波大学社会工学類 大阪芸術大学建築学科
057	北村 茂章	
058	川久保智康 永島 元秀	日本大学大学院海洋建築工学科1年 日本大学海洋建築工学科4年
059	下田 貞幸 山根いずみ	(株)計画・環境建築
060	白川 直行	(株)白川直行アトリエ
061	児玉 将平	日本建築専門学校
062	塚本 由晴 貝嶋 桃代	東京工科大学
063	野原 孝之	N T T 電力建築ビル管理本部首都圏センター

No.	氏 名	所 属
064	石田 正年	(株)自由工房一級建築士事務所
065	河島 康	福山大学工学部建築学科技術助手
066	鬼田 勲 中谷 篤彦 海士 健一	鬼田デザイン研究所
067	山口 剛史 伊藤 直	(株)新環境設計
068	高橋 尚子 中西 邦弘	飛鳥建設株式会社設計本部
069	吉原 健一 宮本恵美子	フリクション
070	岡村富美子	湘北短期大学生生活学科デザインコース2年
071	渡辺 樹美	京都工芸繊維大学修士1回
072	柏木 誠	神奈川大学大学院建築学専攻博士前期過程1年
073	田辺 元史	株式会社羅漢
074	加藤 毅	(株)エイブ
075	篠塚 勉	(株)梓設計
076	堀川 英行	堀川英行エーディーアトリエ一級建築士事務所
077	竹下 祥	(株)宮本忠長建築設計事務所東京事務所
078	佐々木龍郎	(株)デザインスタジオ
079	平本久美子	湘北短期大学
080	幸家 大郎	
081	長林 智子	
082	西野富美子	湘北短期大学
083	長井 恵子 中島 恵理 倉本 祥子 中川美和子	十文字学園女子短期大学家政学科生活学専攻専修科 湘北短期大学住居学研究室2年 湘北短期大学住居学研究室2年 湘北短期大学住居学研究室2年
084	中平 勝	
085	土井 友恵	国立呉工業専門学校
086	加藤 喜崇	横浜工学院
087	Gin Johannes	Architectural Association of London
088	古澤 由紀	湘北短期大学
089	黒川 浩之	横浜国立大学大学院修士1年建築学専攻
090	浜田 龍哉	
091	松島 弘幸	フリー
092	広瀬 正人 鶴崎 直樹 寺山 彰訓	(株)計画・環境建築九州事務所
093	阿部 裕樹	京都精華大学大学院建築

No.	氏 名	所 属
094	藤田 征樹	(株)菊竹清訓建築設計事務所
095	久保田恵子	バオ建築事務所
096	多田 昭久 秋元 一秀	香川職業訓練短期大学校
097	柳尾 浩	Fe建築工作舎
098	竹内 大介 田中 浩之	日本大学理工学部海洋建築工学科
099	鈴木 孝紀	
100	松島 武	
101	蓮井紀美恵	創造社デザイン専門学校2年
102	Taeg Yoshinobu Nishimoto (西本 圭敦)	Taeg Nishimoto+ALLIED ARCHITECTS
103	大達 智子	(株)R D D
104	中川 幸一	エーディー・アトリエ
105	大木 榮二	(株)ブリヂストン研究開発第2本部
106	門田 晃	松戸市役所
107	池邊 享子	鹿島九州支店開発部
108	竹中 由佳 中平むつみ	香川職業訓練短期大学校住居環境科
109	澤崎 宏 小西 由通 梅田 健之 富永 哲史	(株)計画・環境建築 YAS都市研究所

■コンペ後記

アートポリス事業の2つの設計競技を無事終了することが出来ました。予想を上回る応募と作品を実際に完成することができたことに事務局サイドはホッとしています。

まず、多くの参加者の方々にお礼をいわずにはならないし、事務処理上で至らなかった点があれば、この場をおかりしてお詫び申し上げます。

今回のコンペを運営して感心させられたのは、審査委員の先生方の熱心な審査と情熱でした。ベンチの審査にあたられた磯崎新先生には、長時間休息もとられずに審査にあたってくださいました。全ての応募案に何度も目を通して、案を絞っていかれ、斬新な案を選定されたときには頭が下がる思いでした。

また、キオスクの審査は建築デザイン会議の実行委員会のメンバーによる複数審査であったために審査方法はどうするのであろうかと考えていました。しかし、わざわざ審査方法を決めるために、渡辺誠先生を代表とする担当の先生方に一日をさいていただいたおかげで「リコメンド方式」という素晴らしい審査方法を提案していただきました。審査結果もこの審査方法が如何に有効であったかが窺える案が選定され大変感謝しています。キオスクの審査ではデルファイ研究所とYKKの方々にも色々とお手伝い頂いたことをここに付記します。

コンペでは、出来るだけ多くの案を実現させたかったのですが、募集要項の予算内で制作可能なものが少なかったために、実作は各々3作品となってしまいました。選ばれた方々は、若いこともあって思い入れが大きかったのでしょうか、熱心に事務局サイドと連絡をとっていただき、作品完成の為に努力をしていただきました。熱心さに比例してコストも上昇するケースが多く、頭を痛めたこともたびたびでありましたが、最終的には制作を受けた業者の方々の採算を気にしない努力によって完成度の高いものをつくることが出来たと思っています。単品でものをつくるには割高になること、ものをつくるには直接制作費のほかに経費がかかることを若い方に説明しても無理な部分があるとは思いますが、次回は宜しくお願ひしたいところです。

展示に関しては、熊本県立美術館分館と小国町の方々にお骨折りいただいたお陰で沢山の方々の目に触れることが出来ました。コンペで最後まで残った案についても出来るだけ多く一般の方々に見ていただけるように2会場の他に熊本市のバルコパーキングで展示しました。

くまもとアートポリスは平成5年より第二期に突入します。また、このようなコンペの機会があらうかと思いますので、皆様のご協力をお願いしてコンペ後記の筆をおきます。

(くまもとアートポリス'92実行委員会 まちなみ部会長 桂英昭／熊本大学講師)

くまもとアートポリス'92 デザイン・コンペティション

KUMAMOTO ARTPOLIS '92 DESIGN COMPETITION

1993年3月発行

編集・発行 くまもとアートポリス'92実行委員会

事務局：熊本県土木部建築課内

〒862 熊本市水前寺6丁目18-1 TEL 096・383・1111

印刷 株式会社 秀巧社

- ☐ 総合記録
- ☐ 都市デザインサミット
- ☐ アートポリスフォーラム
- ☒ デザイン・コンペティション
- ☐ 熊本まちなみ展
- ☐ 八代まちなみ展
- ☐ 小国まちなみ展

**KUMAMOTO
ARTPOLIS '92**

